

2005 (平成 17) 年度

# 講義内容

仏教学部

⌒ 駒澤大學

# 講 義 內 容

## 目 次

I	全 学 共 通 科 目	
	1 宗 教 教 育 科 目 .....	9
	2 教 養 教 育 科 目 .....	21
	(1) 人 文 分 野 .....	21
	(2) 社 会 分 野 .....	40
	(3) 自 然 分 野 .....	48
	(4) 総 合 分 野 .....	69
	3 外 国 語 科 目 .....	91
	4 保 健 体 育 科 目 .....	207
II	専 門 教 育 科 目 .....	249
III	他 学 部 履 修 科 目 .....	313
IV	短 大 仏 教 科 開 設 科 目 .....	389
V	「日本語」・「日本事情」科目 .....	395
VI	随 意 科 目 .....	414

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
	総合分野
	外国語科目
	保健体育
	専門教育
	他学部履修科目
	短大仏教科開設科目
	「日本語」 「日本事情」
	随意科目



# I 全 学 共 通 科 目



# 1. 宗教教育科目



# 1. 宗教教育科目

仏教と人間 ( 禅 )	〈田 上 太 秀〉	.....	9
仏教と人間 ( 仏 )	〈長谷部 八 朗〉	.....	9
仏教と人間 [再クラス]	〈晴 山 俊 英〉	.....	9
仏教と人間 [再クラス]	〈福 田 孝 雄〉	.....	10
仏教と人間 [再クラス]	〈村 松 哲 文〉	.....	10
仏教と人間 [再クラス]	〈吉 津 宜 英〉	.....	11
文 化 と 宗 教	〈長谷部 八 朗〉	.....	11
社 会 と 宗 教	〈池 上 良 正〉	.....	12
自 然 と 宗 教	〈小 川 順 敬〉	.....	12
坐 禅	〈佐藤 秀孝・熊本 英人〉	.....	13





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	田 <sup>た</sup> 上 <sup>がみ</sup> 太 <sup>たい</sup> 秀 <sup>しゅう</sup>	禪1必	4

講義のねらい

禪学科の学生対象であるので、禪思想の流れをインド・中国・日本にわたって講ずる。

履修上の留意点

出席カードを配り、出欠を取る。また、夏期休暇中、宿題を与え、レポートを作成させ成績点の一部に加える。

成績評価の方法

レポート・期末テスト・出欠点の三つを合して評価する。

教 科 書

田上太秀著『禪の思想』（東京書籍刊）1,429円

参 考 書 等

田上太秀著『禪語散策』（東書選書104）（東京書籍刊）1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	長 <sup>は</sup> 谷 <sup>せ</sup> 部 <sup>べ</sup> 八 <sup>はち</sup> 朗 <sup>ろう</sup>	仏教1必	4

講義のねらい

仏教の教えや我が国の歴史上の主要な仏教者の思想や行動を通して、人間の精神生活に果たす仏教さらには宗教の意義を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期には、原始仏教段階から大乘仏教にいたる仏教の展開史を、それらの教えの主要な特徴にふれながらたどり、仏教の歴史と現勢を概観する。

後期には、日本仏教に着目し、空海、道元、日蓮、親鸞ほか、主に平安から鎌倉期にかけての仏教諸宗派の祖師に対する民衆の信仰の姿を浮きぼりにして、仏教と人間・社会との係りを探る。

成績評価の方法

成績評価の仕方は開講後に決めるが、授業で1、2回小論文を書いてもらい、評価に盛り込む予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で、適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	晴 <sup>は</sup> 山 <sup>やま</sup> 俊 <sup>しゅん</sup> 英 <sup>えい</sup>	禪・仏教2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が内在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	ふく だ たか お 雄 福 田 孝 雄	禅・仏教2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参 考 書 等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	むら まつ てつ かつみ 村 松 哲 文	禅・仏教2・3・4年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではなからうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）  
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	よし づ よし ひで 吉 津 宜 英	禅・仏教2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 と 宗 教	は せ べ は ち ろ う 長谷部 八 朗	禅・仏教選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 と 宗 教	い げ が み よ し ま さ 池 上 良 正	禪・仏教選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 と 宗 教	お が わ と し ゆ き 小 川 順 敬	禪・仏教選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅 (前期)(後期)	さとう しゅうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人	禅・仏教選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはごこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・  
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教 科 書

適宜、プリントにて配布します。

参 考 書 等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

科  
宗  
教  
教  
育  
目

## 2. 教養教育科目





## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

文学〔日本文学「古典」〕	〈八島由香〉	21
歴史学〔西洋中世史〕	〈田中美穂〉	21
芸術学(1)〔日本美術〕	〈北野良枝〉	22
芸術学(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	22
芸術学(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	23
哲学〔現代文明と人間〕	〈久保陽一〉	23
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈山口祐弘〉	24
論理学〔知の技法〕	〈伊古田理〉	25
論理学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	25
科学史〔近代科学の成立と展開〕	〈長岡亮介〉	26
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	26
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	27
倫理学(3)〔価値観〕	〈滝沢正之〉	27
倫理学(4)(7)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	28
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈滝口清栄〉	28
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈水口拓寿〉	29
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	29
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	30
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	〈小川順敬〉	31
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	〈洗建〉	31
宗教学(5)〔生活と宗教〕	〈菅原壽清〉	32
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	〈佐藤憲昭〉	32
人文地理学(1)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	33
人文地理学(2)〔風土と文化〕	〈高橋健太郎〉	33
人文地理学(3)〔空間と行動〕	〈山口太郎〉	34
人文地理学(4)〔空間と行動〕	〈伊藤修一〉	35
教育の思想	〈豊田千代子〉	36
教育の思想	〈北村三子〉	36
教育と社会	〈豊田千代子〉	37
教育と社会	〈北村三子〉	37
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	38
発達と学習の心理学	〈角野善司〉	38
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	39
カリキュラムと学習	〈角野善司〉	39

## (2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕	〈小畑和〉	40
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〉	41
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈小川順敬〉	41
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈沼田雅之〉	42
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈池田実〉	43
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	〈清滝仁志〉	44
経済学〔現代経済と人間〕	〈森田成也〉	45
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石雄爾〉	46
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳堀素雅子〉	47
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野中弘敏〉	47

### (3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕〈中村敏枝〉	48
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕〈加藤 潔〉	48
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真理〉	49
自然環境論〔生命と環境〕〈中村敏枝〉	50
自然環境論〔変動する地球と環境〕—夏季集中—〈山本由弦〉	51
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真理〉	52
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢 誠〉	53
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢 誠〉	53
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	54
情報数学〔情報と論理〕〈坂野井和代〉	54
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	55
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真理〉	56
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	56
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)(10)〔コンピュータの実際〕〈小沢 誠〉	57
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕〈山本博信〉	58
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕〈小川健次郎〉	59
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕〈澤口 隆〉	60
コンピュータ基礎(11)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈元木光雄〉	61
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈坂野井和代〉	62
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈山本博信〉	63
コンピュータ基礎(14)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈長坂浩史〉	64
コンピュータ基礎(15)(16)(18)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈小川健次郎〉	65
コンピュータ基礎(19)(20)〔コンピュータの実際〕〈坂野井和代〉	66
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕〈坂野井和代〉	66
人類学(1)(2)〔人類の進化〕〈篠田謙一〉	67
心理学〔心を科学する〕〈高橋良博〉	67
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—〈堀内正彦〉	68

#### (4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷 孝道〉	69
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊本 英人〉	69
総合Ⅱ(2)〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	〈清水 善和 他〉	70
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	71
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	72
総合Ⅲ(3)〔女性学・男性学〕	〈杉山 秀子〉	73
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	73
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	〈西村 祐子〉	74
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	74
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕	〈川股 陽太郎〉	75
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	76
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉田 京子〉	76
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	77
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本 茂他〉	78
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈内海 麻利他〉	79
総合Ⅷ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「古典」〕	八島由香 <small>やしま ゆか</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

平安後期物語は、『源氏物語』の影響を多大に受けながらも、独自のストーリー展開をさせていこうと、趣向をこらしている物語が多く、『浜松中納言物語』もその一つとしてあげることができます。この作品を読み、内容・特色を理解し、物語文学における平安後期物語のあり方について考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

『浜松中納言物語』は、『更級日記』を書いた菅原孝標女が作者だと言われているものの、不明。主人公・中納言が、唐国の后に叶わぬ恋の思いを抱き続けるという『浜松中納言物語』のストーリーには、后が中納言の切なる恋心によって転生を繰り返すという趣向がこらされています。そのためこの作品は、現実味に欠ける荒唐無稽な物語と評されていますが、果たしてそうでしょうか。『浜松中納言物語』に対する不幸な評価は、特定の価値観を尺度とした「読み」によるものではないでしょうか。

この講義では、まず平安時代の物語文学、並びに『浜松中納言物語』の散逸首巻と巻一の概説をする。それから巻二と巻三を読み進めていくことで、中納言の後への愛の永続性をものごとたりながらも、尼姫君・大式女・吉野姫といった女性達に心惹かれる中納言の思いを読み解いていきます。その上で巻四・巻五の場面をいくつか取り上げて物語の全体像を捉え、特定の価値観に捕らわれない「読み」をしたい。

成績評価の方法

出席状況と講義内で度々行う小レポートによって評価します。講義開始時間から、二十分以上の遅刻は出席としません。二十分以内の遅刻は二回で欠席一回と数え、前・後期各四回を数えた時点で単位を認定しません。なお、出席数が年間を通じて講義数の三分の二に達しない場合、単位を認定しません。

その他

プリントを用いての講義形式です。初回は講義内容や評価方法の説明をするため、二回目の講義から出席をとります。なお、受講を希望する四年生は、別に出席に関する説明がありますので、三回目までには必ず出席して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔西洋中世史〕	田中美穂 <small>たなか みほ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

ブリテン諸島の歴史について中世を中心に講義します。現在のブリテン（イギリス）という国家は、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドからなる連合王国です。また、ブリテンとアイルランド（ブリテン諸島）は、先史時代より互いに影響し合ってきました。ヨーロッパ大陸とブリテン諸島との交流や、現在のブリテン諸島のさまざまな側面にも言及しつつ、授業を行います。ブリテン諸島の多様性と各地のネイション意識の重要性を示すことが、本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ブリテン諸島について (2・3) イングランド中心史観と「ケルト・ブーム」  
(4) 鉄器時代 (5) ローマン・ブリテン (6・7) 初期キリスト教時代  
(8～11) 中世初期のイングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド各地の王国 (12・13) ヴァイキングの活動  
(後期) (14・15) ノルマン人とブリテン諸島 (16・17) アンジュー王国 (18) 百年戦争  
(19～21) 中世後期のウェールズ、スコットランド、アイルランド各地の王国  
(22) 「アーサー王」伝説 (23・24) 近現代のブリテン諸島  
(25) ブリテン諸島各地のナショナリズム (26) 地域性と階級社会

履修上の留意点

講義中の私語、遅刻を禁止します。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。

教科書

講義内容をまとめたプリントを配布します。

参考書等

講義中に随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北野良枝	禅・仏教選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3) ~ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派  
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派  
 (11) 狩野正信・元信 (12) ~ (13) 狩野永徳と桃山画壇

後期 江戸時代の絵画  
 (14) 江戸時代の狩野派 (15) ~ (18) 琳派  
 (19) ~ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派  
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢  
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白  
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	禅・仏教選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術  
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム

(後期) 17・18世紀の美術  
 バロック美術（イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス）／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	あかばゆきこ 赤羽由規子	禅・仏教選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。  
後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。  
後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	くぼよういち 久保陽一	禅・仏教選	4

講義のねらい

現代は科学技術によって生活のすみずみまでもが規定された時代であると同時に、一見何でも可能な「自由」が認められている時代でもある。しかし、それによって、かえって、何を選択し、いかに科学技術を用いるべきかについて、明確な答を得にくい時代でもあろう。科学技術と自由主義の時代において、知情意を含めた、人間らしい本来の生き方とはいかなるものであるかが、根本的に問われているように思う。  
そのような問題意識のもとで、本講義では現代哲学の状況を捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日グローバルなものとなった西洋哲学の近代の歩みを、その大筋において捉えた後で、現代哲学の諸思想（マルクス主義、分析哲学、生の哲学、現象学、解釈学）を学ぶことにする。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。私語はつつしむこと。遅刻しないこと。遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席数、試験（前期と後期）、レポートによって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

参考書等

渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会）1,800円  
久保陽一『ドイツ観念論への招待』（日本放送出版協会）2,800円

その他

講義



科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対応
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	禅・仏教選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々；年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいつさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	やの ひろし 箭野 浩司	禅・仏教選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しようとしませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいらぬ人やりピーターの参加は歓迎します。

昨年は学生からの提案で〈論理王決定戦〉と題するトーナメントを行いました。盛り上ったので、今年もやりたいと思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	ながおか りょうすけ 長岡亮介	禅・仏教選	4

講義のねらい

我々の今日の文化と文明が、高度の発達した科学と科学に裏付けられた技術に深く依存していることはいうまでもない。むしろ近年ではそれが当たり前すぎて、科学を支えている「方法」や「思想」、あるいは輝かしい技術の背後に潜む非科学性に目が向かないため、「科学」を標榜する似非科学的独善や技術についての非科学的盲信すら目立つ状況にある。本講義は、この科学と技術に歴史を通じて接近することにより、先端的な科学や技術についての個別的な知識なしに今日の社会が直面する諸問題を科学的に深く理解する可能性を探る試みである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、いわゆる科学的な素養なしに理解しやすい古代や中世の科学と技術の話題から出発し、次第に現代へと接近する。学生諸君の希望によっては、先端科学や情報科学の諸問題にも触れる。

履修上の留意点

いわゆる自然科学についての具体的な知識は前提としないが、講義の中で現れる諸概念を必要に応じて調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。

成績評価の方法

出席状況・随時のレポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふるた ともあき 古田知章	禅・仏教選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろ さき つよし 黒崎 剛	禅・仏教選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
  2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
  3. 人工妊娠中絶
  4. 安楽死と尊厳死
  5. 脳死と臓器移植
  6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
  7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	たき ざわ まさ ゆき 滝沢 正之	禅・仏教選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。  
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。  
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。  
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。  
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。  
そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4)(7) 〔応用倫理学〕	の 箭野 浩 司	禅・仏教選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、パックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。しかし、多くの人々は自分が選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、理論の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、チェチェン問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、ヒートアイランド、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。(一年間ですべての問題を扱うことはできないので、この中からセレクトすることになります。)

履修上の留意点

今年から一日二回講演になりましたので、座ることができると思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーで評価します。

教科書

プリントを使用しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	な 滝 口 清 栄	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代であっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今のような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上で大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐるとの思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書等

高木・末延・宮沢編『人権宣言集』(岩波文庫)  
シンガー『私たちはどう生きるべきか』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	みなくちたくじゅ 水口拓寿	禅・仏教選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を採りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐる、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐる、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）  
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）  
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけがみよしまさ 池上良正	禅・仏教選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。(1)「宗教」概念の成立とその意義。(2)人類史と宗教。(3)現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子 <small>た なか こ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいているからにはかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるといふ、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、Ⅰ．宗教学の基本的立場、Ⅱ．原始時代の宗教、Ⅲ．一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ．諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ．聖なる母性の比較美術、Ⅵ．仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ．ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立つよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート。

教 科 書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参 考 書 等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

そ の 他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (3) 〔世界観と儀礼〕	お 川 順 敬 <small>おがわ としゆき</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (4) 〔日本人の宗教〕	あらい けん 建 <small>あらい けん</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

日本人の多くは、自分は無宗教であると思っている。しかし、その同じ人が、正月には神社仏閣に初詣に行き、お彼岸にはお墓参りに行っている。これはどういう事なのであろうか。まず、日本人の宗教意識と宗教生活の実態を事実即して明らかにし、それを形成してきた宗教伝統の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半には、諸種の統計資料によって、日本人の宗教生活の実態を明らかにし、なぜそのようなになってきたのかを考察する。後半は、日本人の宗教を形成してきた伝統、就中、その基層を流れている神道的なるものをたどって、日本文化の世界観的特徴を考察する。

履修上の留意点

個々の事実を覚えることよりも、問題を理解し、共に考えることを目指したいので、出席して共に考えて欲しい。原則として出席をとりたいが、受講者多数の場合は出席に代わるレポートを夏休み前に提出して貰う。

成績評価の方法

原則として期末試験により成績評価する。その結果が合格点にやや届かない場合には、出席またはレポートの結果を配慮する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

随時紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (5) 〔生活と宗教〕	菅原 としきよ すが 原 壽 清	禪・仏教選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (6) 〔民俗宗教の諸相〕	佐藤 のりあき さ 藤 憲 昭	禪・仏教選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。通常、宗教といえは、仏教やキリスト教などのように、特定の教義、儀礼、教団などが整備されている成立宗教を連想することが多い。だが、これと並んで他方には、仏教やキリスト教などの外来宗教と、日本の土着宗教とが混じり合い、生活に合った形で展開している宗教の存在を忘れてはならない。このような生活場面で展開している宗教を「民俗宗教」と呼ぶ。この講座では、民俗宗教の諸局面を通して日本人の心とその文化に迫ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の学問的特徴と、宗教文化に関する基本的な用語などについて具体的に解説する。次に、民俗宗教の概念を明らかにした上で、「憑霊（ひょうれい）信仰の諸相」「仏教と民俗宗教」などのテーマのもとに考察する。なお、「憑霊」とは、神霊または呪力が人間その他に乗り移り、あるいは影響を与えて、人間や事物に聖なる変化を生じさせると信じられている現象のことである。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出のこと。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（卒業年次生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。

卒業年次生のみ提出のレポートは、次の通り。〔課題〕宗教文化に関する書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕本文は2000字。〔提出先と時期〕授業時に随時受けつける。ただし、授業時以外は受理しない。〔その他〕表紙をつけること。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ぼやし かず ひこ 竹 林 和 彦	禅・仏教選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス                | 10. 文化景観          |
| 2. 人文地理学の学問的性格          | 11. 文化伝播          |
| 3. 人文地理学の基本概念           | 12. 東南アジアの風土と文化   |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法      | 13. 東アジアの風土と文化    |
| 5. 人文地理学と地誌学            | 14. 市場の風景         |
| 6. 地理学にとって文化とは何か？       | 15. 都市での居住（都市の文化） |
| 7. 地域とは（地域の概念）          | 16. 都市と農村         |
| 8. 文化地域                 | 17. まとめ           |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ |                   |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか はし けん たろう 高 橋 健 太 郎	禅・仏教選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。  
具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学の位置づけ、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化、(5) プナ帯文化、(6) 文化生態、(7) 地域文化と観光、(8) 地図、(9) 地名、(10) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30%）と定期試験の結果（70%）で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり（授業スケジュール順に掲載）。その他については、授業中に適宜紹介する。  
高橋伸夫ほか1995.『文化地理学入門』（東洋書林）  
鈴木秀夫1988.『風土の構造』、講談社（講談社学術文庫）  
佐々木高明1993.『日本文化の基層を探る』（日本放送出版会）  
田畑久夫2003.『照葉樹林文化の成立と現在』（古今書院）  
市川健夫ほか1984.『日本のプナ帯文化』（朝倉書店）  
中島峰広1999.『日本の棚田』（古今書院）  
溝尾良隆2003.『観光学』（古今書院）  
若林幹夫1995.『地図の想像力』、講談社（講談社選書メチエ）

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口 太郎	禅・仏教選	4

## 講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理  
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
- 3 先達による都市観察・記述  
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー

(後期)

- 4 都市の中の差異  
都市計画、時間地理学、認知地図
- 5 商品としての都市  
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱  
選好地図、まなごしの権力性、故郷、集団の風景、住民参加のまちづくり

## 履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

## 成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

## 教科書

前期に以下のテキストを使用する。  
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

## 参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。  
エドワード・レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）  
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）  
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

## その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

[前期] イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3～7)、  
地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)

[後期] 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外  
化・再都市化 (3～8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教科書

講義ではプリントを随時配布する。

参考書等

北川建次編 (2004)『現代都市地理学』(古今書院)  
坂本英夫・浜谷正人編 (1985)『最近の地理学』(大明堂)  
富田和暁・藤井 正編 (2001)『図説 大都市圏』(古今書院)  
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

プロジェクターを用いて講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	豊田千代子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	北村三子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

教科書

ジョン・デューイ『経験と教育』 講談社学術文庫 798円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	豊田千代子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り  
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権  
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	北村三子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま きくこ 大 浜 幾久子	禪・仏教2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験(学期末)の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみ の ぜん じ 角 野 善 司	禪・仏教2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのももちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出题して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数半分以上ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	おおき ほんま きくこ 大 浜 幾久子	12以降入学生/禪・仏教2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	すみ の ぜん じ 角 野 善 司	12以降入学生/禪・仏教2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) カリキュラム（教育課程）とは (2) カリキュラムに関する法制 (3) カリキュラム編成の原則 (4) 学習指導要領改訂の歴史 (5-7) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (8-10) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (11-12) 平成10年改訂学習指導要領（平成15年一部改正）の下での教育評価 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校各週指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』  
講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 〔社会生活を考える〕	お ば た か ず 小 畑 和	禪・仏教選	4

社会分野

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切適切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的（Macroscopic）なものの方の見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。）
  - (2) 誕生に関する要因（出生・墮胎・殺児…）
  - (3) 幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…）
  - (4) 家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…）。
  - (5) 消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…）
  - (6) 会社生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…）
  - (7) 老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題…）などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	禅・仏教選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量  
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率  
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値  
 (10) 確率変数と標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ  
 (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定  
 (16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定  
 (19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習  
 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用  
 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	おがわ としゆき 小 川 順 敬	禅・仏教選	4

講義のねらい

文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	沼田 雅之 <small>ぬま た まさゆき</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

法学は難しい学問であるけれども（なぜなら法律用語というのは一見難解であるから）、決して堅苦しいものではありません。なぜなら、社会で起きている問題をどのように評価するかという手段の一つに過ぎないからです。つまり法学的アプローチを身につけるには、社会を見る適切な「目」を育てること、「教養」をたくさん身につける必要があります。この講義では、抽象的で難解な法律用語の解説に終始するのではなく、社会を見渡せる「リアリティ」を大切にしてゆこうと考えています。したがって、公務員受験などに役立たせようと考えているみなさんには物足りないと感じられるかもしれませんが、物事を「考える」ことに重点をおいているみなさんには、いい刺激となるようなものを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
- 2～3. 自由・独立・平等
- 4～5. 憲法の役割
- 6～7. 現代社会の人権
- 8～9. 契約社会と法
10. 不法行為責任
11. 消費者の保護
- 12～. 予備日

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 人の生・死と法
17. 司法制度改革と裁判員制度
18. 企業と法
19. 労働と法
20. 社会保障と法
21. 私的紛争とその解決
22. 国際社会と法
- 23～. 予備日

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的には後期試験（筆記）のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加算いたします。

教科書

教科書として次のものを指定します。プリント等は配布しません。各自テキストを用意してください。森泉章『法学（第3版）』（有斐閣）2,500円。

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

必ずしも教科書の構成どおりに講義を進行させませんので、注意してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実 <small>いけだ みのる</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。

〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括  
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』(法律文化社)  
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院)平成17年4月刊予定

上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金						8月29日	月	○	○	○	○	○
8月1日	月						8月30日	火	○	○	○	○	○
8月2日	火	△	△	△	△	△	8月31日	水	○	○	○	○	○
8月3日	水						9月1日	木	○	○	○	○	○
8月4日	木						9月2日	金	○	○	○	○	○
8月5日	金						9月5日	月	○	○	○	○	○

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	きよ たか ひと し 清 滝 仁 志	禅・仏教選	4

社会分野

講義のねらい

この講義では、グローバル化を中心課題において、社会の変化を政治学の観点から学んでいきます。皆さんの生きている時代は今までになく将来が見えない状況となっています。たとえば「定年まで同じ会社にいる」「土地は値上がりする」「銀行はつぶれない」など以前における社会常識の多くが通用せず、この状況は、ほとんど誰もが経験していません。

講義では、この社会変化を考察しながら、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざします。授業を通じ、自分で未来を切り開くための知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明

- 1 グローバル社会における諸問題
  - (1) グローバル化の時代—市場と国家の新たな関係—
  - (2) 市場経済の展開—「大きな政府」から「小さな政府」へ—
- 2 日本における「構造改革」の推進
  - (1) グローバル化と日本—日本型経済システムとその限界—
  - (2) 日本の政治と「構造改革」
- 3 政治制度の比較考察
  - (1) 選挙制度と日本の政党政治
  - (2) アメリカ大統領制の考察
- 4 日本における政策課題
  - (1) 福祉国家の形成と動揺
  - (2) 地方分権と地方自治
  - (3) 日本農業の変革と国際化

履修上の留意点

この講義では次のことをおこないます。

- 1 身近な時事問題を取り上げ、そのポイントの解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答え、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習  
さらに公務員試験等に対応できるように配慮します。

成績評価の方法

定期試験を中心としますが、レポート、出席状況を勘案。講義を通じて、いかに力をつけたか、を評価します。

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介します。

参考書等

毎回、レジュメと資料を配布します。レジュメはHPを通じて入手可。

その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	もり たい せい や 森 田 成 也	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本の条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思います。

社会分野

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

（1）はじめに （2）社会と経済 （3, 4）商品・貨幣 （5, 6, 7, 8）資本と剰余価値

（9）賃金 （10,11）資本の蓄積 （12）利潤と利潤率 （13）利子生み資本と株式資本  
（14,15）独占資本、国家、外国貿易 （16）世界市場と帝国主義

（後期）日本経済の基本構造を学ぶ

（17,18）戦前の日本と戦後日本経済の出發 （19,20）現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 （21,22）企業社会の形成と日本的働き方の確立 （23）低成長期以降の企業社会の肥大化 （24）企業社会と女性 （25,26）経済大国日本とバブル経済  
（27,28）長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石 雄 爾	禅・仏教選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）  
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳 堀 素雅子 <small>やなぎ ぼり すがこ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間の生と死の問題を多角的な方向から考察していく。その際に重要となることは、どのような視点から人間の生と死を考察していくかということである。医学的、生物学的に見た人間の生と死、文化や民族や国や宗教によって異なる死生観、環境問題と人間の関係などの問題を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

戦争と人間の死の問題。  
環境問題と人間の関係。  
先端医療と人間の生と死の問題

履修上の留意点

単に知識を詰め込むだけでなく、情報を分析し、自分の見解を明確に論じることができるようになる必要がある。出席状況が悪いと講義の内容についていけないので、講義には必ず出席するように。

成績評価の方法

レポートの提出状況、出席状況などを総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

授業中にその都度紹介する。

その他

ビデオ、DVDも豊富に使用する。  
参加人数が少なければ、討論も取り入れる予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕	野 中 弘 敏 <small>の なか ひろ とし</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

- おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。
- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
  - ・人間の心理-社会的発達
  - ・人格の構造と機能
  - ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
  - ・心理療法の基本的考え方
  - ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	禅・仏教選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 生物の生活
  - (1-5) 地球の歴史と生命の期限
  - (6-13) 生態系のしくみ
- (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
  - (14-21) ゴミ処理とダイオキシソ汚染
  - (22-23) 水銀汚染と水俣病
  - (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の素顔と地球環境問題〕	かとうきよし 加藤 潔	禅・仏教選	4

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に2回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めません。適宜プリントを配布。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔生命と環境〕	もちまるまきり 持丸真里	禪・仏教選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2) 生物とは何か (3) 生命の誕生と地球環境  
(4) 地球温暖化 (5) 生態系内の物質循環 (6) 生産者の働きと生態系  
(7) 森林破壊  
(後期) (8) 生態系の浄化作用 (9) 化学物質による生態系汚染  
(10) ダイオキシン問題 (11) 環境ホルモン (12) オゾン層破壊  
(13) 近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教 科 書

なし

参 考 書 等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）  
1,500円  
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	禅・仏教選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境  
 (1-6) 自然のしくみ  
 (7-12) 自然の改変
- (後期) 食をめぐる問題  
 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物  
 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物  
 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円  
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔変動する地球と環境〕 (夏季集中)	やまもと ゆづる 山本 由弦	禅・仏教選	4

講義のねらい

自然環境の変化を考えるためには、人類による物理的・化学的環境汚染など社会的要因によるものと、地震や火山活動に代表される自然的要因をあわせて考えることが必要とされる。本講義では、後者の自然的要因に焦点を絞り、これらの諸現象とその地球科学的背景についての理解を深めることをねらいとしている。特に日本列島がプレートテクトニクスなど地球科学体系の中でどういった位置にあるのかを理解することを最初期の目的とし、最新の研究成果を紹介しながら災害や自然環境変化の要因を考える。また、日本列島とは異なった地球科学的背景が見られる世界各地の例も一部紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球の構造と日本列島の地球科学的位置
2. 日本を構成するもの - 付加体・衝突帯・火山列
3. 地震と断層
4. 斜面崩壊と液状化
5. 日本の地球科学的環境 - 関東周辺・南九州
6. 世界の地球科学的環境 - 大陸：米国・アジア 造山帯：米国・英国

成績評価の方法

出席およびレポート

教科書

使用しない

参考書等

講義の中で紹介

その他

液晶プロジェクターもしくはOHPを使用  
授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△	△	△	△
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月	△	△	△	△	△

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里	禅・仏教選	4

#### 講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
  - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
  - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
  - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
  - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
  - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
  - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
  - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
  - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
  - (3) 化石燃料の化学
  - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
  - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

#### 履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

#### 成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追再試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつと評価を受けること。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	禅・仏教選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠	禅・仏教選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田賢一	禅・仏教選	4

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。 本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。また、時間が許せば、経済工学・金融工学の基礎もともに学びたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用、 後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用、交通・運輸の数理、経営の数理
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。また、社会・経済現象に対する認識を深める必要もある。
成績評価の方法	前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。
教科書	使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。
参考書等	必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。
その他	教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	坂野井和代	禅・仏教選	4

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理、確率と統計について学ぶ。後期は、主に形式言語理論の基礎について学ぶ。
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円 J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I 〔第2版〕』（サイエンス社）2,800円 ISBN4-7819-1027-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	禅・仏教選	4

#### 講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

#### 履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

#### 成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

#### 教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

#### 参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

#### その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 〔衣食住の化学〕	もち 丸 真 里 持 丸 真 里	禪・仏教選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁  
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストビックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宇 宙 科 学 〔星と銀河〕	しの 原 正 雄 篠 原 正 雄	禪・仏教選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。  
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返し、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。  
太陽： 構造 エネルギー源  
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源  
後期は銀河をとりあげます。  
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域  
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造  
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教 科 書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

そ の 他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。  
なお、履修者数によっては、シラバス通りの講義の実施が物理的に不可能になることもあり得ます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	禅・仏教選	2

#### 講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

#### 履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

#### 成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

#### 教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> のHTMLとCSSを教科書として使用します。

#### 参考書等

『改訂第4版オールカラーHTMLポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円

#### その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山本博信	禅・仏教選	2

自然分野

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎
- (3・4) キータッチの基本
- (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
- (6～7) ワープロソフトと日本語変換
- (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
- (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
- (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、(1) 出席状況、(2) 授業期間中に適宜行う演習やレポート(成果物)、(3) 授業の最終回で行う実技試験および筆記試験を総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわぐち たかし 澤 口 隆	禅・仏教選	2

#### 講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

#### 履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

#### 成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

#### 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

#### 参考書等

同上

#### その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	禅・仏教選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(11)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	○	○	○				8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	△	△	△				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	○	○	○				9月5日 月						

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さかのい かず 坂野井 和 代	禅・仏教選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程  
コンピュータ基礎(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金				○	○	○	8月29日 月						
8月1日 月				○	○	○	8月30日 火						
8月2日 火				○	○	○	8月31日 水						
8月3日 水				○	○	○	9月1日 木						
8月4日 木				○	○	○	9月2日 金						
8月5日 金				△	△	△	9月5日 月						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信	禅・仏教選	2

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・  
授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成して Web ページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場（業務）ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方（ビジュアル表現）についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
  - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
  - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定（毎回、プリントを配布します。）

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程

コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	△						8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	○	○	○				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	○	○	○				9月5日 月						

△は予備日



コンピュータ基礎(17)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△					

△は予備日

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ かつみ 長 坂 浩 史	禅・仏教選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Webページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excelによる表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用(電子メール、WWW)等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料はWebページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Webページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。  
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。  
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。  
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程  
コンピュータ基礎(14)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○				8月29日	月						
8月1日	月	○	○	○				8月30日	火						
8月2日	火	○	○	○				8月31日	水						
8月3日	水	○	○	○				9月1日	木						
8月4日	木	○	○	○				9月2日	金						
8月5日	金	△	△	△				9月5日	月						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (15)(16)(18) (コンピュータの実際) (夏季集中)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (15)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○				8月29日	月						
8月1日	月	○	○	○				8月30日	火						
8月2日	火	○	○	○				8月31日	水						
8月3日	水	○	○	○				9月1日	木						
8月4日	木	○	○	○				9月2日	金						
8月5日	金	△	△	△				9月5日	月						

△は予備日

コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金				○	○	○	8月29日	月						
8月1日	月				○	○	○	8月30日	火						
8月2日	火				○	○	○	8月31日	水						
8月3日	水				○	○	○	9月1日	木						
8月4日	木				○	○	○	9月2日	金						
8月5日	金				△	△	△	9月5日	月						

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(20) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	さかのい かずよ 坂野井 和代	禅・仏教選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやるのもよいか、何をやるてはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	さかのい かずよ 坂野井 和代	禅・仏教選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、Visual Basicという言葉を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。最後に、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作(ウィンドウ操作、電子メール、wwwの利用など)はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識(関数logなど)が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』(翔泳社) 1,900円  
ISBN4-88135-718-2

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1)(2) 〔人類の進化〕	しの だ けん いち 篠 田 謙 一	禅・仏教選	4

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。  
 「人類学の歴史と包括する分野」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

R. ルーウィン著、保志 宏訳『ここまでわかった人類の起源と進化』(てらぺいあ) 3,200円 ISBN: 4-88699-013-4

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話の聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	たか ばし よし ひろ 高 橋 良 博	禅・仏教選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。  
 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。  
 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

履修上の留意点

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)など総合して評価を行う。

成績評価の方法

講義の中で指示する。

教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版) 2,000円税別

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	堀内正彦	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- (1) 私語は厳禁である。
- (2) 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- (3) 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半						後半						
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△		
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	禅・仏教選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的なテーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。それを前提にして、「肉食」というテーマを、仏教思想を包括する意味でのインド思想全体の関連の中で検討する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	禅・仏教選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。  
仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ (2) 〔自然観察入門富浦を めぐる人と自然〕	清水 善和・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫	禅・仏教選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習を行う。また、夏休み中に千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、泊まり込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習を行う。内容に応じて、合計8名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。

前期半期：本校での講義（一部実習を含む）

(1) ガイダンス (2) 自然観察の方法 (3) 植物の観察1 (4) 植物の観察2 (5) バードウォッチングの方法 (6) バードウォッチングの実習 (7) 化学的な見方1 (8) 化学的な見方2 (8) 地球科学的な見方1 (10) 地球科学的な見方2 (11) 天体観測の方法1 (12) 天体観測の方法2 (13) 富浦実習に向けて

富浦での講義と実習：7月17日(日) 午後～7月21日(木) 午前(4泊5日)

午前の講義、午後の野外実習、夜の天体観測など。

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加する人のみ履修すること。採点の都合上、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする(予約の都合上、宿泊費1万6千円を4月中旬に徴収する)。実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計7名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点とを総合して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試は行わない。

教科書

特になし。

参考書等

各担当教員が必要に応じて紹介する。

その他

抽選の可能性があるので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	禅・仏教選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おが ぎき としちろう 岡 崎 寿一郎	禪・仏教選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔女性学・男性学〕	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	禅・仏教選	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるもの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

総合分野

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。  
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教科書

プリントその他を必要におうじて配布する。  
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参考書等

参考書はその都度列举する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あきと 林 明人	禅・仏教選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむらゆうこ 西村祐子	禅・仏教選	4

講義のねらい

アメリカのNPO,NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市のNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。  
 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い  
 コミュニティ・ビルディングとNPO  
 シアトルのまちづくり  
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO  
 アメリカにおける移民とNPO  
 自治体とNPOの協働について

後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較  
 日本のまちづくり政策とNPO  
 世田谷区のまちづくりとNPO  
 まちづくり協議会とNPO  
 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO  
 日本における移民政策とNPO

履修上の留意点

マルチメディア教場で講義をおこない、インターネットやビデオなどを毎回使う。受講人数は50名に限定。授業でコンピュータにアクセスするためにコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸小哲雄	禅・仏教選	4

講義のねらい

近代思想批判としてのポストモダンの世界を分析して、合理化と絶対世界に対する相対化と主体化の問題を取り上げて、それを乗り越えるための方法を見出すように講義します。

講義の内容・授業スケジュール

モダニズムからポストモダニズムへの移行過程における問題を扱う。たとえば、近代の啓蒙思想の問題、合理性の問題、理性の暴力（排除されたもの）、相対化の問題、狂気の問題、建築・モード（ファッション）・エロス、携帯電話といったヴィジュアル系文化の問題、そして主体化過程を講義していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

配布されたリーディング・リストに基づいて前期と後期にそれぞれテキストを読み、レポートを作成し提出する。最後にチームペーパーにまとめて、「ポストモダンにおける〈主体性〉のあり方」という表題でレポートを提出すること。なお出席を重視します。

教科書

読書リスト配布  
 プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ また よう たろう 川 股 陽太郎	禪・仏教選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとはイギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、「地理的な面」と「人種的な面」から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するのか、どの人種に属するのかを決めるのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。しかし、「血」もさることながら、それを決定するのはその人の「所属意識」である。

ピクトおよびケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人およびヴァイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように常に自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。

偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白い。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポートはレポート用紙10枚程度のものを、12月末迄に提出。「引用文」には注（書名と頁数）を付し、参考文献名を記入すること。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じ講義のレジメ、参考文献、資料等を適宜配布する。

そ の 他

講義形式をとる。その一助として、視聴覚機材（VHS、DVD、PC、書画カメラ）等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ、年間講義予定表に基づき講義を進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔民族とは何か〕	おののめじ 大野 祐二	禅・仏教選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教 科 書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参 考 書 等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)  
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)  
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔イスラム〕	よしだ きょうこ 吉田 京子	禅・仏教選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話、儀礼、救済、聖性の四側面から、宗教としてのイスラームにアプローチする予定。各5回から6回の授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

後期末の試験により成績を決定する。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

授業中紹介

そ の 他

数回のビデオ上映を予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	禅・仏教選	4

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいききてゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いたもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔トラブルと法的解決〕	藤本 茂・荒木 正孝 竹中 智香・原田啓一郎 日笠 完治・山口 邦夫	禅・仏教選	4

#### 講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生生活と社会保障の法的トラブル

#### 履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。  
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

#### 成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。  
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ 〔都市論〕 (2)	内海 麻利・浦田 早苗 坂井 文・品田 知美 早川 純貴・保坂 尚郎	禅・仏教選	4

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

6名の講師により、各々4回講義を担当する。その順序、時期と講義内容は以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

品田知美「都市の変容と生活様式」（4回：4月・5月）

多くの人々が集う都市には、独特の生活様式が見いだせる。本講義では、大都市圏を中心とした日本の都市的生活様式を、主に2つの視角から振り返る。(1) 環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するか。(2) 家族：都市は、新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるか。過去を知り、現在を理解しながら、ともに近未来を考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」（4回：5月・6月）

都市における労働では、快適な通勤の実現や子育てとの両立などが課題となる。この講義では、通勤と関わる需要サイドを重視した交通政策「TDM」の展望や裁量労働制、SOHOワークなど新たな働き方と保育制度改革のあるべき方向などを検討し、「痛勤」からの解放と労働と子育ての両立を考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

内海麻利 「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られる都市づくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

坂井 文 「都市を公共空間から読む」（4回：11月・12月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にともなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。



総合分野

### 3. 外 国 語 科 目

外  
国  
語

外國語

### 3 . 外国語科目

#### 《必修・選択必修科目》

##### 〔英 語〕

英語 I A ( 禅 )	〈高橋 寛〉	91
英語 I A ( 禅 )	〈三幣 友行〉	91
英語 I A ( 禅 )	〈塚本 利男〉	92
英語 I A ( 仏 )	〈伊勢村 定雄〉	92
英語 I A ( 仏 )	〈尾形 重政〉	93
英語 I A ( 仏 )	〈牧野 輝良〉	93
英語 I A ( 禅仏 )	〈大庭 直樹〉	93
英語 I B ( 禅 )	〈岡崎 寿一郎〉	94
英語 I B ( 禅 )	〈三幣 友行〉	94
英語 I B ( 禅 )	〈杉村 初枝〉	95
英語 I B ( 仏 )	〈国見 晃子〉	95
英語 I B ( 仏 )	〈本間 章郎〉	96
英語 I B ( 仏 )	〈尾形 重政〉	96
英語 I B ( 禅仏 )	〈三幣 友行〉	96
英語 II A ( 禅 )	〈濱口 真木〉	97
英語 II A ( 禅 )	〈大淵 利春〉	97
英語 II A ( 仏 )	〈川手 浩一〉	98
英語 II A ( 仏 )	〈三芳 康義〉	98
英語 II A ( 仏 )	〈芝田 興太郎〉	98
英語 II B ( 禅 )	〈河内 賢隆〉	99
英語 II B ( 禅 )	〈太田 由紀子〉	99
英語 II B ( 仏 )	〈川崎 笑佳〉	100
英語 II B ( 仏 )	〈田中 靖子〉	100
英語 II B ( 仏 )	〈河内 賢隆〉	100

外国語

##### 〔ド イ ツ 語〕

ドイツ語 I A ( 禅・仏 )	〈杉本 正俊〉	101
ドイツ語 I B ( 禅・仏 )	〈南 はるつ〉	101
ドイツ語 II A ( 禅・仏 )	〈柴野 博子〉	101
ドイツ語 II A ( 禅・仏 )	〈本橋 右京〉	102
ドイツ語 II B ( 禅・仏 )	〈飯塚 公夫〉	102

##### 〔フ ラ ンス 語〕

フランス語 I A ( 禅・仏 )	〈芦原 眷〉	103
フランス語 I B ( 禅・仏 )	〈桑田 禮彰〉	103
フランス語 II A ( 禅・仏 )	〈小玉 齊夫〉	104
フランス語 II A ( 禅・仏 )	〈沼倉 広子〉	104
フランス語 II B ( 禅・仏 )	〈菅谷 暁〉	104

##### 〔中 国 語〕

中国語 I A・I B ( 禅・仏 )	〈布施 直子・徳間 佳信〉	106
中国語 I A・I B ( 禅・仏 )	〈福地 桂子・曹 泰和〉	107
中国語 I A・I B ( 禅・仏 )	〈工藤 早恵・塩旗伸一郎〉	107

中国語ⅠA・ⅠB (禪・仏)	〈上原かおり・下出 宣子〉	108
中国語ⅠA・ⅠB (禪・仏)	〈本間由香利・佐藤普美子〉	108
中国語ⅠA・ⅠB (禪・仏)	〈釜 屋 修〉	109
中国語ⅠA・ⅠB (禪・仏)	〈小 川 隆〉	109
中国語ⅡA (禪・仏)	〈釜 屋 修〉	109
中国語ⅡA (禪・仏)	〈佐 藤 普美子〉	110
中国語ⅡA (禪・仏)	〈李 雲〉	110
中国語ⅡA (禪・仏)	〈松 本 丁 俊〉	110
中国語ⅡB (禪・仏)	〈岩 崎 皇〉	111
中国語ⅡB (禪・仏)	〈平 石 淑 子〉	111
中国語ⅡB (禪・仏)	〈弘 兼 加奈子〉	111

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA (禪・仏)	〈ナバロ, ホワン J.〉	112
スペイン語ⅠB (禪・仏)	〈萩 野 雅 司〉	112
スペイン語ⅡA (禪・仏)	〈大 岩 功〉	113
スペイン語ⅡA (禪・仏)	〈福 本 久美子〉	113
スペイン語ⅡB (禪・仏)	〈大 岩 功〉	114

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA (禪・仏)	〈佐 野 朝 子〉	116
ロシア語ⅠB (禪・仏)	〈廣 田 英 靖〉	116
ロシア語ⅡA (禪・仏)	〈杉 山 秀 子〉	117
ロシア語ⅡB (禪・仏)	〈木 村 英 明〉	117

# 《再履修クラス》

## 〔英 語〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈松 堂 啓 子〉	118
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩 井 洋 美〉	118
英語 I A	〔再クラス〕	〈朝 川 真 紀〉	118
英語 I A	〔再クラス〕	〈埴 美智子〉	119
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉 江 正 雄〉	119
英語 I A	〔再クラス〕	〈西 村 祐 子〉	120
英語 I A	〔再クラス〕	〈外 池 一 子〉	120
英語 I A	〔再クラス〕	〈高 柳 文 江〉	121
英語 I A	〔再クラス〕	〈桧 山 晋〉	121
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩 原 康 夫〉	122
英語 I A	〔再クラス〕	〈丸 小 哲 雄〉	122
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊 沢 和 明〉	122
英語 I B	〔再クラス〕	〈木 村 克 彦〉	123
英語 I B	〔再クラス〕	〈江 田 幸 子〉	123
英語 I B	〔再クラス〕	〈牧 野 正 秀〉	123
英語 I B	〔再クラス〕	〈石 原 孝 哉〉	124
英語 I B	〔再クラス〕	〈真 砂 久 晃〉	124
英語 I B	〔再クラス〕	〈高 柳 文 江〉	124
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊 沢 和 明〉	125
英語 I B	〔再クラス〕	〈近 藤 真 彫〉	125
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯 沼 好 永〉	125
英語 II A	〔再クラス〕	〈菅 原 典 子〉	126
英語 II A	〔再クラス〕	〈太 田 美智子〉	126
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡 崎 寿一郎〉	126
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐 藤 江里子〉	127
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡 崎 寿一郎〉	127
英語 II A	〔再クラス〕	〈塚 本 利 男〉	127
英語 II A	〔再クラス〕	〈太 田 由紀子〉	128
英語 II A	〔再クラス〕	〈矢 島 直 子〉	128
英語 II A	〔再クラス〕	〈相 馬 美 明〉	128
英語 II A	〔再クラス〕	〈川 島 弘 之〉	129
英語 II A	〔再クラス〕	〈町 田 尚 子〉	129
英語 II A	〔再クラス〕	〈三 浦 眞 理〉	130
英語 II A	〔再クラス〕	〈山 岸 二 郎〉	130
英語 II B	〔再クラス〕	〈佐 藤 江里子〉	130
英語 II B	〔再クラス〕	〈長谷川 公 一〉	131
英語 II B	〔再クラス〕	〈川 手 浩 一〉	131
英語 II B	〔再クラス〕	〈太 田 美智子〉	131
英語 II B	〔再クラス〕	〈長谷川 公 一〉	132
英語 II B	〔再クラス〕	〈田 中 保〉	132
英語 II B	〔再クラス〕	〈落 合 和 昭〉	132
英語 II B	〔再クラス〕	〈川 股 陽太郎〉	133
英語 II B	〔再クラス〕	〈町 田 尚 子〉	133
英語 II B	〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	134
英語 II B	〔再クラス〕	〈山 縣 裕〉	134
英語 II B	〔再クラス〕	〈手 島 敬 子〉	134

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈志 真 斗美恵〉	135
ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈井 村 行 子〉	135
ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈藪 下 紘 一〉	135
ドイツ語 I A	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	136
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈飯 塚 公 夫〉	136
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈堀 内 美 江〉	137
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	137
ドイツ語 I B	〔再クラス〕	〈井 村 行 子〉	138
ドイツ語 II A・II B	〔再クラス〕	〈森 公 成〉	138
ドイツ語 II A・II B	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	138
ドイツ語 II A・II B	〔再クラス〕	〈岡 本 時 子〉	139

〔フランス語〕

フランス語 I A	〔再クラス〕	〈前 田 祝 一〉	140
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈芦 原 眷〉	140
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈小 玉 齊 夫〉	140
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈菅 原 猛〉	141
フランス語 I A	〔再クラス〕	〈谷 川 かおる〉	141
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈菅 谷 暁〉	141
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈今 関 ア ン〉	142
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈伊 藤 な お〉	142
フランス語 I B	〔再クラス〕	〈長谷川 光 明〉	143
フランス語 II A・II B	〔再クラス〕	〈畑 中 千 晶〉	143
フランス語 II A・II B	〔再クラス〕	〈沼 倉 広 子〉	143
フランス語 II A・II B	〔再クラス〕	〈前 田 祝 一〉	144

〔中国語〕

中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈江 林 英 基〉	145
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈秋 元 翼〉	145
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈塩 旗 伸一郎〉	146
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈佐 藤 普美子〉	146
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈根 岸 政 子〉	146
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈張 宏 波〉	147
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	147
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈戸 張 嘉 勝〉	148
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	148
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	148
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈徳 間 佳 信〉	149
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	149
中国語 I A・I B	〔再クラス〕	〈蘭 明〉	149
中国語 II A	〔再クラス〕	〈平 石 淑 子〉	150
中国語 II A	〔再クラス〕	〈岩 崎 皇〉	150
中国語 II A	〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	150
中国語 II B	〔再クラス〕	〈李 雲〉	151
中国語 II B	〔再クラス〕	〈李 雲〉	151
中国語 II B	〔再クラス〕	〈蘭 明〉	151

〔スペイン語〕

スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大 岩 功〉	152
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大 岩 功〉	152
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈ナバロ, ホワン J.〉	153
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈亀 山 晃 一〉	153
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大 岩 功〉	153
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈荻 野 恵〉	154
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈佐 藤 麻里乃〉	154
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈福 本 久美子〉	154
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈大 岩 功〉	155
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈亀 山 晃 一〉	155

〔ロシア語〕

ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈廣 田 英 靖〉	156
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈佐 野 朝 子〉	156
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈木 村 英 明〉	157
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈安 徳 ニーナ〉	157
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	157
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈大須賀 史 和〉	158
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈安 徳 ニーナ〉	158



# 《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	159
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	159
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	159
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	160
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	160
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	161
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	161
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	162
マルチ・メデア	〈落 合 和 昭〉	162
マルチ・メデア	〈大 庭 直 樹〉	163
マルチ・メデア	〈西 村 祐 子〉	163
英 会 話 I	〈ウエルズ, J. K.〉	164
英 会 話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	165
英 会 話 I	〈ピアス, D. M.〉	166
英 会 話 I	〈ラッセル, S. J.〉	167
英 会 話 I	〈ラーヂ, R.〉	168
英 会 話 I	〈レーン, C. M.〉	169
英 会 話 II	〈ラッセル, S. J.〉	170
英 会 話 II	〈レーン, C. M.〉	171
英 会 話 II - 夏季集中 -	〈ピアス, D. M.〉	172
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	173
英 会 話 III	〈ラーヂ, R.〉	174
英 会 話 III - 夏季集中 -	〈レーン, C. M.〉	175
英 語 L L I	〈太 田 雅 子〉	176
英 語 L L I	〈甲 斐 捷 子〉	176
英 語 L L I	〈加 藤 佐 和 子〉	177
英 語 L L I	〈久 保 ひ さ 子〉	177
英 語 L L I	〈西 村 祐 子〉	178
英 語 L L I	〈埴 美 智 子〉	178
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	179
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	179
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	180
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	181
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	182
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	182
ドイ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	183
時 事 ドイ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	183
上 級 ドイ ツ 語	〈柴 野 博 子〉	183
ドイ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	184
ドイ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	184
ドイ ツ 語 I A (選)	〈五 十 嵐 信 子〉	185
ドイ ツ 語 I B (選)	〈藪 下 紘 一〉	185
ドイ ツ 語 II (選)	〈藪 下 紘 一〉	185
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈遠 山 博 雄〉	186
時 事 フ ラ ン ス 語	〈桑 田 禮 彰〉	186
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	187
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラ リ ア ・ 三 倉, M〉	187

フランス語 L L II	〈ラリア・三倉, M〉	187
フランス語 I A (選)	〈出口 雅 敏〉	188
フランス語 I A (選)	〈遠山 博 雄〉	188
フランス語 I B (選)	〈菅原 猛〉	188
フランス語 II (選)	〈桑田 禮 彰〉	189
中国語外国書講読	〈佐藤 普美子〉	189
時事中国語	〈塩旗 伸一郎〉	190
上級中国語	〈釜屋 修〉	190
中国語 L L I	〈岩崎 皇〉	191
中国語 L L II	〈小川 隆〉	191
中国語 I A (選)	〈釜屋 修〉	191
中国語 I A (選)	〈宮本 厚 子〉	192
中国語 I B (選)	〈蘭 明〉	192
中国語 II (選)	〈松本 丁 俊〉	192
スペイン語外国書講読	〈真下 祐 一〉	193
時事スペイン語	〈真下 祐 一〉	193
上級スペイン語	〈上野 勝 広〉	193
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	194
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	194
スペイン語 I A (選)	〈亀山 晃 一〉	194
スペイン語 I B (選)	〈ナバロ, ホワン J.〉	195
スペイン語 II (選)	〈荻野 雅 司〉	195
ロシア語外国書講読	〈廣田 英 靖〉	195
時事ロシア語	〈木村 英 明〉	196
上級ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	196
ロシア語 L L I	〈安徳 ニーナ〉	196
ロシア語 L L II	〈安徳 ニーナ〉	197
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	197
ロシア語 I B (選)	〈木村 英 明〉	198
ロシア語 II (選)	〈クロチコフ, Y.〉	198
朝鮮語 I A・I B (選)	〈白 賢 美〉	198
朝鮮語 II (選)	〈白 賢 美〉	199

外  
国  
語

# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	たか はし ひろし 高 橋 寛	禅1必	2

### 講義のねらい

ヒアリング練習を通し簡単な日常英会話が聴き取れる力をつける。あわせて海外旅行で役立つ英語表現を覚える。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストのヒアリング練習問題を順番にやり進めていきます。1つのUNITを2~3週で終わらせる予定です。

### 履修上の留意点

テキストは必ず購入し毎回授業に持って来ること。また英和辞典も準備して下さい。

### 成績評価の方法

出席率と定期試験(年2回)の得点を基に評点を出します。ただし欠席が全授業数の3分の1を超えた段階で不合格となるので注意して下さい。

### 教 科 書

行時潔・Daniel Droukis 著『英語で楽しむ海外旅行』(松柏社)

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	み ゆき とち ゆき 三 幣 友 行	禅1必	2

### 講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英語による意思伝達能力の向上を目指す

### 講義の内容・授業スケジュール

予習を前提として授業をすすめる。

### 履修上の留意点

欠席が全体の3分の1を超えたら単位は認めない

### 成績評価の方法

出席点、平常点、小テスト点、定期試験を総合的に評価する

### 教 科 書

未定

### そ の 他

その他細かい事は授業開始時に説明する

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	塚本利男	禅1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習を兼ねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円＋税 ISBN4-255-15390-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	伊勢村定雄	仏教1必	2

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英語の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

4月 ガイダンス（2回目から授業開始）  
〈本文音読・訳読→ダイアログ音読・訳読→練習→ダイアログテスト〉のサイクルで授業はすすめる。

5月 (ダイアログ) オーラルテスト (1回)

6月 オーラルテスト (2回)

7月 オーラルテスト (3回)

9月 後期のガイダンス及び授業開始  
(後期から〈2度/3時間〉の割合でオーラルテストとなる)

10月 オーラルテスト (4回)

10月 オーラルテスト (5回)

10月 オーラルテスト (6回)

11月 オーラルテスト (7回)

11月 オーラルテスト (8回)

12月 オーラルテスト (9回)

12月 オーラルテスト (10回?)

履修上の留意点

予習は必ずすること！ 辞書は持参のこと。

成績評価の方法

主にオーラルテストによる。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄、Dennis R.Kogg『アメリカン・ライフを英語で』（北星堂書店）1,900円

参考書等

なし

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	尾形重政 <small>おがたしげまさ</small>	仏教1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語による意思伝達力の把握に努めます。特に会話表現では、日常基本表現からダイアログまでの理解と運用能力を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や英語検定問題も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

積極的な授業参加度を重視し、前期後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書

第1回目の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	牧野輝良 <small>まきのてるよし</small>	仏教1必	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造、語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをよく読み、あわせてよりよく英文を理解するために、ドリルとして英文法の問題を課する。

履修上の留意点

指名された学生は答えられるように予習して出席すること。

成績評価の方法

授業中の発表、提出物、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席等を総合して評価する。

教科書

『基本英文法』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	大庭直樹 <small>おおほなおき</small>	禅・仏教1必	2

講義のねらい

基本的な文法書をテキストにして、ことばのしくみを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

1年間でつ、英語は、語彙さえ調べれば読みこなせる、というレベルまで到達できるようにしたい。クラスでは、日本語と英語を比較・検討しながら違いと類似点を話題にしていきたい。

履修上の留意点

毎回、細かい指示を出すので、その指示にしたがって学習すること。

成績評価の方法

二回の定期試験を行うが、成績は平常点を重視する。つまり、クラスに積極的に参加する姿勢と、個々の学生の達成度を重視する。そのためには、毎回、クラスに参加することは当然のことである。

教科書

テキストは教場で指示する。

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	岡崎 寿一郎 <small>おかざきとしちろう</small>	禅1必	2

### 講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

### 履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

### 成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

### 教 科 書

『イギリスの民話・神話・伝説』(太陽社) 1,400円

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	三幣 友行 <small>みぬさともゆき</small>	禅1必	2

### 講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英文を正しく読み、正しく理解することを目標とする。

### 履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

### 成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の2/3に満たない場合は単位を認めない。

### 教 科 書

未定

### そ の 他

その他細かい事は授業開始時に説明する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	すぎむら ほん え 杉 村 初 枝	禅1必	2

講義のねらい

英文を正確に読みこなせる読解力をつけることを目標に、文法・構文に留意した精読を中心に授業を進めます。単なる英訳にと留まらず文脈を的確に捉え、テーマを把握できるような英文解釈を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読解を中心に授業を進めます。

履修上の留意点

毎回授業の最初に小テストを行います。テストの提出を以って出席と見なしますので、遅刻をしないよう注意してください。なお、欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、成績評価の対象となりません。

授業は、発表形式で進めますが、発表者は予めレポートをまとめて授業時に提出してください。発表時のレポートを含め、必ず年間5回レポートを提出してください。

成績評価の方法

小テスト、レポート、発表、前期後期に行なう試験に基づいて総合的に評価します。

教科書

テキストは開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	くに みる あき こ 国 見 晃 子	仏教1必	2

講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。

後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表してもらいます。

履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

教科書

後日指定いたします。

外国語



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ほんま あさ お 本 間 章 郎	仏教1必	2

講義のねらい

時事的な関心の高い題材を扱った英文を読むことで、幅広い知識を身に付けるとともに、それぞれの題材に関連した専門的な語彙を増やし、高校までの英語の文法、構文の知識を再確認しながら、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および前期と後期の試験の結果などから総合的に評価します。

教科書

ジョアン・ペロケティ他著『Biobusiness and the Environment (バイオビジネスと環境)』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17468-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	お が た しげ まさ 尾 形 重 政	仏教1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。特に精読では段落・文章全体の把握に、聴解では文章・ダイアローグの大意の把握に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、適宜、補助教材も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

積極的な授業参加度を重視し、前期後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書

第1回の授業時に教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	み ぬ さ と も ゆ き 三 幣 友 行	禅・仏教1必	2

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英語を正確に読む力の向上を目的とする

講義の内容・授業スケジュール

予習を前提として授業をすすめる

履修上の留意点

欠席が授業全体の3分の1を超えたら単位は認めない

成績評価の方法

出席点、平常点、小テスト点、定期テストを総合的に評価する

教科書

未定

その他

その他細かい事は授業開始時に説明する

# 英 語 II A

## 〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	はまぐちまさき 濱口真木	禪2年	2

### 講義のねらい

英語 I A で学んだ英語を基礎として、英語の運用能力の向上を目標とします。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

### 履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

### 成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

### 教科書

『News in Science』(金星堂) 1,800円 ISBN4-7647-3793-0

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	おおぐちとしはる 大 瀧 利 春	禪2年	2

### 講義のねらい

英作文を練習することによって、英語運用能力の向上を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキスト中心に進めていきますが、毎回小テストも行います。

### 履修上の留意点

予習を行って授業に参加して下さい。また、辞書は必ず持参するようにして下さい。

### 成績評価の方法

前、後期2回のテストの結果をベースとし、それに平常点(出席状況、小テストの結果など)を加えて、総合的に評価します。

### 教科書

『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	川 手 浩 一 <small>かわ て ひろ かず</small>	仏教2年	2

講義のねらい

速読の方法のひとつとして、英文を構造でとらえ、その論理的展開です。

講義の内容・  
授業スケジュール

欧米の読み物では特に、文章構成のパターンが決まっているという特徴があります。それは欧米では「論理的」な思考が重視されるからです。構造をしっかりさせ、話の展開がスムーズにわかるような工夫を欧米人はしているのです。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

日常の学習を重視し、試験の結果を入れて総合的に評価します。

教 科 書

『Skills for Better Reading』(Nanundo)  
『構造で読む英文エッセイ』(南雲堂) 1,500円 ISBN4-523-17409-1 C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	三 芳 康 義 <small>み よし やす よし</small>	仏教2年	2

講義のねらい

基本的な英文を正確に読むために必要な文法の知識をより体系的に整理して学ぶことにあります。英文の内容理解と文法事項を再確認し、また英語の運用能力の向上をはかる。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回~6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

Milada Broukal・竹前文夫・菊地圭子編著『英文理解のための英文法入門』(成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	芝 田 興 太 郎 <small>しば た こうたろう</small>	仏教2年	2

講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

(A) 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3~4篇のESSAY(自由作文)を書き上げる。  
(B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず。ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

教 科 書

テキスト、参考書は使わない予定。

# 英 語 II B

## 〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	禅 2 年	2

### 講義のねらい

世界は実に混沌として、先行きが全く不透明な時代である。日本海を隔てて、北朝鮮がいつどうなるかわからない。我々日本人は国際問題に無関心でいられない。それだけに時事英語の基礎をしっかりと学習する。

### 講義の内容・授業スケジュール

テープを多用しながら読みすすめると同時に、時事問題を解説する。

### 履修上の留意点

必ず予習をしてこること。

### 成績評価の方法

日常の授業態度を評価する（出席と発表点の重視）。定期試験を含めて、三回のテストで総合的に評価する。

### 教 科 書

『新世紀世界展望』（マクミラン）1,800円 ISBN4-89584-425-6

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	おお た ゆき こ 太 田 由 紀 子	禅 2 年	2

### 講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を読むことで読解力を養うと共に彼の生きた19世紀末の英国、20世紀初頭の米国に対する理解を深める。

### 講義の内容・授業スケジュール

読解を進めるかわら進行状況に合わせチャップリン監督・主演の映画を鑑賞する。サイレント映画からトーキー（セリフのついた映画）へと移りゆく作品群であるが、各々の魅力を感じ分けると同時にトーキー鑑賞に際しては聴解力の訓練を行う。

### 履修上の留意点

予習・復習をすること。

### 成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

### 教 科 書

Charles Chaplin 著 *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction)  
UK £9.99 ISBN: 0141011475

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	川崎笑佳 <small>かわ さき えみ か</small>	仏教2年	2

講義のねらい

1年次の読解能力を基礎として、speed readingの上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じてTOEIC、TOEFLその他の教材を利用する。

履修上の留意点

予習を前提として授業を進める。

成績評価の方法

3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、期末試験の結果をもとに総合的に評価する。

教 科 書

『英文ニュース入門 2005/2006』(成美堂) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	田中靖子 <small>た なか やす こ</small>	仏教2年	2

講義のねらい

本授業では、英語で健康と環境に関する分野の基礎的な知識を学びながら、さらにそれを生かして自分の意見を英語で述べる力をつけていくことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って基礎的な文法事項や語法を丁寧に確認しながら、読解力を高めていけるように授業を構成していきます。さらに、発展させてreadingで得た知識と今までの経験をもとにして、自分の考えをまとめて表現できるようなdiscussionやpresentationの機会も設けます。

履修上の留意点

本授業は事前の予習を前提として進めます。

成績評価の方法

この授業では休まずに出席してactivitiesに参加することが求められます。授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教 科 書

『The Earth and Our Health』(成美堂) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	河内賢隆 <small>かわ うち けん りゅう</small>	仏教2年	2

講義のねらい

新聞や雑誌から抜き出した興味深い、しかも今日的な話題を取り上げた。時事英語に馴染んで欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

授業の始めと終りにテープを聞かせ、耳の訓練を取り入れながら、精読を目指す。文法も重視。

履修上の留意点

必ず予習をし、理解出来なくとも、授業に取り組む姿勢を見せてほしい。

成績評価の方法

平常点の重視。一出席は3分の2以上、発表は三回以上。それに年3回のテストの結果を加える。

教 科 書

『メディア英語で読む現代社会』(金星堂) 1,700円 ISBN4-7647-3804-X C1082

## 〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	すざもとまさとし 杉本正俊	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

ドイツ文法のひとつおりを教える。ドイツ語をもっとくわしく学んだり、ドイツ語を利用したりする際には非常に大切な知識の最小限度であるので、しっかり身に付けて頂きたい。

### 履修上の留意点

授業中に学ぶことは、必ず授業時間内にきちんと理解し、復習に重点を置いた学習をする事。

### 成績評価の方法

前後2回のテスト、授業中の小テストの他、授業中当てられた質問には必ず答える事が重要（その際、まちがった答えをしてもマイナスの評価にはならない）です。積極的に授業に参加しているかどうかが大変なポイントになります。

### 教科書

入谷幸江・金井英一・小林俊明・佐原雅通『ドイツ文法プリーマ! バージョン3』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	みなみ 南 はるつ	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

この授業ではドイツ文化に関する簡単な文章を読むことによって、読解力を身につけると同時にドイツの文化についての知識も習得することを目標とします。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期 1課から6課までの文章を読みます。そのための文法事項は次のとおりです。  
アルファベット・発音、動詞の変化、名詞の性および複数、冠詞の格変化、代名詞、前置詞、形容詞の格変化。  
後期 7課から12課までの文章を読みます。ここで学習する文法事項は動詞の3基本形、過去形、現在完了形、分離・非分離動詞、関係代名詞、受動態、接続法などです。

### 成績評価の方法

出席状況・中間試験・定期試験を総合して評価します。

### 教科書

小塩節著『ご存知ですかドイツ! [情報からドイツへ]』（朝日出版社）本体2,200円+税 ISBN4-255-25261-0 C1084

### 参考書等

随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	しばのひろこ 柴野博子	禅・仏教2年	2

### 講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

### 講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

### 履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

### 成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

### 教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	もと はし う きょう 本 橋 右 京	禅・仏教2年	2

講義のねらい

これまで学んだ初級文法項目を再確認しながら、まとまった文章を読み、より総合的なドイツ語力を涵養します。

講義の内容・授業スケジュール

リライトされたグリム童話を読みます。  
全体で22課。収録されているのは「Katze und Maus in Gesellschaft」、「Der gestiefelte Kater」、「Haensel und Gretel」および「Der Eisenofen」の4話。  
後期に時間的余裕があれば、観光政策としての Maerchenstrasse について学びます。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んで下さい。予習はもちろん、授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Wundt・本橋『グリム童話で学ぶドイツ語』（郁文堂）2000円＋税

参考書等

『グリム童話』には、さまざまな翻訳があります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	いい つか きみ お 飯 塚 公 夫	禅・仏教2年	2

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール  
前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）  
前期後半：練習問題と平行してテキストの読解  
後期：テキストの読解

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Andreas Raab 他著『時事ドイツ語 '04年トピックス』 朝日出版社  
1,900円

## 〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	あし ばら けん 芦 原 眷	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようになります。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

### 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

### 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

### 教科書

安田悦子『ヴィット・メ・ビヤン』（白水社）1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

### 講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

### 履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

### 成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

### 教科書

林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円＋税

### 参考書等

そのつど授業で指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	小玉 齊夫	禪・仏教2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別な事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

滝川 等著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2005年度版)』 (第三書房) 1,700円  
ISBN4-8086-2675-6 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	沼倉 広子	禪・仏教2年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして文章を読む力をつける

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを見ながらフランス各地の風土や歴史を通してフランスの文化を知る

履修上の留意点

文法の勉強もするので、休まない事が肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教科書

藤田裕二著『彼女は食いしん坊 2 —フランス美味探訪の旅—』  
朝日出版社 2,500円  
ISBN-255-35166-X C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	菅谷 暁	禪・仏教2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『セレクション・時事フランス語』(朝日出版社) 1,800円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

# 中 国 語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

## 中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまいうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもった優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単一位
中国語 I A	布施直子	禅・仏教1年	2
中国語 I B	徳間佳信		

講義のねらい

中国語をはじめて学ぶ学生が、中国語の発音のしかたと表記（ピンイン）、そして文法を学びつつ、中国語日常会話を音読し、聞き、書き、言えるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が一冊の教科書を用い、一人は文法的な説明を、もう一人は学習内容についてのドリルを担当する。

履修上の留意点

学生諸君には、教科書を必ず用意すること、できるだけ欠席をしないこと、真面目に授業に取りくんでくれることを望む。

成績評価の方法

適宜行なうテスト、出席状況によって成績評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	禅・仏教1年	2
中国語 I B	曹泰和		

講義のねらい

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

福地 (A)、曹 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の中間考査・期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	禅・仏教1年	2
中国語 I B	塩旗伸一郎		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。  
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ず中国語 I A・I B（火曜第4時限、工藤先生 土曜第1時限、塩旗）とセットで履修すること。  
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。  
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。  
缺席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	上原 かおり	禅・仏教1年	2
中国語 I B	下出 宣子		

講義のねらい

中国式ローマ字表記（ピンイン）の発音の練習から始め、簡単な対話文を通して基本的な表現方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

使用する教科書は簡単な対話文を通して中国語の基礎を習得するよう構成されています。各課の基本会話を口頭で繰り返し練習した後、会話文に含まれる文法事項を確認したうえで練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価します。

教科書

陳淑梅、蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

その他

I B（下出先生）と関係

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	本間 由香利	禅・仏教1年	2
中国語 I B	佐藤 普美子		

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を I A で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を I B で行う。

履修上の留意点

予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価は A、B 担当教官がそれぞれ行います。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,600円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	かま や おさむ 釜屋 修	禅・仏教1年	2
中国語 I B			

講義のねらい

入門、初級段階で必要な正確な発音、そのためのピンイン文字の習得、基本文法の学習を目標に、“話す中国語”をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

週二回、一人の教師が一冊のテキストを用いて授業する。5月までの発音基礎習得の段階は絶対に欠席してはいけない。

履修上の留意点

毎回出席し、大声を出し、恥をかきつつ楽しく学んでほしい。連続3回欠席した場合は学習権の放棄とみなす。

成績評価の方法

小テスト、宿題、学習態度、年二回の期末テスト等で総合的に評価。

教科書

相原茂ほか『学ビテ時ニ之ヲ習フ』（好文出版）2,400円

参考書等

開講後に紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	お がわ たかし 小川 隆	禅・仏教1年	2
中国語 I B			

講義の内容・授業スケジュール

I AとI Bとで特に内容を分けず、週2回の授業で、ともかくどンドン頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法

教科書は全20課（うち発音4課）で、2課に1度の割合でテストを行い、解答はすべてピンイン（ローマ字・声調記号）で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

『中国語の並木道』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	かま や おさむ 釜屋 修	禅・仏教2年	2

講義のねらい

I AB等で学んだ初級の内容を改めて確認し定着させることをめざす。テキストに初級テキストを用いたのはそのためである。このクラスでは口頭練習に力をいれる。

講義の内容・授業スケジュール

全員参加、全員出演を基本とする。

履修上の留意点

出席し、積極的に発声し、中国語の文法現象に興味と探求心をもち、教師を質問で追いつめること。

成績評価の方法

学習態度とテストにより判断。

教科書

相原茂・陳淑梅ほか『恋する莎莎』（朝日出版社）2,625円 CD付。

参考書等

開講後に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	佐藤 普美子	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。

履修上の留意点

ともかく「出席する」ことと、声に出して課文を復習することが大切です。

成績評価の方法

前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。

教科書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李 雲	禅・仏教2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	松本 丁俊	禅・仏教2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらに出席状況も加味して、総合的に採点する。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中国語の音声に慣れることが目標です。そのためには、大きな声で練習する必要があります。また、限られた回数で憶えてしまえるよう集中力が要求されます。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、授業態度及び試験で判断します。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	平石 淑子 <small>ひら いし よしこ</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の正しい発音の習得に力を入れ、あわせて中国語の表現方法（語順）を学ぶ。一週間に一課進むことを目標とし、随時小テストなどを実施する。

履修上の留意点

（1）四分の三以上の出席を求める。（2）必ず予習をしてくること。（3）指定された宿題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）、及び期末試験による。

教科書

塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	弘兼 加奈子 <small>ひろ かね かなこ</small>	禅・仏教2年	2

講義の内容・授業スケジュール

空欄のある本文とドリル等から構成されているテキストを使用する。授業前にはCDを聞く等、必ず予習してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

相原茂・玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,415円



## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	ナバロ, ホワン J.	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

### 履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

### 成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

### 教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	おぎのまさし 荻野雅司	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

### 成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くて悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

### 教科書

橋本定久他著『スペイン語の広場』(大学書林)

### 参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	おお いわ いさお 大 岩 功	禪・仏教2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教 科 書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
教科書は教場で販売します。  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	ふく もと くみこ 福 本 久美子	禪・仏教2年	2

外国語

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また訳読を通して現代スペインの社会や文化、政治、経済、教育などの基礎的理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

西川喬共著『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	おお いわ いさお 大 岩 功	禪・仏教2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

# ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学ばば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	佐野朝子	禅・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	廣田英靖	禅・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	杉山秀子	禪・仏教2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

楽しいロシア語読本（杉山秀子他著）（大学書林）、一年次にわたした文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	木村英明	禪・仏教2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

## 《再履修クラス》

### 〔英語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	まつ どう ひろ こ 松 堂 啓 子	禅・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

基礎的な文法事項を確認しながら、表現力を高めていく。

#### 履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

#### 成績評価の方法

出席状況・小テスト・定期試験の結果を総合的に評価する。

#### 教科書

*English for your Future 1* (マクミラン・ランゲージハウス) ISBN4-89585-483-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美	禅・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

日常的な表現を用いて意志伝達できるようにします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストの質疑応答、聞き取り、英作文を含む練習問題を行ないながら日常的な表現を覚え、自分のことを伝えることができるようにします。期末試験の他に前、後期数回の小テストも行ないます。

#### 履修上の留意点

出席と熱心に取り組む姿勢を重視します。追、再試験、またそれに代わるものは実施しませんので遅刻、欠席をしないようにして下さい。

#### 成績評価の方法

前、後期試験、小テスト、発表、出席を総合して評価します。

#### 教科書

『NEW CROSSROADS 学んで楽しい会話作文』(マクミラン・ランゲージハウス)  
2,100円 ISBN4-7773-6026-1

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	あさ がわ ま き 朝 川 真 紀	禅・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

映画のスク립トに焦点をあて、そこで使われている実用的なフレーズを習得し、映画の内容に関してディスカッションを行います。

#### 履修上の留意点

予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

#### 成績評価の方法

平常点、課題、定期試験を総合的に評価します。

#### 教科書

『映画英語ワークショップ―漆塗り英語学習法で伸ばす総合運用能力―』(朝日出版社)  
1,700円 ISBN4-255-15400-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ 美智子	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Effective reading & listening—Learning About Different Cultures— 読解・聴解のための効果的学習ブック』（松柏社）1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 雄	禅・仏教2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

H.G.Wellsの“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点はない。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教科書

H.G.Wells著『A Short History of the World（ウェールズの簡約世界史）』（こびあん書房）教室で販売する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な英語の文章の聞き取りと基本的な英作文ができる訓練をコンピュータを使用して行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

4-7月：聞き取り訓練 CD-Rom の英語会話を聞きながら質問に答える形式で英語を学んでいく。  
9-12月：作文訓練 作文の教科書を用いて、基本的な表現を学んでいく。英作文では実際にクラスの中でコンピュータでタイプしながら表現を学ぶ作業を中心にする。

履修上の留意点

コンピュータIDを必ず事前に習得しておくこと。MSワードを使うのでタイピングに慣れておくこと。

成績評価の方法

平常点による。

教 科 書

教場にて指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	との いけ かず こ 外 池 一 子	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

外  
国  
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	たか やなぎ みみ え 高 柳 文 江	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、自分の思っていることを英語で如何に表現するかを、Writing だけでなく、Speaking 両面から出来るように成ることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

皆さんが度々出くわす様々な状況で自分の思っていることをどのように表現していくか、教科書の会話を通じて学びます。導入は Listening と Speaking により行われますが、あくまでも Writing に重点が置かれます。演習問題を中心に Writing は行われますがその問題に関する文法的な点にも及んで説明がなされます。

履修上の留意点

授業の内容上、予習は必ず必要です。単位を取るためには、2 / 3 以上の出席が課されます。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験） 60%  
平常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み） 40%

教 科 書

“From Writing to Speaking”[「作文から会話へ」] 羽鳥博愛著  
弓プレス ISBN4-8034-1128-X

参 考 書 等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	ひ やま すずむ 椛 山 晋	禪・仏教2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。

教 科 書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	岩原 康夫 <small>いわはら やすお</small>	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

*Cultivating Writing Skills* (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small>	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

基礎英語に立ちかえりながら、速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・タイムを総理解をとして、リーディング・タイムで日本文化論を読み、自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出を課題とします。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

リーディング・テキスト：*The Compact Culture* (英宝社)  
リスニング・サブテキスト：*Listening closer to English* (英宝社)

参考書等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	熊沢 和明 <small>くまざわ かずあき</small>	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけると同時に、会話形式の表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングおよび会話表現を習得するためのペアワークも行います。

履修上の留意点

語学トレーニングの科目なので積極的な参加姿勢を求められます。

成績評価の方法

平常点重視。ただし毎週単語の小テスト。年2回の期末試験を実施します。

教科書

*Why Is That?* (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木村 克彦	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『アクティブ・リーディング』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。  
英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

映画英語教育学会九州支部著『Every Movie Tells a Story：映画が語る現代社会』1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	牧野 正秀	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

再履修クラス故に過去において何らかの理由より、単位を修得できなかった人たちと思う。いかなる理由によりこのクラスに参加するにせよ、真面目に授業に取り組んでほしい。その上で、基本的な英語の再確認、再復習を重ね基礎の習得をねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

語学の授業は講義ではなく演習が中心なので、指名されたら必ず積極的に発表して下さい。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加してください。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。

成績評価の方法

授業中の発表や予習の度合いといった平常点に、前・後期の試験結果を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

開講時教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原孝哉	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。

教科書

*The Whole Story* (南雲堂フェニックス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	真砂久晃	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2  
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

*A Guide to Effective Reading* (金星堂) 1,900円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	高柳文江	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業では Reading だけでなく Listening にも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験 (前期試験、後期試験) 60%、日常点 (出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等) 40%。

教科書

第1回の授業において発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

平易な英文（手紙形式）を読んで、基本的な読解力を身につけた上で、同時に会話表現を開き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

訳読だけでなく、リスニング、ペアワークなどを含んだトレーニングの方式となります。

履修上の留意点

毎回の出席と参加を求めます。メールを利用した指導も対応します。

成績評価の方法

総合評価。単語小テスト、年2回の期末試験実施。

教科書

*Why Is That?*（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	こん どう ま ほり 近 藤 真 彫	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

時事問題を扱った英文を読んで、ニュース記事の読解力を上げながら、その内容について意見が述べられるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を用い、単語や表現に注意しながら読解する。その上で、英語での意見の表現法を学び記事内容について話し合う。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教科書

授業で配布するハンドアウトを使用する予定。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	いい めま よし なが 飯 沼 好 永	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

*Reading Landmarks of the world*（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	菅原典子 <small>すが わら のり こ</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

ウィットとユーモアあふれる短編を題材に、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっています。

履修上の留意点

授業は予習をしてください。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、小テスト、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

L. A. Hill、安藤賢一 *Witty Tales—Readings and Exercises—* (成美堂) 1,680円 (税込)  
ISBN4-7919-4032-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	太田美智子 <small>おお た みちこ</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

*Say It In Song* (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎寿一郎 <small>おか ざき としいちろう</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教科書

長谷川潔 編注『ことばのはじめ』(金星堂) 1,400円

その他

月曜日・5時限

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	佐藤 江里子	禅・仏教3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験（50%）と平常点（50%）による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	塚本 利男	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英文を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

1回の授業で1Unit（3～4ページ）を学習します。第一部、英文を書く時に注意すべき重要事項、第二部、パラグラフの書き方、第三部、各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回、授業の総仕上げとして、英語表現力の実践の場になるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名（例えば、高齢化社会、体罰が必要か、死刑制度など）で小論文を書いて提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『基礎からパラグラフ・ライティングへ』（成美堂）1,600円＋税  
ISBN4-7919-5037-2 C1082



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお た ゆきこ 太田由紀子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99  
ISBN : 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	や し ま なお こ 矢島直子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

教科書を使って、英語を聞く力と表現する力をつけるような勉強をします。

履修上の留意点

毎回授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分かるようにしてから、授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	そう ま よし あき 相馬美明	禅・仏教3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

IAの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC、TOEFLのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川島 弘之 <small>かわしまひろゆき</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）1,339円 ISBN4-469-24066-4  
その他DVDの映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）  
『ロックの意味』（草思社）  
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）  
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

DVDの映像を使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	町田 尚子 <small>まちだなおこ</small>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

英語ⅡAの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語での意思疎通を習得します。英文メールの書き方を手はじめとする予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向を、アンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中の小テスト、質問への解答成績を平常点とし、中間・定期試験の成績と同等の扱いとして成績評価点数を出します

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	みうら まり 三浦 眞理	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

英文によって異文化理解、コミュニケーション論等を題材にした英文を読み、国際ビジネスにおける習慣やマナー、エチケット等を身につけ、実践的なビジネス英語を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進め、基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指します。また、実践的なビジネス会話の聞き取りをおこないます。

履修上の留意点

受験は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

*Global Understanding Success in International Business* (成美堂) 1,785円  
ISBN4-7919-4066-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	禪・仏教3・4年	2

外国語

講義のねらい

ひとつのまとまった考えや意見を英文で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目標達成のために、比較的短い英文を、語順に注意しながらある程度の量を学習し、同時に文法事項の整理を行なう。ここで行なう短文の学習量が、パラグラフ・ライティングの質を左右することになる。

履修上の留意点

予習を欠かさない。予習範囲内の小テストも行なう。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト及びテスト等総合的に評価する。

教科書

未定。

参考書等

教室で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	き とう えり こ 佐 藤 江里子	禪・仏教3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。スピード・リーディングはもちろん、リスニングの力を向上させるため、毎回テープを使ったリスニング演習も行う。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	はせがわ こういち 長谷川 公 一	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

平易な英文を正確に読むことによって、読解力の向上を目指します。また、ガンジーの「非暴力」の理念は、開発途上国インドが、宗主国であるイギリスに対し、清廉潔白、正直、真実の表明などの徳目の面で優位に立つというねらいを持った現実主義の側面もあります。つまり、読解力の向上と、国際政治の中でのインドの植民地としての行動についての学生の理解という一石二鳥の効果をねらいました。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書

『ガンジーその不滅の生涯』（英潮社）本体価格590円

その他

月曜日・4時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわて ひろかず 川 手 浩 一	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

現代アメリカの文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

カリフォルニア、テキサス、ニューイングランド等の地域的なものから、日常的な衣食住に至る多様な局面を扱っている。

履修上の留意点

授業は予習しておくこと。

成績評価の方法

日常の学習を重視し、試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	おおた みちこ 太 田 美 智 子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

*Animal Watching* (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	長谷川 公一 <small>はせがわ こういち</small>	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

まず第一に、やさしい英文を正確に読む力、つまり読解力の向上を最重視します。次に、非暴力による抵抗運動の旗印の下に、1950年代のアメリカで黒人に対する差別撤廃運動を率いて、歴史的な大成果をおさめた黒人キリスト教牧師マーチン・ルーサー・キング師の生涯を理解することに力を置きます。キング師はキリスト教の隣人愛、同胞愛の立場から公民権運動をくりひろげ、黒人のみならず、白人の人達にも多大の影響を与えました。

成績評価の方法

出席率+前後期2回のテストで評価します。

教科書

『マーチン・L・キング』（桐原書店）400円

その他

月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	田中 保 <small>たなか たもつ</small>	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

英文の構文を理解し、読解力を培う。また、大意の把握にも心がけ、読む速度を高めていくように学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。

教科書

『数が語る世界』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17218-8

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	落合 和昭 <small>おちあい かずあき</small>	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう（一人でする場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

Longman Pocket Phrasal Dictionary 1,480円 ISBN0582776422  
『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）1,600円  
ISBN4-7919-5026-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川 <sup>かわ</sup> 股 <sup>また</sup> 陽太郎 <sup>ようたろう</sup>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

IBを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意把握の練習をする。随時、視聴覚教材(VHS、DVD、PC等)を使用し、プリント教材は適宜配布する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表と小テスト、および定期試験の成績を総合して評価する。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	町 <sup>まち</sup> 田 <sup>だ</sup> 尚 <sup>なお</sup> 子 <sup>こ</sup>	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

英語ⅡBの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わせるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語で書かれたニュース記事や特集記事を読む予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向をアンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中に担当した要旨等の発表内容、質問への解答をA-D4段階で評価する平常点と中間・定期試験成績を同等の扱いとし、成績評価点数を出します。平常評価の素点換算はAプラス=90以上、A=85、Aマイナス=80、B=79-70、C=69-61、D=60です。通年で5回が発表担当の最低基準です。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほんまとしかず 本間俊一	禪・仏教3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休職中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	やまがなゆたか 山縣裕	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日本人のおかしやすい英語のミスを学んでいく。

講義の内容・  
授業スケジュール

英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

『日常会話に役立つ英語ミニ知識』(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4071-7  
『データベース5500』(桐原書店) 950円 ISBN4-342-01330-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	てしまけいこ 手島敬子	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示

## [ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志 真 斗美恵 し ま と み え	禅・仏教2・3・4年	2

### 講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

### 講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

### 履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。

### 成績評価の方法

平常点（毎回の練習問題の提出・小テスト）と前・後期試験で総合的に評価します。

### 教科書

清水薫著『ドイツ文法・100語の世界』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	井 村 行 子 い む ら ゆ き こ	禅・仏教2・3・4年	2

### 講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

### 講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

### 履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

### 成績評価の方法

学期末に試験を行いますが、場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

### 教科書

教科書販売時まで決定して、書店の方に連絡しておきます。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	藪 下 紘 一 やぶ した こう いち	禅・仏教2・3・4年	2

### 講義のねらい

昨年はドイツ語と戦って負けましたね。今年こそI Aの単位を取りましょう。

### 講義の内容・授業スケジュール

教科書はまだ未定ですが昨年とは別でしょうから気分を変えてもう一度挑戦しましょう。文法むずかしいでしょうが、外国人が日本語を習うのもどんなに苦しいかを思ってください。彼らも苦労していますよ。

### 履修上の留意点

是非休まず出席して下さい。1回でも休むとわからなくなります。

### 成績評価の方法

成績は、前期・後期の試験と平常点で決めます。

### 教科書

教科書は4月の1講目に決めます。



科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もと 橋 う きょう 本 橋 右 京	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で以って、理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いい 塚 公 夫 飯 塚 公 夫	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席ただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

荻野蔵平他著『ビデオ教材 ドイツこころのふるさと ビデオで学ぶメルヘンと伝説』（朝日出版社）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	ほり うち み え 堀 内 美 江	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な会話やヒアリングを取りいれながら、文法や語彙の学習もバランスよく取り入れた学習を行います。  
またドイツ語を通して、日本とは違う環境や文化、歴史や人々の生き方なども経験していただきたいと願っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

皆さんの理解度にあわせて、ゆっくりと確実に学んでいきます。会話を通じた発話練習と文法習得、そしてヒアリングが各課の学習項目となります。機会を見て、視聴覚資料も導入する予定です。

履修上の留意点

語学は特に最初はやはり、出席すればするほど理解度もアップします。とにかく出席しましょう。  
辞書とノートと教科書は必ず持ってくる。わからないことがあったら、どうぞすぐに質問してください。

成績評価の方法

出席点と平常点、前後期の試験および適宜導入する小テストを加えた総合評価を行います。

教 科 書

秋田静男他『ドイツ語インフォメーション』（朝日出版社）

参 考 書 等

授業中に機会をみてお伝えします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	も と は し う きょう 本 橋 右 京	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確かなものとしします。

履修上の留意点

テキストには丁寧な練習問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

小黒・日野・佐藤 『ともかく話そうドイツ語』（郁文堂）2,500円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	井 村 行 子 いむらゆきこ	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいきます。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教 科 書

『ドイツ語70』（三修社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A〔再クラス〕	森 公 成 もりこうせい	禪・仏教3・4年	2
ド イ ツ 語 II B〔再クラス〕			

講義のねらい

ドイツ語 I A と I B を基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教 科 書

Susanne Schermann、篠原敏昭、岡田恒雄『CD付きドイツ語万華鏡』（三修社）  
ISBN4-384-13079-1 C1084

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A〔再クラス〕	本 橋 右 京 もと はし う きょう	禪・仏教3・4年	2
ド イ ツ 語 II B〔再クラス〕			

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・  
授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んでゆきます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

山本淳『新・じゃあ、またあした!』（同学社）2,500円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	おがもとときこ 岡本時子	禅・仏教3・4年	2
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。

履修上の留意点

この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。

成績評価の方法

成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。

教 科 書

開講時に指定します。

参 考 書 等

必要に応じて授業中に説明します。

## 〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教2・3・4年	2

### 講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

### 講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

### 履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

### 成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

### 教科書

『新フランス文法要説』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	あし はら りん 眷 芹 原 眷	禅・仏教2・3・4年	2

### 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようになります。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

### 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

### 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

### 教科書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	こ だま なり お 夫 小 玉 齊 夫	禅・仏教2・3・4年	2

### 講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

### 講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

### 履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

### 成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

### 教科書

佐藤 久美子 等著 『アベセデ フランセ』  
（白水社）2,500円  
ISBN4-560-06054-1 C3085

### 参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	菅原 猛	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・ 授業スケジュール	1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
教科書	久富健『基礎入門、タブロー・グラメール』（朝日出版社）2,200円 ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	谷川 かおる	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	太田『フランス語文法の〈基礎〉、新訂版』（駿河台出版社）2,500円、CD付
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	菅谷 暁	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま 関 アン	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・  
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)  
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い 藤 なお	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎を学習しながら、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・  
授業スケジュール

必要な文法事項を解説し、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、簡単な会話練習を盛り込んだ問題にも取り組みます。また、テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国か、日本とどう異なるかについて知ってもらいます。

履修上の留意点

多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難さも解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川誠司『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 明	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためにも、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教 科 書

沼田五十六他『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 II A〔再クラス〕 フランス語 II B〔再クラス〕	はた なか ち あき 畑 中 千 晶	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教 科 書

リリアヌ・ラタンジオ、村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへ』（CD付）（駿河台出版社）2004年 2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 II A〔再クラス〕 フランス語 II B〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける

講義の内容・  
授業スケジュール

文化、地理などを題材にフランスの現在を知る

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教 科 書

野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円  
ISBN4-8086-2099-5 C1085



科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しづつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的コント』（第三書房）1,100円

## [中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	こう りん ひで もと 江 林 英 基	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

### 講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

### 成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

### 教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	あき もと たすく 秋 元 翼	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

### 講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。特にピンインの習得に重点を置く。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

### 履修上の留意点

ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

### 成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

### 教科書

守屋宏則・柴森『聞く・話す フォーアップ初級中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	しお ばた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	禅・仏教2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

まずは中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解しよう。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の出題を含め、評価の半分以上を音声的要素が占める。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

4年生の就職活動等で已むを得ず缺席する場合は、必ず事前に、もしかなわぬ場合は直後に申告し、相談すること。後になって言ってくることも受けつけない。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。

「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

缺席は年間3回を超えると10点づつ減点。遅刻2回で缺席1回に換算する。ただし4年生の就職活動等による缺席のうち真に已むを得ない理由で、且つ事前に相談のあった場合は、考慮される。

教科書

戸沼・石田・ほか『縁日はとてもにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	さ とう ふみこ 佐 藤 普美子	禅・仏教2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子ほか『縁日はとてもにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	ね ざし まさこ 根 岸 政 子	禅・仏教2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

関根謙『〔改訂版〕基礎固め中国語—4つのステージ』（同学社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	張 宏 波 <small>ちやう こう は</small>	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

体系的に初級中国語を学ぶ。発音・声調、簡体字、基本構文・会話をしっかりと身につけ、確実な基礎づくりをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って、基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。  
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。  
 ・新出単語は授業前に予習しておく。  
 ・発音を磨きながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」ていく。

履修上の留意点

授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返し練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属CDを用いて予習・復習に活用する必要がある。  
 なお、出席率が四分の三に満たないようでは、初級といえども中国語を身につけることは不可能なため、不合格とする。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価します。

教科書

尹景春・竹島毅『最新版 中国語はじめての一步』(白水社) 2,310円

参考書等

推奨辞書は教場で指示する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	曹 泰 和 <small>そう たい わ</small>	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

授業を通して、北京のを中心にして中国のさまざまなことを学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション』(朝日出版社) 2,500円

参考書等

開講時に説明する。

その他

辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	戸張嘉勝	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい 中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。
- ③書取や質問に答えるなど、口と耳の活用が多く取り入れる。講義の内容や文法などは教科書の展開順序に従って行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

関中研（関西大学中国語教材研究会）共著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）本体2,415円＋税

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	三田村圭子	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい 中国語の発音とピンイン・文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、練習問題で文法の基礎を固める。  
後期には、会話のビデオを見ながら学習の進行を確認する。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを5回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

大石智良編『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）2,900円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	小川隆	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直したからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からでいいいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

山下輝彦『你好！中国語』（金星堂）2,310円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	とく ま よし のぶ 徳 間 佳 信	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、発音の仕方を習得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の習得が中心となる。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話ができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。出席と復習を心掛けてほしい。より楽しい授業を目指すため、授業中の積極性を高く評価したい。

成績評価の方法

平常の学習態度（30%：出席・宿題による評価）、小テスト（30%）を重視し、各期末のテスト（40%）とあわせて評価する。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊『はじめて習う中国語』（白水社）2,205円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。希望としては、後半少しスピードアップして授業を進めて行きたい。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、欠席せずに積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語ぶうとんほあ』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	らん めい 蘭 明	禅・仏教2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

(1) 四分の三以上の出席を求める。(2) 必ず予習・復習をすること。(3) 授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

三瀧正道・陳祖蓓『2005年版 時事中国語の教科書』(朝日出版社) 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわ さき ひろし 岩 崎 皇	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	禅・仏教3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李 <sup>り</sup> 雲 <sup>うん</sup>	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。  
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李 <sup>り</sup> 雲 <sup>うん</sup>	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。  
水曜日・5時限

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭 <sup>らん</sup> 明 <sup>めい</sup>	禪・仏教3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円



## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A [再クラス]	おお いわ いさお 大 岩 功	禅・仏教2・3・4年	2
スペイン語 I B [再クラス]			

### 講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

### 履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

### 成績評価の方法

数回のテストと小テストの得点、および日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

### 教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

### 参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

### その他

火曜日・5時限目

## 外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A [再クラス]	おお いわ いさお 大 岩 功	禅・仏教2・3・4年	2
スペイン語 I B [再クラス]			

### 講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

### 履修上の留意点

原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。

### 成績評価の方法

毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。

### 教科書

NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号（NHK 出版）  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

### 参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

### その他

水曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン, J, ナバーロ *Español dinámico*

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	禅・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

福寫教隆著『生き生きスペイン語』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

その他

月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	荻野 恵	禪・仏教2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	禪・仏教2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

毎回の授業内で行う課題による（このため出席は必須である）

教科書

寺崎英樹『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	福本 久美子	禪・仏教3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	禅・仏教3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教 科 書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参 考 書 等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	禅・仏教3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

外  
国  
語

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時、指示します。

## [ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A [再クラス]	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	禅・仏教2・3・4年	2
ロシア語 I B [再クラス]			

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディー・ランゲージを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

### 教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

### 参考書等

『露和辞典』

## 外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A [再クラス]	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	禅・仏教2・3・4年	2
ロシア語 I B [再クラス]			

### 講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

### 履修上の留意点

予習はまずいらなと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

### 成績評価の方法

平常点を重視します。

### 教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	きむら ひであき 木 村 英 明	禪・仏教2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。  
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	あん とく にーな 安 徳 ニーナ	禪・仏教2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	禪・仏教3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教 科 書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）

参 考 書 等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	おほすか 大須賀 史和	禪・仏教3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん 安 徳 ニーナ	禪・仏教3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 林 明人	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	や 矢 じま 島 なお 直 子	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの現代戯曲を読む勉強をします。取りあげる作品は、2004年8月にロンドンで見た評判のよかった芝居です。少々難しいかもしれませんが、基本的にコメディです。文学と歴史の勉強をする高校生が描かれています。中でフランス語が使われていますが、その部分は私がします。

履修上の留意点

毎回全員に当てるつもりですから、辞書を引いて意味が分ってから授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

*Alan Bennett The History Boys* (faber & faber) ISBN0-571-22464-4

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まさ 牧 の てる 野 輝 良	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

内容のある高度な英文を正確に読む訓練をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間3頁読む。指名された受講生はテキストを読み、和訳する事。時々全員に1頁ほどのパラグラフの和訳を紙に書き、担任者の前で読み上げ、評価を受ける作業を課す。

履修上の留意点

指名されたら和訳出来るようによく予習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間毎の口答による和訳と記述試験。

教科書

『真の国際化とは』（成美堂）980円 ISBN4-7919-1236-5



科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	竹村恵都子 <small>たけむら えつこ</small>	権・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	林明人 <small>はやし あきと</small>	権・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。  
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	岸 本 茂 和 きし もと しげ かず	権・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの生涯を読む。  
 青少年たちはリンカーンといえば「かわいそうな黒人奴隷を開放したおひげをはやしたやさしいのっぽのおじさん」というイメージをもっているようだがはたしてそうか。どうもそれだけではないらしいことがつかめればこの授業の目標は達したといえる。

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。  
 「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももっともだが、新聞はインキのにおいがするあいだだけがいのち、それが消えてしまえば捨て去ってかえりものはない。だから新聞はよまない。雑誌はよまない。  
 一年間でこの作品を読み通すためにクラスをいくつかのグループに分け、一部を夏季休暇の課題にしたり通常授業でもそのグループの「自主研究」を重んじてゆく。作品は1987年度「ニューベリー賞」受賞。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教 科 書

Russell Freedman, *Lincoln: A Photobiography*. (Clarion Books, USA)  
 (テキストは担当者が手配し授業第一週時に受講希望者に買ってもらう予定)

そ の 他

受講者は40人を上限とする。

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	丹 治 弘 昌 たん じ ひろ まさ	権・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

英語の週刊誌の最新号を読みながら、語彙、表現法、文化的な背景を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の三項目を中心に行う。  
 (1) 基礎語彙表による単語を記憶する。  
 (2) 英文記事を毎回プリント2枚分を読解し、内容の把握する。  
 (3) パソコンを使って電子スクラップを作成して、データの処理を学習する。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教 科 書

プリント使用。

そ の 他

(注) 受講者多数の場合には人数制限あり。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

BBC News Onlineと日本の英字新聞 Daily Yomiuri のニュースを基にした教科書を使って、英語のニュースをしっかりと読む勉強をします。

履修上の留意点

毎回どんどん当てますから、辞書を引いて意味が分ってから、授業に出席するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

柏原英則『英文ニュース入門 2005/2006年版』（成美堂）1,800円（税別）  
ISBN4-7919-4827-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	落合和昭	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする（一人の場合と、対話形式の場合がある）。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は48名しか入れない教場を使用するので、48名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は全評価の60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは5～10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『イディオム表現のマルチ習得法』（北星堂）1,700円 ISBN4-590-01180-8 C3082
- 2) 映画総合教材『シャイン』（松柏社）2,000円 ISBN4-88198-561-2 C3082
- 3) Longman Pocket Phrasal Verbs Dictionary ISBN0582776422

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おおぼなおき 大庭直樹	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。  
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。  
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。  
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。  
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	にしむらゆうこ 西村祐子	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットとコンピュータを使用して、パワーポイントを使った英語プレゼンテーション素材の作り方やインターネットの情報収集の仕方について学ぶクラス。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：CDRom教材を利用し、パワーポイントをつかって内容を英語で説明していく。  
 9-12月：インターネットを使って与えられた課題に答える。海外の文化や社会について情報を収集し、パワーポイントでまとめる訓練を繰り返しおこなう。

履修上の留意点

教場の都合で受講は50名に限定。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

# 英 会 話 I

## 〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	禅・仏教1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1 st semester will be question and answer, while the 2 nd semester will be role playing activities.

### 講義の内容・ 授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

### 成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.  
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P. N. F.	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real - world English.

講義の内容・  
授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid - year exam (30%), an end - of - year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview - style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

*Communicate: book 1 a* / David Paul / Macmillan Language House, ¥1,230  
ISBN0 - 435 - 26119 - 3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D. M.	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

そ の 他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラッセル, S. J.	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

English ConversationIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

*Fifty-Fifty Book 1* ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)



科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ラージ, R.	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教科書

- I) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7
- II) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

参考書等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レーン, C. M.	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・  
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance  
25% Journal  
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students  
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

# 英 会 話 II

## 〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL<sup>®</sup>のスコアー480点、TOEIC<sup>®</sup>のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ラッセル, S. J.	禅・仏教1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

### 講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

### 履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

### 成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

### 教 科 書

*Within Your Reach : Keys to Conversation* (NAN'UN-DO)  
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	レーン, C. M.	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel more comfortable in communicating in English on a variety of different topics.

講義の内容・  
授業スケジュール

Emphasis will be placed on speaking practice and improvement of listening skills. students will be invited to give their opinion on a number of different issues, as well as general conversational practice. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance  
25% Journal  
25% Semester presentations

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students  
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	禪・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

外国語

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

Adam Pelagius *Sociological Notes*, Themis Research Group, 2003

その他

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月				
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月				

# 英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL<sup>®</sup>のスコアー500点以上、TOEIC<sup>®</sup>のスコアー900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	禅・仏教2・3・4選	2

## 講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.  
Students must have taken English conv.Ⅱ to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!  
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

## 成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.  
LET'S HAVE FUN

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラージ, R.	権・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

外国語

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教科書

- I) *New Headway English Course Pre - Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436670 - 7
- II) *New Headway English Course Pre - Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436672 - 3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レ-ン, C. M.	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week - to - week participation.

- 20%two take home essays (10%each essay)
- 40%two presentations, with discussion sheet (20%each presentation)
- 40%participation within the class (20%each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

参考書等

Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
7月29日 金	○	○	○	○	○	8月29日 月					
8月1日 月	○	○	○	○	○	8月30日 火					
8月2日 火	○	○	○	○	○	8月31日 水					
8月3日 水	○	○	○	○	○	9月1日 木					
8月4日 木	○	○	○	○	○	9月2日 金					
8月5日 金	○	○	○	○	○	9月5日 月					



# 英 語 L L I

## <英語 LL I の授業内容と履修上の留意点>

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	おお たい まさ こ 太 田 雅 子	権・仏教1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成する。

### 履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

### 成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

### 教 科 書

矢作三蔵『*Basics of Natural English*』（開文社）

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	権・仏教1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

### 履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

### 成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

### 教 科 書

*Sounds Right! Sounds Good!*  
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC 受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%  
まとめテスト50%

教科書

『English20』（英進社）  
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

現地で、一人で、病院に行って、薬局で薬をもらって帰って来られるようにするために、病気や医療場面別に、一回で通じる短い、英会話を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

医療英会話の短文を、パソコン使用で、聞き取り、書き取り、反復練習する。小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

尾崎哲夫『病気になっても困らない英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	にしむらゆうこ 西村祐子	禅・仏教1・2・3・4履	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語の会話ビデオを見基本的な会話表現を学習する。ディクテーションによって会話を書き取ってタイプし、ペアワークのなかで覚える。

9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。概略をMSワードでタイプして提出する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	はなわみちこ 埴美智子	禅・仏教1・2・3・4履	2

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりを自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills—生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

# 英 語 L L II

## 〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まま こ 太 田 雅 子	禅・仏教1・2・3・4選	2

### 講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力を向上させる。

### 履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

### 成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

### 教 科 書

小野田栄『BBC World Understanding the News in English 2』（金星堂）

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	禅・仏教2・3・4選	2

### 講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

### 履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。

### 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

### 教 科 書

開講時に指示する。

### そ の 他

英語LLIを受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生が受講対象です。初回にテストを行いますから必ず出席してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむら ゆうこ 西村祐子	禪・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC700-750 程度。LL I にくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・  
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書は Unit 1-5 まで。  
9-12月：LL III への橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。教科書は Unit 6-10 までを学習。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢のコンピュータ ID を取得しておく。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教 科 書

テキスト：*New Headway pre - intermediate* (Oxford Univ. Press.)  
使用ビデオ：*Headway elementary*、および *pre - intermediate*、その他。

参 考 書 等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および (*pre - intermediate*)、その他。

# 英 語 L L Ⅲ

## 〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコアー500点以上、TOEIC®のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	レーン, C. M.	禅・仏教2・3・4選	2

### 講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the 'real world' they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

### 講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

### 履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

### 成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

### 教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	久保 ひさ子	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

英語講演等を、大半、理解でき、さらに、ディスカッションできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、再生、反復練習する。自己紹介、ビデオ、ディベートも含む。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	西村 祐子	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書の Unit 1-5 まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。  
9-12月：教科書の Unit 6-10 まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語外国書講読	柴野博子	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読みます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ドイツ語	野島利彰	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

ドイツの新聞の面白さは辛辣さです。政治風刺漫画を見ても日本とは大違いです。記者一人一人が手厳しい批判性を備えています。この点を味わいながらドイツで現在問題になっていることのみならず、広く EU 諸国で起きている事柄にも触れ、EU 全体のイメージを得たいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙の記事を読みます。予習しやすいよう文法事項、時事用語、難しい語については毎回詳しく説明します。

履修上の留意点

訳読は原則として希望者に任せますが、少人数クラスなので一回の授業で必ず一度は訳読の順番が回って来ることを予定してください。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。

その他

テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ドイツ語	柴野博子	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読みます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、1, 2年生の文法事項を補足しながら、ゆっくり進みます。  
後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。

教科書

教材は、コピーしてお渡します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L I	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れた。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L II	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A (選)	い がらし のぶ こ 五十嵐 信 子	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内的小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B (選)	やぶ した こう いち 藪 下 紘 一	禅・仏教1・2・3・4選	2

外国語

講義のねらい

はじめてドイツ語を習う皆さんに一寸苦しんでもらいます。短い易しい文から始めましょう。

履修上の留意点

できるだけ教室に来てください。出欠をとります。

成績評価の方法

前期・後期の試験で評価します。時々ミニテストもやりますか。

教科書

教科書は4月に決めます。

参考書等

特に参考書はなくていいと思います。辞書については4月の第1回目の講義の時4冊程挙げますので、それを参考にして各自買って下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 II (選)	やぶ した こう いち 藪 下 紘 一	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

1年生で習った事を元にして、辞書を引きながら読めるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は易しい物をゆっくり、後期は2年生らしい文を読みます。

履修上の留意点

出席は是非して下さい。サボるとわからなくなりますから。

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験+平常点で決定します。平常点も入ります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語外国書講読	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

フランス語で書かれた短編小説ややさしい詩を読むこと。

履修上の留意点

与えられた課題をやった上で、必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

平常点での評価を原則としますが、必要があれば年度末に筆記試験を行いません。

教科書

プリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事フランス語	く わ た の り あ き 桑 田 禮 彰	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・  
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2005』（朝日出版社）本体1,900円＋税

参考書等

そのつど授業で指示します。

外  
国  
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級フランス語	小 <sup>こ</sup> 玉 <sup>たま</sup> 齊 <sup>なり</sup> 夫 <sup>お</sup>	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ 2』  
(駿河台出版社) 2,500円  
ISBN4-411-00923-4 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 <sup>みくら</sup> , M.	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (パーペーパー) Presenter Pratiquer Produire』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L II	ラリア・三倉 <sup>みくら</sup> , M.	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)  
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	でぐち まさとし 出口 雅 敏	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	とお やま ひろお 遠 山 博 雄	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。

教科書

佐藤久美子他著『フロレゾン』(白水社) 2,100円 ISBN4-560-06036-3

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	すが わら たけし 菅 原 猛	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

石井洋二郎『新フランス文法要説』(朝日出版社) 2,000円 ISBN4-255-35165-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅱ(選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・  
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

プリント配布

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語外国書講読	さ とう ふみこ 佐 藤 普美子	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小说）を読んでいます。

講義の内容・  
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しお 塩 はた 旗 しんいちろう 伸一郎	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

「速読」篇は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。

併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。

教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。

参考書等

辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。

これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま 釜 や 屋 おさむ 修	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

より正確な発音、基本文法の応用とより深い理解、生きた中国語へのさらなるアプローチを目ざし、会話文・掌篇小説（ショート・ショート）を素材とする。

講義の内容・授業スケジュール

全員参加形式。

履修上の留意点

予習を前提とする。

成績評価の方法

総合的な学力を判定する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中辞典以上の辞書を必要とする。辞書は開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L I	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータ教場のLL機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの音声教材をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

楊達他著『聞こえる中国語初級テキスト』（南雲堂）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L II	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級ていどの会話と聞き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）  
※「スリム版」でなく旧版の方を使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	釜屋 修 <small>かまや おさむ</small>	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

正確な発音を習得し、基本文法のいちばん基礎となるところを重点的に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので欠席なく持続的な学習に心がけてもらうが、授業展開も継続性に留意する。

履修上の留意点

週一回の授業なので、一回の欠席は大きな学習欠落となる。出席に注意せよ。

成績評価の方法

出席状況、各種テストにより総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁『中国語プロムナード』（好文出版）2,400円 CD付

参考書等

開講時に指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

プリント配布。

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭明 <small>らんめい</small>	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社） 2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松本丁俊 <small>まつもとあつとし</small>	禅・仏教2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

中国の故事や民話を題材にし、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学ぶ。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中に、発音のチェックや、作文の練習などを見る。出席点も参考にする。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版） 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語外国書講読	ま しろ ゆう いち 真 下 祐 一	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで様々な分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。

講義の内容・授業スケジュール

今年は日本で暮らすスペイン語圏の人々をテーマにしたテキストを読む予定です。

履修上の留意点

現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関してのコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加と各回の達成度チェックによって評価します。

教科書

初回の授業でテキストと入手方法を伝えます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事スペイン語	ま しろ ゆう いち 真 下 祐 一	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 新聞記事のスペイン語、世界の出来事をスペイン語で読む。  
後期 スペイン語で見た日本

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教科書

随時プリントを配布します。インターネットも活用します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級スペイン語	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	禅・仏教3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	禪・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

Viaje al español  
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	禪・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』  
テキスト及びビデオ教材

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	かめやまこういち 亀山晃一	禪・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (選)	ナバロ, ホワン J.	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 II (選)	おぎの まさし 荻野 雅 司	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』(同学社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語外国書講読	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC 教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	木村英明	禪・仏教3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	禪・仏教3・4選	2

講義のねらい

会話練習。  
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。  
講読した内容について自由会話を行う。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。  
学生の要望も考慮してテキストを選びます。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	安徳ニーナ	禪・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。  
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S,KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 LLⅡ	あん たく 安 徳 ニーナ	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	禅・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
  - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
  - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
  - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
  - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
  - 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

外国語

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I B (選)	木 村 英 明 きむら ひてあき	禪・仏教1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混乱から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 II (選)	クロチコフ, Y.	禪・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝鮮語 I A (選)	白 賢 美 はく へん み	禪・仏教1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。(IA(選)、IB(選)のどちらか一方のみの履修でもよい)

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭の練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座』(初級)(国書刊行会)

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝 鮮 語 Ⅱ (選)	白 賢 美 <small>べく ひよん み</small>	禅・仏教2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座』（中級）（国書刊行会）

そ の 他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。



外国語

## 4. 保 健 体 育 科 目

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義〉	207
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤政之〉	208
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	〈末次美樹〉	209
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木淳平〉	210
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	211
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹田幸夫〉	212
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈館岡儀秋〉	213
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光永吉輝〉	214
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村松誠〉	215
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	216
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈鈴木淳平〉	217
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (トレーニング)	〈秋田浩一〉	217
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (卓球)	〈川村正義・山口良博〉	218
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (バドミントン)	〈牧野茂〉	219
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (ソフトボール)	〈高橋俊介・村松誠〉	220
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (室内球技)	〈鈴木淳平〉	221
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (トレーニング&太極拳)	〈光永吉輝〉	222
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	223
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	224
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	224
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎 (卓球)	〈牧野茂〉	225
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	226
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	227
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	228
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	229
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	229
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用 (バドミントン)	〈鈴木淳平〉	230
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用 (卓球)	〈牧野茂〉	231

生涯スポーツ実習 I～IV 前期・後期／応用 (バスケットボール)	
〈牧野 茂〉	232
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中) 〈江口 淳一〉	233
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中) 〈江口 淳一〉	234
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中) 〈三幣 晴三〉	235
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ) 〈村松 誠 他〉	236
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード) 〈竹田 幸夫 他〉	237
健康・スポーツ論 1 〈佐藤 政之〉	238
健康・スポーツ論 2 〈大石 武士〉	239
健康・スポーツ論 2 〈村松 誠〉	240
健康・スポーツ論 2 〈牧野 茂〉	241

# 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

月曜日・1時限	※鈴木	ソフトボール
	竹田	体操・トランポリン
	高橋	空手道
	館岡	ゴルフ
	光永	トレーニング
	川村	室内球技
	佐藤	ジョギング
	村松	卓球
	末次	ダブルダッチ

※は、科目の主担当者

# 「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
1時限						
2時限	長濱	大石	※	前期・応用	牧野	前期・応用
				卓球		卓球
	後期・基礎			後期・応用		後期・応用
3時限	長濱	大石	鈴木	前期・基礎	牧野	前期・基礎
				簡化太極拳※		卓球
	後期・応用			後期・基礎		後期・基礎
	簡化太極拳※			卓球		卓球
4時限	大石	鈴木	木	前期・基礎	鈴木	前期・応用
				簡化太極拳※		卓球
	後期・応用			後期・基礎		後期・応用
	簡化太極拳※	木	木	卓球	卓球	卓球

保健体育科

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科  
保  
健  
体  
育  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむらまさよし 川村正義	禅・仏教1必	2

#### 講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7 時限目：ゲーム（2次リーグ）  
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：ゲーム（トーナメント）  
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

#### そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	佐藤まさゆきの 政之	禅・仏教1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、  
野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	すえ つぐ み き 末 次 美 樹	禅・仏教1必	2

#### 講義のねらい

ダブルダッチとは、2本の縄を使って跳ぶ縄とび運動である。誰もが手軽にでき、集中力、リズム感、バランス感覚が身に付き、また、動きを自分たちで工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動素材である。ダブルダッチを体得する事により、現在および将来の体力、健康の保持増進を目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ビデオ学習
- 3 時限目：短縄で練習
- 4 時限目：ペアで、リズム・バランス感覚
- 5 時限目：ターナーの練習、偶数と奇数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転、スピード
- 8 時限目：馬跳び、ターナーチェンジ
- 9 時限目：ビデオ学習
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 12時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

#### 履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、シューズ、短縄を用意する。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	鈴 木 淳 平 <small>すず き じゅん べい</small>	禅・仏教1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームであるが、野球ほどの特別な技能の習得なしに比較的簡易に行うことができる。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トスバッティング、その他）ゲーム
- 3 時 限 目：　　〃
- 4 時 限 目：固定チームでのリーグ戦
- 5 時 限 目：　　〃
- 6 時 限 目：　　〃
- 7 時 限 目：　　〃
- 8 時 限 目：　　〃
- 9 時 限 目：　　〃
- 10 時 限 目：　　〃
- 11 時 限 目：　　〃
- 12 時 限 目：　　〃
- 13 時 限 目：　　〃
- 14 時 限 目：　　〃
- 15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与  
 服装：実技のできる服装とする。ユニフォーム着用の必要はない。  
 シューズ：スニーカー、ランニングシューズ等は可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、運動やゲームへの積極性も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	禅・仏教1必	2

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

#### そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだゆきお夫 竹田幸夫	禅・仏教1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たて おか よし あき 舘 岡 儀 秋	禅・仏教1必	2

#### 講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。  
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（バッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（バッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

#### 履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

#### 成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

#### そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	禅・仏教1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないしていると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	禅・仏教1必	2

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	田中 佳孝・長濱 友雄 <small>たなか よしたか ながはま ともお</small>	祥・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃 (ゲーム)
- 6 時限目：〃 (ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃 (ゲーム)
- 13 時限目：〃 (ゲーム)
- 14 時限目：〃 (ゲーム)
- 15 時限目：〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	禪・仏教2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
  - (2) 実施時間：午前 10：00～12：00  
午後 13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集 中 授 業 コ ー ス (卓球)	かわむら まさよし やまくち よしひろ 川村 正義・山口 良博	権・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの野 牧 野 茂	禅・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）  
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク  
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム  
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス  
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク  
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム  
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク  
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム  
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム  
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム  
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

#### 履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
  - (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	禪・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）  
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム  
午後：〃
- 第3日目 午前：〃  
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃  
午後：〃
- 第5日目 午前：〃  
午後：〃

#### 履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

#### そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(室内球技)	すずき しゅん べい 鈴 木 淳 平	禅・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の種目を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

#### 履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

#### 成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）  
（後期）12月21日（水）～25日（日）  
7月17日及び12月21日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合すること。
- (2) 実施時間：10：00～12：00（昼食・休憩） 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館他
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(トレーニング&太極拳)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝	禅・仏教2・3・4年	2

#### 講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクソスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難かしいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- |     |    |                        |
|-----|----|------------------------|
| 1日目 | 午前 | オリエンテーション・体力測定         |
|     | 午後 | オリエンテーション・基本動作・第一組(3式) |
| 2日目 | 午前 | カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定    |
|     | 午後 | 第一組、第二組(3式)            |
| 3日目 | 午前 | トレーニング                 |
|     | 午後 | 第一組、第二組、第三組(2式)        |
| 4日目 | 午前 | トレーニング                 |
|     | 午後 | 第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合 |
| 5日目 | 午前 | 体力測定                   |
|     | 午後 | 総合(1~11式)、テスト          |

#### 履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。  
尚、太極拳は、最終日に演武テストを行う。

#### そ の 他

再クラス、集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月17日(日)~21日(木)  
(後期)12月21日(水)~25日(日)  
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：午前10:00~12:30  
午後13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館地下トレーニング場
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

#### 履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。



科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 雄	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			禅・仏教4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。  
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：／
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保  
健  
体  
育  
目

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すず き じゅん べい 平	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			禅・仏教4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まさの野 牧 野 茂	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (卓 球)		禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
  - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - (2) スマッシュを打つことが出来る。
  - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
  - 2 時 限 目：ラケットの持ち方、サーブ
  - 3 時 限 目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
  - 4 時 限 目：サーブ、フォアハンドドライブ
  - 5 時 限 目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
  - 6 時 限 目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
  - 7 時 限 目：シングルスゲームの練習
  - 8 時 限 目：
  - 9 時 限 目：
  - 10 時 限 目：
  - 11 時 限 目：
  - 12 時 限 目：
  - 13 時 限 目：
  - 14 時 限 目：
  - 15 時 限 目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

#### 履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まさ 牧の野 しげる 茂	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			禅・仏教4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス（1）、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス（2）、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（1）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（2）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	禪・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			禪・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			禪・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			禪・仏教4選	

#### 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷放
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

#### 履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			禅・仏教4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ：                   〃                   〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)		禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (バドミントン)		禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。  
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことができる。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

#### 履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科保健  
目育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)		禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (室内球技)		禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

#### 履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

#### 成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すず ぎ じゅん べい 鈴 木 淳 平	禪・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			禪・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			禪・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			禪・仏教4選	

講義のねらい

生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： }  
                  } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }  
                  } 総合練習・ダブルスゲーム
- 12時間目： }  
                  } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しげる茂	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (卓 球)		禅・仏教4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目：
  - ） 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目：
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目：
  - ） 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目：
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。



科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まさの野 しげる茂	禅・仏教1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			禅・仏教2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			禅・仏教3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			禅・仏教4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (1) ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (2) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (3) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：モーション・オフENSE (1) ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：モーション・オフENSE (2) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 12 時限目：モーション・オフENSE (3) ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム (リーグ戦)
- 13 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 14 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム (リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) (テニス集中)	えぐち じゅん いち 江 口 淳 一	禅・仏教選	1

#### 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自立的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットインング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
- 3日目午後：   〃   〃   (戦術と応用)
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月17日(日)～21日(木)  
7月17日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00  
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。特・4時限(前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	禪・仏教選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1 日目午後：ラリーの応用練習
- 2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3 日目午後：ダブルス (平行陣への移行)
- 4 日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 4 日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 5 日目午前：団体戦形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日 (水)～25日 (日)  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限 (後期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	みぬさ はる み 三 幣 晴 三	禅・仏教選	1

#### 講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2 日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3 日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4 日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5 日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

#### 履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

#### 成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

#### そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限（後期）

科保健  
体育

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むら まつ まこと 村 松 誠 他	禪・仏教選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4 月 9 日 (土) 12:20~12:40 2 研-102 教場  
2 回目 4 月 16 日 (土) 12:20~12:40 2 研-102 教場  
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
2. 事前授業 7 月 22 日 (金) 13:00~16:00 2 研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義

1 日目 9 月 5 日 (月) 実技: 12:50~17:20 打撃練習  
講義: 10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》

※注意: 1 日目は、玉川校舎で実施する。

2 日目 9 月 6 日 (火) 実技: 13:30~16:30 打撃練習  
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》

3 日目 9 月 7 日 (水) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》

4 日目 9 月 8 日 (木) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義: 19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》

5 日目 9 月 9 日 (金) 実技: 9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 1) 実習日程: 9 月 5 日 (月) ~ 9 月 9 日 (金) の 3 泊 5 日 (現地集合解散)
- 2) 場 所: (1) 宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025  
岩手県岩手郡松尾村安比高原  
(2) 練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100  
(3) コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311  
FAX0195-73-5044

3) 定 員: 40 名

4) 集合解散: 現地 (ホテル安比グランド)  
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。

5) 受講料: 39,350 円 (左記金額には、交通費は含まれない)  
証明書自動発行機 (教務部ロビー設置) で受講料を納入後、納入書を保健体育部 (第 2 研究館 9 階資料室) に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間: 5 月 23 日 (月) ~ 6 月 4 日 (土)

6) 服装・用具

- (1) 一般的なゴルフ服装 (セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
- (2) ゴルフシューズ (ソフトスパイクに限る) は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
- (3) グローブは、必ず各自で用意すること。

※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習 (5 日間) によって 2 単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部 (第 2 研究館 9 階資料室) に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけ だ ゆき お 竹 田 幸 夫 他	禪・仏教選	2

#### 講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1 回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2 回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
- 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
  - 1 日目 2月13日(月)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2 日目 2月14日(火)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3 日目 2月15日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4 日目 2月16日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5 日目 2月17日(金)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

#### 履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)~2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名  
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成17年5月23日(月)~6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	佐藤 政之 <small>さとう まさゆき</small>	禅・仏教1選	2

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限日：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康 (食生活と健康)
- 3 ♪： ♪ (食生活と栄養)
- 4 ♪： ♪ (運動不足と成人病)
- 5 ♪： ♪ (平均余命と寿命の伸び)
- 6 ♪： ♪ (健康のための生活習慣)
- 7 ♪： ♪ (喫煙・飲酒)
- 8 ♪： ♪ (ストレス社会と健康障害)
- 9 ♪： ♪ (ストレスと健康測定)
- 10 ♪：現代生活と運動 (健康づくり運動)
- 11 ♪： ♪ (スポーツマンのトレーニング)
- 12 ♪： ♪ (スポーツマンの運動処方)
- 13 ♪： ♪ (スポーツ医学の一般知識)
- 14 ♪： ♪ (スポーツと環境・条件)
- 15 ♪：まとめ

成績評価の方法

「レポート」の提出3回

教 科 書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いたし たけ し 大 石 武 士	禪・仏教選	2

#### 講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

#### 成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

#### 参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カズサ出版) 1,700円
- 2 『最新図解救命救急-応急手当の手引き-』(小学館) 700円

#### その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	むら 松 誠 むら まつ まこと	禅・仏教選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、マスコミに溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかというしっかりした健康観をもつことは、適切な選択をするために大切なことである。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えて行く。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

小テストとその他などを加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 野 茂	禅・仏教選	2

#### 講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11 時限目：日常生活と健康 (2) 〃・〃・〃 (2)
- 12 時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について (1) インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

#### 成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

#### 教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

#### 参考書等

『保健体育概論』(カズサ出版部) 1,700円  
他は、講義のなかで紹介する。

科  
保  
健  
体  
育  
目

# II 專 門 教 育 科 目

科 專  
門 門  
教 教  
育 育  
目 目



## II. 専門教育科目

禅学序	説(熊本英人)	249
仏教学序	説(吉村誠)	249
仏教学序	説(池田魯参)	250
坐禅	I (角田泰隆・岩永正晴・永井政之・晴山俊英)	250
宗典	(晴山俊英)	251
宗典	(岩永正晴)	251
宗典	(石井清純)	252
禅学研究	I (大谷哲夫)	252
禅学研究	II (晴山俊英)	253
禅学研究	III (永井政之)	253
禅学研究	IV (休講)	
仏教研究	I (吉津宜英)	254
仏教研究	II (休講)	
仏教研究	III (吉村誠)	255
仏教研究	IV (休講)	
インド仏教史	(田上太秀)	256
パリー仏教史	(奥平龍二)	257
ベトナム仏教史	(四津谷孝道)	257
中国仏教史	(岡部和雄)	258
朝鮮仏教史	(石井公成)	258
日本仏教史	(高橋秀栄)	259
中国禅宗史	(石井修道)	259
日本禅宗史	(佐藤秀孝)	260
禅籍講読	I (佐藤秀孝)	260
禅籍講読	II (石井清純)	261
禅籍講読	III (岩永正晴)	261
禅籍講読	IV (松田陽志)	262
仏典講読	I (岡部和雄)	262
仏典講読	II (田上太秀)	263
仏典講読	III (池田魯参)	263
仏典講読	IV (伊藤隆壽)	264
宗教史	(長谷部八朗)	264
インド仏教文化史	(金沢篤)	265
中国仏教文化史	(永井政之)	265
日本仏教文化史	(袴谷憲昭)	266
日用経典	(吉津宜英)	267
禅学概論	(石井修道)	268
仏教概論	(池田練太郎)	268
中国古典語初級	(吉村誠)	269
インド哲学史	(金沢篤)	269
中国哲学史	(前川亨)	270
西洋哲学史	(中村友太郎)	271
インド仏教思想史	(松本史朗)	271
中国仏教思想史	(伊藤隆壽)	272
原始仏教	(片山一良)	272
真宗学概論	(渡邊了生)	273

浄土学概論	〈休講〉	
真言学概論	〈休講〉	
蓮教概論	〈庵谷行亨〉	274
新宗教概説	〈長谷部八朗〉	275
神道概説	〈休講〉	
外国語仏書講読	〈四津谷孝道〉	275
外国語禪書講読	〈石井清純〉	276
禅学特講 I	〈中村信幸〉	276
禅学特講 II	〈須山長治〉	277
禅学特講 III	〈休講〉	
禅学特講 IV	〈休講〉	
仏教特講 I	〈岡本一平〉	277
仏教特講 II	〈休講〉	
仏教特講 III	〈林鳴宇〉	278
仏教特講 IV	〈奥野光賢〉	279
仏教伝道概説	〈休講〉	
仏教伝道研究	〈休講〉	
青少年問題研究	〈讚岐真佐子〉	280
青少年指導演習	〈西村寛子〉	281
宗教法概説	〈洗建〉	281
詩道	〈休講〉	
書道	〈寺山葛常〉	282
現代と仏教	〈休講〉	
宗教学概論	〈長谷部八朗〉	282
キリスト教概論	〈挽地茂男〉	283
イスラム教概論	〈菊地達也〉	284
哲学概説	〈飯田亘之〉	285
宗教哲学	〈河谷淳一〉	286
現代哲学概説	〈久保陽一〉	287
仏教民俗学	〈須藤寛人〉	288
宗教教育	〈小山一乘〉	289
心理学概論	〈問島英俊〉	290
パーリ語初級	〈片山一良〉	291
パーリ語上級	〈福田孝雄〉	291
サンスクリット語初級	〈金沢篤篤〉	292
サンスクリット語上級	〈金沢篤篤〉	292
チベット語初級	〈松本史朗〉	293
チベット語上級	〈木村誠司〉	293
中国古典語上級	〈小川隆〉	293
ラテノン語上級	〈上野勝広〉	294
仏教文献学	〈野沢佳美〉	294
中国文学講読	〈休講〉	
禅美術	〈村松哲文〉	295
仏教美術	〈村松哲文〉	295
坐禅 II	〈石井清純・松田陽志〉	296
演習 I	II 〈池田練太郎〉	296
演習 I	II 〈池田魯参〉	297
演習 I	II 〈石井清純〉	297
演習 I	II 〈石井修道〉	298

演	習	I	·	II	〈伊藤隆壽〉	298
演	習	I	·	II	〈岩永正晴〉	299
演	習	I	·	II	〈大谷哲夫〉	299
演	習	I	·	II	〈岡部和一雄〉	300
演	習	I	·	II	〈片山一良〉	300
演	習	I	·	II	〈金沢篤人〉	300
演	習	I	·	II	〈熊本英人〉	301
演	習	I	·	II	〈佐藤秀孝〉	301
演	習	I	·	II	〈田上太秀〉	302
演	習	I	·	II	〈永井政之〉	302
演	習	I	·	II	〈長谷部八朗〉	302
演	習	I	·	II	〈晴山俊英〉	303
演	習	I	·	II	〈松田陽志〉	303
演	習	I	·	II	〈松本史朗〉	304
演	習	I	·	II	〈村松哲文〉	304
演	習	I	·	II	〈吉津宜英〉	305
演	習	I	·	II	〈吉村誠〉	305
演	習	I	·	II	〈四津谷孝道〉	306



專科  
教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学序説	くまもと えいじん 熊本英人	禅1必	4

#### 講義のねらい

禅学科1年次生の必修科目であるこの講座は、これから4年間、禅を中心に仏教を学び、研究し、そして、禅に対する自分の問題意識と研究成果を卒業論文として提出するための第一歩である。

禅学とは、単に禅についての知識や坐禅の実践を身につけるだけのものではない。禅が、仏教の歴史の中で、その一つの要素としてどのように意味付けられていったか。その禅が中国に伝わってどのような教えとして展開したか。そして、それが、中国と日本で、仏教はもとより、文化や社会にどのような影響を与えたか。そういった総合的な理解から、あらためて禅について考えるための序説、すなわち、これから本格的に禅を研究するための前置きであり、基礎作業である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず、大学で禅や仏教について研究するための基礎的な方法を身につけてもらう。そのうえで、禅と、仏教全般についての基礎知識を概説する。さらには、禅を研究していく上での課題がどこにあるかを自ら探し出すための問題提起をしたい。

#### 履修上の留意点

適宜、小レポートを課す。

#### 成績評価の方法

年度末の筆記試験とレポートを合わせて評価する。

#### 教科書

テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。

#### 参考書等

水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,680円  
石川力山編著『禅宗小事典』（法蔵館）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教学序説	よしむら まこと 吉村誠	仏教1必	4

#### 講義のねらい

仏典の講読を通じて、仏教に関する基礎知識を概説します。  
仏典は宗教や哲学の書であるばかりでなく、文学や美術、民俗や芸能などの源泉として、仏教を受容した地域の文化に多大な影響を与えています。仏典に説かれる思想について理解を深めるとともに、そこに広がる豊かなイメージに触れてください。

主に取り上げる経典は、原始経典、般若経典、浄土経典、法華経、華嚴経、如来蔵経典、唯識経典、密教経典です。講義はインド仏教の歴史的展開に沿って進めますが、中国や日本における仏教の受容についても随時言及するつもりです。

#### 科専門教育

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ブッダの生涯 (2) ブッダの観たもの (3) ブッダ最初の説法 (4) 仏教の実践教義 (5) 業と輪廻 (6) 真理の言葉 (7) ブッダ最後の旅 (8) ブッダ観の展開 (9) インドとギリシアの対話 (10) 大乘仏教の興起 (11) 無我から空へ (12) 空をめぐる対話 (13) お盆の話  
(後期) (1) お彼岸の話 (2) 阿弥陀仏の信仰 (3) 浄土への憧憬 (4) 一つの乗り物 (5) 永遠のブッダ (6) 菩薩とは誰か (7) 法界と衆生心 (8) 仏性とは何か (9) 如来蔵の譬え (10) 心が世界を作る (11) 大乘仏教の総合 (12) 密教の出現 (13) 即身成仏の世界

#### 履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席をしないように注意してください。

#### 成績評価の方法

出席状況およびレポート・試験などを総合して評価します。

#### 教科書

プリントを使用します。

#### 参考書等

授業中に随時紹介します。仏教辞典を購入する場合は『岩波仏教辞典』を推奨します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教学序説	池田魯参	仏教1必	4

講義のねらい

仏教を学ぶための基礎知識や基礎課題を修得すること。主要な課題についてどのような人たちがどのようにに関わり、仏教の歴史や文化が形成されたのかを広く学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、釈尊の生涯とその教えの特色を中心に講義を進める。  
後期は、仏教が中国や日本など世界の国々に受容されていった歴史を明らかにし、仏教の諸学派、諸宗派の特色や問題点を考察する。

履修上の留意点

理解できないところがあったら授業中にどんどん質問すること。遠慮は要らない。

成績評価の方法

出席、質問等の授業態度、期末試験等を総合的に評価する。

教科書

水野弘元『釈尊の生涯』（春秋社）1,500円  
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

参考書等

授業の中で課題毎に順次、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅 I	角田泰隆・岩永正晴 永井政之・晴山俊英	禅・仏教2必	4

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのでなければ、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勸坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- (1) 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- (2) 時間厳守：始鈴10分前に全員入堂し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- (3) 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- (4) 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳粛に勤めること。
- (5) 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- (1) 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- (2) 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勸坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	禅2必	4

講義のねらい

道元禅師の教えの特徴は只管打坐にあるとまとめられることが多いが、その教えが記されている宗典を実際に読んでいる学生は少ないのではないだろうか。また、たとえ読んでみたとしても、『正法眼蔵』などは一読して理解できる書ではない。そこには一般的言語感覚という壁が大きく立ちはだかっているからである。言い換えれば仏の眼差しが散りばめられているのである。この講義を通してそうした仏法ないし曹洞宗の立場を理解され、おのおのが人生の糧とし得れば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に釈尊・道元禅師・瑩山禅師両祖の簡単なプロフィールを紹介し、次に宗典と呼ばれる典籍を一通り説明する。その後、『正法眼蔵』を中心に実際に内容を読み込んでいくこととなる。

履修上の留意点

仏教学と禅学、そして宗学の立場の違いを確認すること。

成績評価の方法

必修につき、出席を重視する。よって20分以上の遅刻は認めない。また、課題を出したり小テストを行う。課題・小テストの状況と、出席状況、授業中の態度によって評価する。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	いわ なが しょう せい 岩 永 正 晴	仏教2必	4

講義のねらい

曹洞宗で両祖と仰ぐ道元禅師・瑩山禅師の主著について概説し、その内のひとつの巻ないし章を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

先ず両祖の主著である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説する。その上で、『伝光録』「第五十一祖（道元禅師）章」を講読しつつ両祖の御伝記にも触れ、次に『正法眼蔵』「道得」の講読を行う。

履修上の留意点

安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。

教科書

テキストはコピーしたものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第1・2巻（春秋社刊）、『瑩山禅』第1～4巻（山喜房仏書林刊）。その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗典	いし い きよ すみ 石 井 清 純	仏教2必	4

講義のねらい

曹洞宗の開祖である道元・瑩山両禅師の著作を通じて、禅籍の読解力を養いつつ、日本曹洞宗の教えの基本理念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、日本佛教の伝来の歴史を概観し、曹洞宗の両祖の歴史的位置を確認する。次に日本曹洞宗における両者の位置付けと「宗典」の定義について考える。その後、『正法眼蔵』・『伝光録』の中から、適宜、巻・章を選択し、両者の特徴を意識しながら読み進める。

履修上の留意点

曹洞宗の開祖である道元・瑩山両禅師の著作を通じて、禅籍の読解力を養いつつ、日本曹洞宗の宗風の基礎を学ぶ。

成績評価の方法

講義中に、適宜課題を課す。また前期終了時と年度末の2回のペーパーテストを行い、それらを統合して評価を行う。

教科書

プリント配布。

参考書等

- (1) 『正法眼蔵』 河村孝道校註『道元禅師全集』巻1・2 (春秋社)  
水野弥穂子校註『正法眼蔵』全4冊 (岩波文庫)
- (2) 『伝光録』 東隆眞訳註『現代語訳 伝光録』(大蔵出版)  
孤峰智榮校註『伝光録』(鴻盟社)

その他

『正法眼蔵』・『伝光録』については数多く出版されているので、それぞれ一揃いずつ用意しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究 I	おお なに てつ お 大 谷 哲 夫	禅2・3選必 仏教2・3選	4

講義のねらい

この科目は、禅の宗旨についての講義を行う。禅者の仏法参学は、自分自らの信仰に基づく教義を論理的に言葉を駆使することによって体系化し論書を構成した教理学者とは異なり、師の随処での説法また修行者の機根に応じての自在な説示に導かれるところが大きい。本講義では、特に、そうした禅者のさとの因縁を達意的にまとめられている道元禅師の『永平広録』の第9巻所収の「頌古」を中心に、江戸時代の註釈書をもとりあげ、曹洞禅の宗旨について講じていく。

講義の内容・授業スケジュール

道元禅師の「頌古」の解題から、幾つかの頌古を取り上げ、その主題・内容・各注釈書の示す解釈を解説する。

履修上の留意点

講義されることを必ず予習しておくこと。

成績評価の方法

出席点、学年末試験、レポート。

教科書

所収本をコピーし配布する。

参考書等

訓註『永平広録』上・下2巻 (大蔵出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅱ	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	禅2・3選必	4
		仏教2・3選	

講義のねらい

ある教団の宗教生活の実践を考えると、その教団の約束事を確認し、次いでその約束事が存在する意義を探るのが正攻法であろう。そこで道元禪師ないし曹洞宗で用いられる清規と戒律をみることとなるが、この講義を通して、表面的と思われる威儀作法が、実は根底で宗学と密接に関わっていることを理解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

道元禪師の撰と思しき清規・戒律文献のポイントを追いかけながら、過去や他宗派、および現状との比較を少しく眺めていく。

履修上の留意点

何故そうするのか、という点を考えられたい。

成績評価の方法

受講者が多い場合は期末試験に出席の状況を加味した評価を、少人数の場合はレポートの提出による評価を考えている。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅲ	なが い まさ し 永 井 政 之	禅2・3選必	4
		仏教2・3選	

講義のねらい

この授業では、主として中国禅宗教団の変遷について、残された資料を利用しつつ考えます。達磨によって伝えられたという禅宗ですが、その歴史は中国的思考を背景に、さまざまに変化します。社会的影響も少なくありません。禅僧だからといって社会と無縁で生きたわけでもありませんし、まして寺院に在住するとなればなおさらです。

中国には現代的な意味での「教団」はありませんでしたが、それなりのグループはありましたし、彼らが激動する時代の中で政治や経済・社会とどのような関わりを持ったか、さらに内部では求道の生活を維持するためにどのような努力を払ったかを知ることは、禅思想をより立体的に捉えることに大いに役立つものと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容としては、まず西暦前後の仏教初伝の時代を導入とし、仏教教団が中国社会でどのように受け入れられていったかを考えます。破仏についても論ずる必要があるでしょう。ついで唐、宋、元、明代における禅宗教団の成立や発展、衰退について具体的に考え、最後に日本曹洞宗の展開についても触れたいと思います。

履修上の留意点

授業には流れがありますから、休まず出席してください。

成績評価の方法

期末に試験を行い、出席を加味して評価します。

教科書

教科書はありません。授業中に必要な資料のコピーを配布します。

参考書等

鎌田茂雄『中国仏教史』（岩波書店）  
永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）  
塚本善隆『魏書釈老志』（平凡社）  
佐藤密雄『律蔵』（大蔵出版）  
その他、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅰ	よし づ よし ひて 吉 津 宜 英	仏教2・3選必 禅2・3選	4

#### 講義のねらい

仏教研究Ⅰは仏教の教理思想に焦点を当てて、その再検討を試みる科目です。釈尊の実践の中核に中道があると私は認定します。仏教の歴史的展開の諸形態において中道がどのように生きているかを確認しようとしています。平成15年度は釈尊の教えにおいて中道の原点を探りました。苦楽や断常の二つの極端を離れる中道が中心ですが、自らを大切な拠り所とする自洲や、法を拠り所とする法洲が、水平に対峙する姿勢と中道との関連も重要であると考えました。平成16年度は大乗の検討に移り、般若経や中論そして瑜伽唯識の中道思想の違いも明らかにしました。また、大乗仏典、特に般若経、解深密経、華嚴経、法華経、涅槃経、無量寿経などを取り上げ、それらの教えを説いた仏の存在が釈尊の伝記を意識しつつも、一切衆生の救済を目的とするために、大きな威神力を具えたいわば「大仏」とも呼ぶべき存在になっていることを確認しました。17年度は中国から日本の仏教を検討します。中国仏教では教判（教相判釈）が注目されます。大乗・小乗を一括して仏の一代時教と総括する姿勢には「大法」とでも呼ぶべき総合性を感じます。また、日本の仏教は「大仏」や「大法」の仏教を継承しながらも、一宗・一派・一行を選択する姿勢が見えます。この専修性はセクト的な結束の堅さから「大僧」とも言うべき大教団を形成して、今日に至っています。また、東南アジアの上座部仏教といえども、それなりの「大仏」思想などを形成してきています。私はこれらの仏法僧に対して、それらを法洲と認めながらも、それらに水平に対峙する姿勢に仏教者の中道の実践と、現代社会で活性化化する仏教の理想の姿を摸索したいのですが、果たしてそれが可能かどうかの考察が今年の課題です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1、まず5世紀頃から始まる中国の各種の教判を検討します。天台の『妙法蓮華経玄義』の中で扱われている南北朝の各種教判の批判的考察は良い資料を提供します。インドのように部派か大乗かといういずれかの選択ではなく、大小乗一切の仏教を無矛盾的に位置づけることの意味を考えます。この教判的な試みが「大法」を結果すると考えるわけです。
- 2、また、中国では大乗仏教がメジャーになったことを考慮し、各種の大乗仏典の「大仏思想」がどのように把握されているかを検討します。
- 3、禅宗が「教外別伝」と言い、大仏や大法に対峙する姿勢を見せることを中道の視点から検討します。しかし、ついには禅宗も教宗とは違った形式において、大仏や大法を形成するにいたる経緯を考えます。
- 4、日本仏教では奈良東大寺の大仏建立に際して、私は中国の華嚴の法蔵と、新羅の元暁の教学が融合され、「元暁・法蔵融合形態」のアイデアが生まれ、それが日本仏教の宗派性を貫いていると考えます。
- 5、これは一宗・一派・一行の選択が全仏教を表徴するという、内在と超越を兼ね具えた「全一のアイデア」であり、大教団である「大僧」の根拠ともなりうるものであると考えます。
- 6、最澄・空海・法然・道元・親鸞・日蓮などの代表的な著作を取り上げることによって、日本仏教の中道性の全面的な検討を行います。
- 7、現代の自己の状況である「自洲」と、伝統的仏教である「法洲」を徹底して対峙させて考察することを基本的姿勢とします。

#### 履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を筆記すると共に御自身の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

#### 成績評価の方法

毎回出席を取り、年間2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、それらの結果を総合的に勘案し、成績評価を行います。

#### 教科書

特に使用しないが、できるだけ参考資料としてのプリントを配布します。

#### 参考書等

講義の際、随時参考図書などを紹介します。

#### その他

私の講義の途中でもどしどし質問して下さい。しかし、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場してもらいますので、あらかじめご承知おき下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅲ	よしむら まこと 吉村 誠	仏教2・3選必 禅2・3選	4

#### 講義のねらい

この講義では、唯識思想とその歴史的展開について概説します。唯識思想とはあらゆる存在はただ心のあらわれであるとして、自己の心のありかたを転換しようとするものです。唯識思想は4・5世紀頃にインドで大成しましたが、6・7世紀には中国に伝えられて独自の発展をとげ、東アジアでは仏教の基礎学として学ばれてきました。

前期は、インド瑜伽行派の唯識思想について、アーラヤ識説や三性三無性説を中心に解説します。後期は、中国における唯識思想の展開について、如来蔵思想との交渉に注意して検証してゆきます。唯識思想や如来蔵思想に関心がある者、思想史の研究方法を学びたい者の受講を期待しています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 唯識とは何か (2) 唯識思想を説く経典・論書 (3) 瑜伽行派と『解深密経』 (4) 弥勒と『瑜伽師地論』 (5) 無著と『摂大乘論』 (6) 世親と『唯識三十頌』 (7・8) アーラヤ識縁起 (9・10) 三性・三無性 (11) 転依 (12) 真如 (13) まとめ

(後期) (1) 如来蔵とは何か (2) 如来蔵思想を説く経典・論書 (3) 『涅槃経』と悉有仏性 (4) 『大乘起信論』と如来蔵縁起 (5～7) 中国唯識の展開(地論学派・撰論学派・唯識学派) (8) 玄奘と『成唯識論』 (9) 一乗と三乗 (10) 五姓各別 (11・12) 日本唯識の展開(法相宗) (13) まとめ

#### 履修上の留意点

予習は特に必要ありません。参考文献は随時紹介しますので、講義を聴いて興味を抱いたことを本で調べてまとめるなど、自主的に学習するよう心がけてください。また、出席状況と授業態度を重視しますので、毎回出席する覚悟で履修してください。

#### 成績評価の方法

出席状況とレポート・試験などを総合して評価します。

#### 教科書

横山絃一『唯識思想入門』(第三文明社) 1976年

#### 参考書等

高崎直道『唯識入門』(春秋社) 1992年 その他、授業中に随時紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教史	田 <sup>た</sup> 上 <sup>がみ</sup> 太 <sup>たい</sup> 秀 <sup>しゅう</sup>	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インド仏教史はたんに仏教の歴史の講義に止まらず、インド哲学思想やインド文化史の中に位置づけられた仏教の様相を時代を追って講義しようと考えている。

たんに歴史の叙述だけでなく、それぞれの事象を残された彫刻や絵画などで紹介したり、植物や動物の関わりにも触れて説明をしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年の講義に準じて本年の講義は進めるが、多くはプリントを配布し、それを資料にして講義する。

講義内容・目次

- 第1章 ゴータマ・ブッダ以前のインド
- 第2章 ゴータマ・ブッダの生きた時代の社会環境
- 第3章 ゴータマ・ブッダの生涯  
ブッダの系譜、ブッダの誕生、ブッダの少年時代、出家の動機、修行生活、菩提樹下の開悟、45年間の伝道活動、死への旅
- 第4章 ブッダの根本思想 四諦八正道
- 第5章 仏教の分類  
地域的区分、教理展開の時代的区分、修行の価値的区分
- 第6章 アショーカ王と仏教
- 第7章 教団分裂と部派の仏教
- 第8章 経典の成立
- 第9章 大乘仏教の起源
- 第10章 大乘仏教の思想の流れと特色
- 第11章 主な仏教文献の類型と思想

成績評価の方法

出席時数が授業時数の過半数を超えていない場合は出席不良と見做し、テストの点数がよほどの高得点でないと、不可となる。

皆勤の者には素点にプラス点を付けることがある。

成績評価の基本は期末テストの点数にある。

教科書

テキストはコピーを配布する。

参考書等

佐々木教悟ほか著『仏教史概説（インド篇）』（平楽寺書店）750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
パリー仏教史	おく だいら りゅう じ 奥平龍二	禅・仏教2・3選必	4

#### 講義のねらい

本授業は、紀元前3世紀にインドからスリランカに伝えられ、そこで大成したパリー語を三蔵聖典用語とする「南方上座部仏教」が11～14世紀に大陸東南アジア諸民族(モン、ミャンマー、タイ、カンボジア及びラオスなど)に伝えられて以来の歴史を辿ること、その仏教の特徴を明らかにすること、及び、今日もなお、大多数の人々の篤い信仰を集めている要因を探ること等を歴史・地域研究の立場から検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

〈前半〉序論：(1) 東南アジア地域概況、(2・3) 同地域の歴史・文化的枠組及び文献紹介、(4・5・6) 上座部仏教のスリランカ布教とスリランカ仏教史概観、(7) 上座部仏教の東南アジア伝来とその特徴、(8～10) ミャンマー仏教史、(10～12) タイ・ラオス仏教史、(13・14) カンボジア仏教史、(15) その他の地域(ベトナム・インドネシア・シンガポール)の仏教史概観。  
 〈後半〉(16) 東南アジア大陸部における仏教の受容と変容－総説、(17～22) ミャンマ仏教の事例(修行形態、出家者と在家者、女性と仏教修行、仏塔信仰、民間信仰、宗教観等、)、(23) 東南アジア大陸部仏教の比較的特徴、(24・25) 東南アジア仏教の最近の動向概観、(26) 総括。

#### 成績評価の方法

年2回のレポートに受講姿勢を加味し総合的に評価する。

#### 教科書

教科書は使用せず、「講義要旨集」(開講時配布)及び適宜資料を配布する。授業は講義形式ではあるが、ビデオ等の活用や質疑応答も可能な範囲で行う。

#### 参考書等

石井米雄『タイ仏教入門』(めこん)  
 石井米雄編『講座：仏教の受容と変容』  
 石井米雄監修『ブッダ：大いなる旅路2』(NHK出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット仏教史	よつや こう どう 四津谷孝道	禅・仏教2・3選必	4

#### 講義のねらい

チベット仏教は、長い間アジアの一边境地の特殊な仏教であると理解されてきた。しかし、近年の仏教研究においては、チベット仏教の理解が如何に重要であるかが見直されつつある。授業では、仏教研究においてチベット仏教が有するその重要性を様々な角度から闡明してゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

思想史的な側面と文化史的な側面から、チベット仏教の形成、その変遷、そして現状を説明する。

#### 履修上の留意点

特になし。

#### 成績評価の方法

学年末の試験。

#### 教科書

授業に必要な資料は、授業において随時配付する。

#### 参考書等

山口瑞鳳：『チベット』(全二巻)(東洋叢書3)(東京大学出版会)  
 松本史朗：『チベット仏教哲学』(大蔵出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教史	おがべかずお 岡部和雄	禪・仏教2・3選必	4

講義のねらい	「中国-仏教史」と「中国仏教-史」をうまくバランスさせて講義したい。漢代から宋代までを概観するが、ことしはとくに漢魏晋南北朝をくわしく研究してみたい。
講義の内容・授業スケジュール	年度のはじめに章分けと進度のスケジュールを示す。
履修上の留意点	とくに教科書を指定しない。必要に応じて参考文献や論文を紹介する。中国の歴史全般の知識も講義の前提となるので、わかりやすい中国史の概説書を座右に置いてほしい。
成績評価の方法	年度末の試験によって評価する。
教科書	『禅学研究入門』（大東出版社、1994）所収の「中国仏教と禪」を読んでおくことを勧めたい。
参考書等	『禅学研究入門』（大東出版社、1994）所収の「中国仏教と禪」を読んでおくことを勧めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮仏教史	いしいこうせい 石井公成	禪・仏教2・3選必	4

講義のねらい	仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説し、インド、中国、日本、ベトナムなどの仏教との共通点と違いを考える。
講義の内容・授業スケジュール	仏教伝来の状況と、朝鮮仏教の精華である新羅仏教の教理、禅宗の展開などに重点を置き、資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。日本に残された関連文献を活用する。
履修上の留意点	漢文文献が中心となる。仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくような授業形態とするが、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢が必要となる。
成績評価の方法	平常点と秋のレポートによる。
教科書	参考書は数が少ないため、授業内容に応じて関連論文の一覧を配布する。
参考書等	鎌田茂雄『朝鮮仏教史』（東京大学出版会）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	高橋秀栄	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい	飛鳥時代から室町時代までの信仰の歩みとその特色などを概観する。
講義の内容・授業スケジュール	仏教伝来以後の仏教の歩みを、信仰が育んだ文化や美術とも関連させながら講義していきたい。
履修上の留意点	日頃から仏教語辞典や仏教美術書に親しみ、自らも基礎的な知識の修得につとめてほしい。
成績評価の方法	十枚以上のレポート提出をもって厳正な評価にあてるが、授業時の出席状況も重視する。
教科書	随時プリントを配布する。
参考書等	講義の都度、紹介する。
その他	講義に重点を置くが、時に質疑応答を試みる予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい	この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨梁山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。
講義の内容・授業スケジュール	プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。
履修上の留意点	教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。
成績評価の方法	夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。
教科書	石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円
参考書等	『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円  
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円  
船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円  
その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	佐藤秀孝	禅3・4選必 仏教3・4選	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものである。中国禅宗は南北朝（梁・北魏）に渡来した菩提達磨（達摩とも）に始まり、唐・宋代に開花・隆盛しているが、本講義では唐末五代以前に成立した禅籍をその対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

対象となる禅籍は『二入四行論』『無心論』『絶観論』『六祖壇経』『証道歌』『参同契』『宝鏡三昧』などであり、さらに『祖堂集』からも特徴的な祖師の事跡を学んでいきたい。はじめは講義方式で行い、後半は禅籍の具体的講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の禅語録であるので、読解力を増すよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表の態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）  
『禅語辞典』（思文閣書店）  
筑摩書房『禅の語録』シリーズの『達摩の語録』『初期の禅史Ⅰ』『初期の禅史Ⅱ』『六祖壇経』『頓悟要門』『龐居士語録』『伝心法要・宛陵録』『禅源諸詮集都序』『臨済録』『趙州録』『寒山詩』など。

専科  
教育目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅱ	石井清純 <small>いし い きよ ずみ</small>	禅3・4選必	4
		仏教3・4選	

講義のねらい

中国宋代の禅籍を読み進めることにより、禅語の読解力を身につけ、かつ中国において最も展開し、日本へと伝来した時代の禅の思想的特徴を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

中国黙照禅の大成者である宏智正覺の『宏智録』巻二「宏智頌古」を読む。第一則より順次読み進める。

成績評価の方法

学期中に三回の小テストを行い、それと期末試験を合わせた計四回のペーパーテストの結果を持って評価する。

教科書

プリント配布

参考書等

『禅語録傍訳全書（従容録）』石井修道、四季社  
 『従容録』酒井得元、曹洞宗宗務庁  
 『禅学大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）  
 『全訳漢辞海』（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	岩永正晴 <small>いわ なが しやう せい</small>	禅3・4選必	4
		仏教3・4選	

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、数回のレポート（または小テスト）によって成績評価を行う。出席点は採らない。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅳ	まつ だ よう じ 松 田 陽 志	禅3・4選必	4
		仏教3・4選	

講義のねらい

この講義では、日本禅宗の後期、特に江戸時代曹洞宗の文献を講読する。曹洞宗の宗学研究において江戸時代は、それまでの曹洞宗の宗義・宗旨の内容・意義や教団としての枠組みが見直され、新たな意義付けや体制の構築が要請された時期である。その動きの大きな柱に、いわゆる宗統復古運動といわれる嗣法論とその具体的な嗣法制度改革の展開がある。

この講義では宗統復古運動の中心者である卍山道白の『洞門衣衲集』を取り上げ、その内容を読解することで嗣法制度改革にあたって、何が問題とされその変革にあたってどのような議論がなされたのかを確認する。

その上で、嗣法制度改革以後、その内容と理念を厳しく批判する天桂伝尊や面山瑞方らの所説とその宗学的意義についても、実際の著述文献の読解を通して検討していく。

文献を具体的に読解するために、図書館の利用や辞書や索引の使用に慣れることもこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『対客閑話』における卍山の主張と、実際の宗統復古運動の経過を、関係文献の読解を通じて理解し、後期は卍山に対する『正法眼蔵弁註』における天桂の批判や面山の三物論批判などの諸文献を具体的に読解して検討する。

履修上の留意点

漢文を訓読できるように、あらかじめ辞書などで読みと意味を調べておくこと。また、関係論文や書籍などを図書館などで積極的に調べて理解を深めることを希望する。

成績評価の方法

平常点（出席及び学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の前に当該文献をコピーして配布する。

参考書等

鏡島元隆監修・曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ』3（吉川弘文館）  
その他、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅰ	おか べ かず お 岡 部 和 雄	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

仏典に親しんでもらうため、そのいくつかを精選して講読する。パーリ仏典の和訳（片山一良訳）、漢訳阿含経の訓読文、大乘仏典の梵文和訳・漢訳などから、適切な文例を選ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの数回は「仏典入門」の意味で、初心者向けの仏典解題を試みる。『仏典入門事典』（大蔵経学術用語研究会編、永田文昌堂、2001年）などを座右に備えてほしい。

履修上の留意点

講読だから特別の下調べを要求しないが、実力をつけるためには休まないで出席し、配布のプリント資料は有効に活用してほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験により成績を評価する。

教科書

講読のテキストは随時配布する。

参考書等

片山一良訳『中部マッジマニカーヤ』（全6冊、既刊4冊、大蔵出版刊）  
大蔵経学術用語研究会編『仏典入門事典』（永田文昌堂刊）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅱ	田 <sup>た</sup> 上 <sup>がみ</sup> 太 <sup>たい</sup> 秀 <sup>しゅう</sup>	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

本年度は大学最後の講義となるので、思い切って二つ、あるいは三つの経典を講読したい。前期には『四十二章経』を、後期には『父母恩重経』と『観音経』を講読する。いずれの経典も小部であり、一年間の授業時間で通読可能である。

『四十二章経』は原始仏教経典から仏教の基本教理と修行に関する経文を抽出し、42章にまとめたものである。『父母恩重経』は孝の思想を強調した、中国撰述の経典である。『観音経』はあまりにも有名な経典であるが、その経典の内容は誤解されやすい。真意を解説したい。

履修上の留意点

毎時間欠席を取る。全授業時数の過半数以上の出席が必須。

成績評価の方法

期末テストの素点に出席点（皆勤の者のみ）を加えて、評価を出す。

教科書

プリントを使用。

参考書等

田上太秀『四十二の教訓～四十二章経を語る～』（日新出版）  
田上太秀『母父の恩愛～父母恩重経を語る～』（日新出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅲ	池 <sup>いけ</sup> 田 <sup>だ</sup> 魯 <sup>ろ</sup> 参 <sup>さん</sup>	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

栄西（1141～1215）の『興禅護国論』を読む。書名に明らかなように本書は「禅を興こし国を護る」ことを主張する論文であるが、日本仏教として禅を布教することの歴史的意義を解明した書として著名である。栄西が考えた禅仏教はどのような形のものであったのかを明らかにし、やがて道元の正伝の仏法を生み出す背景を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の読解力をつけることをねらい、本書の原文を最初から読み下し文にして解読していく。慣れたところで、受講生に当番を決めて順次、演習形式で読んでもらう。

履修上の留意点

問題点は先ず自分で調べる。解らなかつたら授業中に質すこと。

成績評価の方法

出席率、受講態度、当番に当たった際の準備や発表態度、期末試験等を総合的に評価する。

教科書

『大正新修大蔵経』80巻所収本コピー

参考書等

授業の中で逐次紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 講 読 IV	伊 藤 隆 壽	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

大乘仏教の基本論書であるナーガールジュナ（龍樹）の『中論』などを、中国・日本の人々はどうに理解したのであろうか。そのことを江戸時代の学僧、鳳潭の『頭書三論玄義』の講読を通して学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

講読に入る前に、序論として三論の解題・研究史について講義し、その後テキストの初めから講読する。

履修上の留意点

漢文文献の講読なので、漢文に慣れる必要がある。そのためには予習復習をすることが望ましい。また欠席せずに毎回ノートを取ることを。

成績評価の方法

年度末の筆記試験により評価する。

教科書

講読のテキストはコピーを準備し配布する。

参考書等

はじめのところで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 史	長谷部 八 朗	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、古代から近世にかけての日本宗教史の概説を行う予定である。仏教を中心に、修験道、神道、キリスト教など広く諸宗教の歴史的展開を視野に入れて進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

開講後に決めたい。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

専  
科  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな ざわ 金 沢 あつし 篤	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、その部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。

この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。六祖慧能のミイラへの信仰から入りましょう。

履修上の留意点

少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。

成績評価の方法

期末に出席を加味して評価します。

教科書

教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。

参考書等

永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）  
その他、適宜指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 文 化 史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てて示せば、次のとおりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
- 1 古代文化の解釈      2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
- 1 呉音漢音と文化      2 美術中の仏教観
- 3 自利利他の問題      4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
- 1 大仏建立の理念      2 学問仏教の実際
- 3 修験道と聖俗観      4 勸進聖と淨穢観
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
- 1 大乘戒壇の設立      2 一乘三乗の論争
- 3 祈禱仏教と密教      4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変様
- 1 浄土信仰の諸相      2 法華信仰の諸相
- 3 禅宗と五山文学      4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
- 1 鉄砲と吉利支丹      2 幕府の宗教政策
- 3 江戸文化と仏教      4 維新と排仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
- 1 戦前より戦後へ      2 仏教と民主主義

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教 科 書

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）

参 考 書 等

渡辺照宏『日本の仏教』（岩波新書）  
家永三郎『日本文化史』第2版（岩波新書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日用経典	よし づ よし ひて 吉 津 宜 英	禅・仏教1・2・3・4履	4

#### 講義のねらい

この科目は主として曹洞宗において、寺院の各種法要や在家の葬式法事などで読誦する経典を取り上げます。実際に時には声を出して読誦の実践もしながら、その内容も解説するものです。曹洞宗は只管打坐を宗旨としていますので、他の宗門のように法華経とか浄土三部経というような中心となる経典があるわけではありません。ただ、中国曹洞宗から日本曹洞宗への歴史的展開があり、現今にいたるまで、さまざまな実践的な必要から、また教化的な要請から、いろいろな経典が読誦されてきていることは事実です。また、明治時代に編纂された修証義のようなものも読誦経典の範疇に入ることになります。これからは御詠歌のようなものも経典に代わる役割を果たすことになるかと思いますが、本講義ではここまでは扱いません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1、まず、一般に法要や法会でよく読誦する経典などを取り上げます。般若心経、法華経寿量品偈、法華経観世音菩薩普門品偈、延命十句観音経、仏遺教経、参同契、宝鏡三昧、舍利礼文、さらに修証義です。以上のように純粹に経典だけではなく、祖師方による法文も含まれます。
- 2、次に、法要や法会で用いる短い唱え文句があります。三帰礼文、四弘誓願文、十仏名、開経偈、焼香偈などです。
- 3、また、禅宗では多くの陀羅尼も読誦されます。大悲心陀羅尼、首楞嚴経の呪（楞嚴呪）、消災妙吉祥陀羅尼、甘露門の陀羅尼などです。
- 4、さらに、経典を読誦した場合に回向文も無視できません。各種の回向文も視野に入れることにします。

#### 履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。この講義の内容を筆記するとともに、皆さんの意見や疑問も書き留め、一冊のノートが将来自分の日用経典事典となるように工夫して下さい。

#### 成績評価の方法

毎回出席を取り、年間2～3回の課題提出を要請します。最後に期末試験を行い、その結果を総合的に勘案して、成績評価を行います。

#### 教科書

特に使用しないが、できるだけ参考資料として、プリントを配布します。

#### 参考書等

講義の際に随時参考図書などを紹介します。

#### その他

質問は大歓迎ですが、私語は厳禁です。ある場合は退場してもらうこともありますので、ご承知おき下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	石井 修道	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方にも折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円  
『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円  
『禅学大辞典』（大修館書店）  
入矢義高等『禅語辞典』（思文閣出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	池田 練太郎	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。  
a, 仏教とは何か b, ブッダの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱 f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

専科  
教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>	禅・仏教1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

中国の神話や伝説を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。話の面白さにつられて読むうちに、自然と漢文が読めるようになる授業です。また、中国の歴史や文化、儒教・仏教・道教の思想など、適宜講義を加えます。  
前期は、六朝時代の志怪小説から数篇を選んで講読します。志怪とは現世や異界の不思議を記録した怪異譚です。後期は、唐代の伝奇小説である「杜子春伝」を講読します。伝奇とは作者が創作意図に基づいて作り上げたフィクションです。  
講読を通じて、中国人の死生観や世界観が、仏教や道教の影響によって次第に変化してゆく過程を知ることになるでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 牽牛と織女 (漢文の読み方) (2) 孝行息子と天女 (3) 太陽を射た男 (助辞・再読文字) (4) 月世界に住む女 (5) 天地開闢 (否定形・比較形)  
(6) 人類創生 (7) 生き返った恋人 (使役形・受身形) (8) 引き裂かれた夫婦  
(9) 死人の名簿 (疑問形・反語形) (10) 中国の幽霊 (11) 仙界を訪ねた男  
(12) もう一人の自分 (13) 男と女の騙しあい  
(後期) (1) 志怪小説から伝奇小説へ (2~5) 趙泰の地獄めぐり (6~7) 観音菩薩の靈験 (8~13) 杜子春伝

#### 履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文の学習歴がなくても心配はいりません。ただし、語学の習得には学習の継続が不可欠です。毎回予習をして、休まず出席すること。

#### 成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価します。

#### 教科書

プリントを使用しますが、漢和辞典は必ず用意してください。『新字源』(角川書店)、『漢語林』(大修館書店)、『漢辞海』(三省堂)を推奨します。その他、文法書の購入も指示します。

#### 参考書等

授業中に随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド哲学史	金沢 篤 <small>かねざわ あつし</small>	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

#### 履修上の留意点

日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

#### 成績評価の方法

数回のレポートと年度末の筆記試験など。

#### 教科書

早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

#### 参考書等

講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえかわとある 前川亨	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教の歴史について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、宋代から始めて、清末・民国に至るまでの思想史を扱う予定である。まず中国思想史の概要を解説したうえで、前期には、唐宋変革の意義、道学運動の展開、朱子学の思想を、後期には陽明学の出現、王学左派の思想、更に清朝考証学の成立と近代思想・中国革命の思想の登場をとり扱うことになるであろう。宋代を風靡した禅宗の思想や、民間信仰の問題にも言及することができる筈である。いずれについても、断代史的ではなく、問題史的に検討を加える所存である。その際、東アジア世界の中の中国思想という観点を忘れないようにしようと思う。

履修上の留意点

当然ながら、中国の思想・哲学・宗教・社会・文化などに関心のある学生の受講のみを歓迎する。継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲をもたない学生の受講は固く禁止する。中国語を履修していなくても構わないが、中国語（古典・現代）の履修も並行することが望ましい。

成績評価の方法

受講者数を見て最初の回に伝達する。原則として、受講者30人以下の場合にはレポート、それ以上の場合には試験を行なう予定である。出席が絶対に必要な要件であることはいうまでもない。レポートにせよ、試験にせよ、出席していない学生には提出／受験の資格がない。

教科書

特になし。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

受講者にできるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者諸君の意見を聞きながら、内容を深めていくようにしたいと思うので受講者諸君の主体的なとりくみに期待する。なお、遅刻、途中退出、授業時間における携帯電話の操作、私語、その他授業に非協力的な行為は断固排除するので、そのつもりで受講すること。教室内では、男女とも、当然、脱帽すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋哲学史	なかむらともたろう 中村友太郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

古代および中世の西洋哲学史を展望しつつ、なるべくその流れのうちに登場する思想家たちの思索の核心に触れることを志向したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代ギリシア哲学の系譜に即して、(1) 古代哲学の始まり、(2) ソクラテス以前の思想家たち、(3) ソフィストとソクラテス、(4) プラトンの哲学、(5) アリストテレスの哲学、(6) ストア学派、(7) 新プラトン主義、を扱う。後期は中世キリスト教の哲学の展開をあとづける。1) キリスト教哲学の起源、2) アウグスティヌスの思想、3) 12世紀の初期スコラ学、4) 13世紀の知的高揚、5) トマス・アクイナスの哲学、6) 14世紀の後期スコラ学、7) 中世の神秘思想と近代への移行。

履修上の留意点

「哲学」philosophia の名に値する知的営みの根本は、自ら問いかけ思考しつづけることにあるので、その歴史的研究に際しても、主体的・積極的な取りくみが不可欠である。

成績評価の方法

成績評価は、毎回のリアクション・ペーパーに反映される授業への積極性や、夏休みの課題をも含む何回かのレポート提出と年度末の定期試験により総合的に行う。それゆえ継続性を自覚した授業参加が不可欠である。

教科書

基本テキストとして、クラウス・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』（平凡社ライブラリー）1,400円を使うが、ほかに資料等のコピーを適宜配布する。

参考書等

参考書は開講時に指示するが、適宜にプリント類を配布する。

その他

討論のチャンスはぜひ持つようにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教思想史	まつもとしろう 松本史朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(a) 仏教成立以前のインド思想(ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(b) 原始仏教の思想(縁起説・四諦説・無我説等)、(c) 部派仏教のアビダルマ哲学、(d) 大乘經典の思想(『般若経』『華嚴経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(e) 中観派の空思想、(f) 如来蔵思想、(g) 瑜伽行派の唯識思想、(h) 仏教論理学の思想。

履修上の留意点

厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

早島鏡正他著『インド思想史』（東京大学出版会）



科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教思想史	伊藤 隆壽	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国仏教思想の形成について、仏教と中国の伝統思想である儒家思想や道家思想との交流の視点から講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 仏教伝来以前の中国思想
2. 仏教の基本思想
3. 中国での仏教理解のあり方
4. 中国仏教思想の諸相

履修上の留意点

仏教のみならず中国伝統思想についても関心を持ち、自主的に参加し学習してほしい。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教科書

コピー資料を配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原始仏教	片山 一良	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
真宗学概論	わたなべのりお 渡邊了生	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

自らを「愚禿」と呼び「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」と信知する親鸞（1173～1262）。当講義では、その生涯にもふれながら、親鸞浄土教の思想的特色をおさえ、「浄土真宗は大乘のなかの至極なり」と語る彼の「他力念仏道」（「生死出づべき道）を見つめていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①親鸞教学の成立背景にある大乘仏教・浄土教思想の概要
- ②親鸞の生涯
- ③親鸞思想の特徴（親鸞の弥陀身土論・他力廻向義・信心の現生正定聚説、等）  
上記のごとく講義をすすめる。

履修上の留意点

履修者には、仏教を学ぶに相応しい受講姿勢を要請する。

成績評価の方法

原則として定期試験により、出席点・平常点を加味する。

教科書

毎講義時にテキストとしてレジュメを配布する。

参考書等

前田専学・山崎龍明編『親鸞入門』（永田文昌堂）、小川一乗著『大乘仏教の根本思想』（法蔵館）。その他の参考書・文献については講義時に説明する。

その他

講義形式を中心とするが、可能であれば質疑応答の場も設けていきたいと思う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 蓮 教 学 概 論	おお 庵 たに 谷 ぎょう 行 こう 亨	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

日蓮教学の基本的事項を体系的に学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 日蓮教学の本質と課題  
日蓮教学の位置づけ
2. 日蓮教学の概念
3. 日蓮教学の本質
4. 日蓮教学の課題
5. 日蓮聖人の思想系譜  
法華思想の伝承
6. 釈尊と法華経
7. 天台大師と法華経
8. 伝教大師と法華経
9. 日蓮聖人の法華経観  
日蓮聖人の仏教受容
10. 日蓮聖人の法華経受容の特色
11. 日蓮聖人の教義  
法華経の信心
- 12～13. 五義
14. 観心
- 15～19. 一念三千
- 20～25. 三大秘法
- 26～. 弘経の方軌

履修上の留意点

受講生各自が主体的に意欲を持って講義に臨んでいただきたい。必ず予習・復習をして着実に学習を進めていただきたい。

成績評価の方法

試験・レポート・学習態度等による総合評価。

教 科 書

庵谷行亨著  
『日蓮聖人教学の基礎』一 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0711-7  
『日蓮聖人教学の基礎』二 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0712-5  
『日蓮聖人教学の基礎』三 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0713-3  
『日蓮聖人教学の基礎』四 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0714-1

参 考 書 等

立正大学日蓮教学研究所編『日蓮宗読本』(平楽寺書店)  
日蓮宗勸学院監修『宗義大綱読本』(日蓮宗新聞社)  
宮崎英修編『日蓮辞典』(東京堂出版)

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
新宗教概説	はせべ 八郎 長谷部 八郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

近代以降、我が国の諸宗教の中で、新宗教は看過しえない位置を占め、影響力を持つに至った。本講義では、そうした新宗教の歴史と実態についての基礎的な理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2つの視点からすすめる。まずは新宗教の歴史をトレースすることから始めたい。とくに神道系と法華系の諸教団が大きく勢力を拡大していった状況に着目する。また、新宗教の展開過程で、官憲やマスコミ、既成宗教がどのような対応姿勢をとったかについても考える。さらに新宗教発生の歴史的基盤をなす近世末期の社会的状況にも言及する。

次に、新宗教の具体的な活動の諸側面をとりあげる。とりわけ修行、儀礼・行事、布教などの実態に着目する。また、これら諸活動の思想的基盤となる教えの性格にも触れたい。

成績評価の方法

評価方法は開講後決定するが、授業の中で小論文を課し、成績に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語仏書講読	よつや こうどう 四津谷 孝道	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、外国語で著された仏教に関する研究論文を読解することを通して、欧米の研究者の優れた仏教理解に触れることばかりでなく、語学力の向上も目指す。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、下記の資料を講読する。

・ Peter Harvey: An Introduction to Buddhist Ethics—Foundations, Values and Issues, Cambridge University Press, 2000.

履修上の留意点

授業においては、受講生にテキストを訳出してもらおう。各回においてはさほど多く進むつもりはないが、その分だけ予習・復習を綿密にしてもらいたい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

上記（最初の授業の際に、必要な部分を配付する）

参考書等

授業において、随時紹介する。

科専門教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語禅書講読	いし い きよ ずみ 石 井 清 純	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

西欧の知識人に深い影響を与えてきた鈴木大拙の著作から、Zen and Japanese Culture を選び、禅・仏教用語の英語表記の方法や、大拙自身の表現の特徴について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

第一章より順次読み進める。講義ごとに読み進める部分の資料を配付する。

履修上の留意点

禅・仏教用語は一般の英和辞典では検索できないので、参考書に示した仏教専門用語の辞書を用意していただきたい。

成績評価の方法

前期末レポートおよび年度末の筆記試験によって評価する。また学期中に随時課題を科す。

教科書

Zen and Japanese Culture (禅と日本文化) by D.T.Suzuki, Princeton Univ. Press (講義時に該当部分をプリントにて配布)

参考書等

『禅と日本文化』鈴木大拙著、北川桃雄訳、岩波書店  
Japanese - English Buddhist Dictionary (大東出版社)  
日英禅語辞典 (The Japanese - English Buddhist Dictionary) (山喜房)

その他

テキストの日本語訳が出版されているが、それは、改訂前の旧版のものであるため、参考程度に留める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講 I	なか むら とし ゆき 中 村 信 幸	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

初期の禅家語録を外国語である中国語で書かれた文献として捉え、原文を忠実に解釈しながらその主張をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

敦煌出土の禅籍の中から、荷沢神会 (684~758) の説法の記録『南陽和上頓教解脱禅門直了性壇語』を読んでいく。

履修上の留意点

中国語を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

出席状況およびレポートにより評価。

教科書

劉堅・蔣紹愚主編『近代漢語語法資料彙編、唐五代卷』(商務印書館) 所収のテキスト。コピーを使用する予定。

専  
門  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅱ	須山長治	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

不立文字を標榜する禅は膨大な文献を後世に残したが、その中に偈頌あるいは詩偈と呼ばれる韻文がある。悟りの境地を詩の形で表出したものである。この講義では、一つ一つの韻文がどのように禅者の体験を言い留めているか、様々な文献をもとに考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『景德伝灯録』の過去七仏からはじまる「伝法偈」を中心に講じ、録中に散在する「投機の偈」や「遺偈」等、更に巻29の「讃頌偈詩」、巻30の「銘記箴歌」にも言及していく。

履修上の留意点

各回の講義内容を確実に習得するには、積極的にノートをとる姿勢が大切である。

成績評価の方法

出席を重視し、学年末の試験によって評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『景德伝灯録』（新文豊出版 or 禅文化研究所） 『祖堂集』（中文出版 or 禅文化研究所）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講Ⅰ	岡本一平	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国入道僧の大乗理解について、『大乘義章』を精読しながら学習します。『大乘義章』は隋の三大法師とされる浄影寺慧遠（523～597）の主著であり、現存するだけでも二〇巻・四聚・二二二義科という大部の文献です。本書は、仏教思想上の多くの論点（＝義科）について大乗の立場から考察したもので、後代の中国や日本の仏教諸思想にも影響を与えたとされています。『大乘義章』を関連文献と比較しながら精読することで、東アジアにおける大乗の有り方の一形態を、原典に基づきながら理解できることと思います。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）①浄影寺慧遠の生涯 ②『大乘義章』の概説 ③漢文文献の調査方法  
④『大乘義章』の読解（参加者と調査）  
（後期）⑤『大乘義章』の読解（参加者による報告）

履修上の留意点

参加者全員で『大乘義章』の原文（漢文）を輪読し、出典を調査する予定です。ただし、漢文の読解能力の有無は問いません。参加者の読解と調査の能力を講義の中で、少しでも向上できるようにする予定です。また、文献の調査方法についても、具体的に指導します。最初は講義の中で、読解と調査の方法を学び、一定の能力が身についたら順番に予習をしてもらいます。講義中の質疑は大歓迎です。

成績評価の方法

予習と講義中の発表・発言により評価し、原則としてレポートや学年末試験を実施しない予定です。

教科書

なし

参考書等

『大乘義章』の訳注として、辻森要修訳『国訳一切経』「諸宗部10～13 大乘義章」（大東出版社）を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 Ⅲ	りん 鳴 宇 林 鳴 宇	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

燃頂・煉臂・刺血・断指などの捨身供養は、中国仏教特有の実践行である。なかでも特に、焼身供養は、布施の極致であるともいわれる。しかし、生々しくあらわれる阿鼻叫喚の様子や、時に自殺を奨励するかのようにも見えるこの行為を、健全な宗教行為であると即座には評価し難い。従来、中国の当世者の多くは、この種の供養を厳しく禁じた。にもかかわらず、肉身に貪著せず大誓願を遂げたいと望んだり、浄土世界に憧れたりすることから、中国の仏教界では絶えず行われていた。但し、焼身供養をめぐり、理念と現実の捉え方には個人差が大きい。すなわち、仏教界だけにとどまらず、広く議論されてきた課題の一つなのである。

本講義では、『金光明経』『捨身品』に説かれた捨身思想から始まり、中国仏教における僧俗の仏教実践の様相と、各実践の教理的根拠について講義する。その目的は、中国仏教が、漢訳経典に説かれた教えを如何にして消化且つ実践したかを明らかにしていくことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、捨身供養の由来、中国仏教における実例や僧侶による理解、更には中国社会における受容や批判などに基づき講義する。

後期では、『金光明経』、『法華経』、浄土三部経（『無量寿経』、『観無量寿経』、『阿弥陀経』）の内容に従い、中国仏教における各経典の教理による懺悔滅罪の方法や各靈験感応談について講義する。

履修上の留意点

講義内容に関心を有し、且つ持続して出席できる者を対象者とする。受講にあたっては、捨身供養の実例や、経典の靈験感応談（いずれも短い漢文）を解読する予習が必要となる場合がある。

成績評価の方法

出席状況及び期末レポートによって評価する。

教 科 書

コピー資料を配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 IV	おくのみつよし 奥野光賢	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、「我が国の仏教諸宗派のほとんどが受け容れている教理で、大乘にとっての根本的なもの」といわれる如来蔵・仏性思想について考察する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

最初に高崎直道博士を中心としたこれまでの如来蔵・仏性思想に対する研究史の概説を行なう。それを踏まえた上で各論に及ぶ。今年度は『大般泥洹経』を講読しながら如来蔵・仏性思想について考えてゆく。

- (前期) (1～5) 如来蔵・仏性思想研究史概観
- (6～7) 仏教史上における涅槃経の位置
- (8～9) 涅槃部の経典
- (10～11) 涅槃経の成立過程
- (12～13) 涅槃経の伝訳と流伝
- (後期) (14～26) 『大般泥洹経』講読を通じての如来蔵・仏性思想の考察

#### 履修上の留意点

履修者には、しっかりとした問題意識をもって授業に参加することを望む。『大般泥洹経』の講読にあたっては、十分な予習復習が要請されることになるであろう。

#### 成績評価の方法

出席点および学年末のレポートによって評価する。

#### 教科書

教科書は特に指定せず、プリントを配布する。

#### 参考書等

参考書はあまたある。それらの一々については講義中に適宜指示する。さしあたって、次の書のみをあげておく。

- 高崎直道『増補新版・仏性とは何か』(法蔵館) 定価2,800円(税別)
- 田上太秀『仏性とはなにか―『涅槃経』を解き明かす』(大蔵出版) 定価2,700円(税別)

#### その他

受講者の人数にもよるが受講生との対論がなされる形式で授業が進められるよう努めるつもりである。



科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年問題研究	讃岐真佐子	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不適応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもち、どのような人と出会うかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 青少年に生じ得る「問題」をどう捉えるのか——その二面性について  
 II. 青少年にいかに出会っていけるのか——臨床心理学に基づくカウンセリングを中心として  
 III. 事例を通して、不登校、友人関係（いじめ）、非行などのテーマ毎に学ぶ  
 (後期) IV. 人間の誕生から青春期に至るまでの心の発達の諸相  
 V. いくつかの症状（対人恐怖、無気力、身体症状等）について  
 VI. 心の健康に関する諸知識

#### 履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況（授業態度を含む）も重視する。

#### 成績評価の方法

出席状況、定期試験、受講態度

#### 教科書

必要な資料は適宜配布する。

#### 参考書等

岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）  
 河合隼雄著『カウンセリングを語る（上下）』（創元社）  
 河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）  
 河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）  
 河合隼雄著『子どもの宇宙』（岩波新書386）  
 小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2（金子書店）  
 季刊『仏教——特集癒し』No.31（法蔵館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年指導演習	にしむらひろこ 西村寛子	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代の青少年についての具体的な理解と、その関わりについてのスキルを学ぶことと、二つの柱を中心に行っていく。実習を通して自己理解と青少年への理解を深め、相互的なかわり、援助へのスキルが促進されるように取組んでいく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 《前期》1. 青少年へのかかわり－自らのことと体をほぐし、関わり易い環境づくりの実習。  
2. カウンセリングマインドを学ぶⅠ－話を聴く、ロールプレイ等。  
3. 青少年期を発達的に概観して学ぶ。  
《後期》4. カウンセリングマインドを学ぶⅡ－共感性、「私」のものがたり理解。  
5. 事例を通して学ぶ－引きこもり、不登校、いじめ、虐待、反社会行動等。  
6. まとめ

#### 履修上の留意点

演習、実習を多く取り入れていく参加型の授業である。毎回質問や感想を〔メモ用紙に〕記入し提出してもらい、これらを生かした相互的な授業にしていくつもりである。

#### 成績評価の方法

出席状況と、夏休み前、期末の年二回のレポート。

#### 教科書

河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）2,000円

#### 参考書等

山下一夫『カウンセリングの知と心』（日本評論社）3,200円  
河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）1,240円  
『昔話の深層』（福音館書店）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教法概説	あらいけん 洗建	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代日本の宗教法制について概説する。わが国における宗教法制の根幹は、憲法の保証する信教の自由と、政教分離の原則によって規定され、これに基づき宗教団体に法人格を賦与する目的で宗教法人法が定められている。憲法原理の意義をしっかりと理解した上で、今回の宗教法人法の一部改正問題を含めて民法と宗教法人法の間にある諸問題などを理解し、法の精神を理解することを目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前半は、現憲法の原理が導入されるまでの近代日本宗教法制史を概観する。信教の自由の理念がいかなる背景から生まれ、どのように導入されたのか、わが国の宗教文化との間にどのような問題が存在するのかを理解して貰いたい。  
後半は、宗教法人法の諸規定について概説し、民法との関係、税制との関係、法の精神とその諸問題についての理解を深める。

#### 履修上の留意点

将来、寺院に携わる人のために実務の問題にも触れなければならないが、寺院と関係のない人も多いようであるから、法の精神やその意義に力点を置いて講義する。具体的実務問題などで質問のある人は、積極的に質問して貰いたい。

#### 成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

#### 教科書

指定しないが、後半の授業では憲法第20条、第89条、および宗教法人法の条文を、六法全書などからコピーして、持っておくようにして貰いたい。

#### 参考書等

随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	てら やま かつ じょう 寺 山 葛 常	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

私どもが生きているのは、いま・ここにしかない。そこを充実させるのに、書道は最適の一法と思う。それはまさに“いま・ここに・われを尽す”稽古だからである。当面したいま・ここに・われが尽くせれば、その線は澄む。その澄んだ線を持続して、文字がかければ、そこには美しい書が生れよう。あとは、鑑賞眼を高め、技術を錬磨し、教養を培って、各自の書を深めていけばよい。

その辺のことを、理論と実技と鑑賞を通して、身心学道としての書道を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期（4・5月）書道の概説と基本—中国・日本古来の書論の要点、実技に当っての姿勢・呼吸・気の充足等から一本の線の稽古。（6・7月）篆・隸・楷・行・草・かなの基本と代表的古典の臨書。

後期（9・10月）王羲之の書論と楷行草の錬磨。（11月以降）空海の書論と臨書から創作へと展開していく。

履修上の留意点

まず書道の基礎的知識と実技の基本を学び半紙に古典の臨書を試し、次に大きな筆でからだ全体で書く。それは必ずしも筆を持たなくても、天空に向って全身で書く“空書”によっても可能である。そして毎時間、名筆を鑑賞し、後半は雅箋紙にそれぞれの成果を表現してみたい。

成績評価の方法

出席日数、授業時の臨書作品および、期末の作品等によって評価する。

教 科 書

寺山旦中書『筆禅道』（春秋社）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 論	は せ べ はち ろう 長谷部 八 朗	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、日本人の宗教行動の特質を、既成宗教、新宗教、民俗宗教の比較検討を通して探究する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教学の基本的な術語や概念の解説を中心に進め、この学問の特徴を把握する。後期では、それを踏まえて日本宗教の性格を理解する。とくに、神仏習合と称される我が国の宗教の習合性・重層性に着目し、種々の儀礼を通して検証すると同時に、そのような形態を生んだ理由や背景について、歴史性を考慮しながら論ずる。

また、民衆の宗教的ニーズの在り様にも言及する。主に現代社会をめぐる、諸宗教の交錯する状況の下で、人びとは宗教に何を求め、かつ宗教はそれにどう対応しているのかを、具体例に沿って探ってみたい。

成績評価の方法

評価方法は開講後に決定したい。なお、授業の中で小論文を課す予定である。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

授業で紹介する。また、適宜資料を配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キ リ ス ト 教 概 論	ひぎちしげ 挽 地 茂 男	禅・仏教2・3・4選	4

### 講義のねらい

ヨーロッパ精神は二つの源流、すなわち、ギリシア思想とキリスト教に遡ると言われる。ヨーロッパの長い文化と伝統を理解しようとする時、その根底に流れるキリスト教の理解を欠くことができない。本講はこのキリスト教を理解の対象とする。しかし対象に接近する仕方は様々である。一つの宗教を理解しようとする場合一般に宗教を構成する4つの要素を中心に考えることができる。すなわち宗教の根幹をなす神観、人間観、世界観を形成している。(1) 宗教思想(ピリーフ・システム)。これはそれぞれの宗教のもつ伝承や神話や経典・教義の中心に流れている。この宗教思想を原理として実践される。(2) 宗教儀礼。この象徴な行為の体系である儀礼は、集団の成員間に連帯感を高め、メンバーとしての自覚をもたらし。このように形成される。(3) 宗教集団(教団)は宗教的な意味によって結ばれた一つの社会的グループである。宗教集団はそれぞれに独自のピリーフ・システムや儀礼的な行動様式とともに成員組織や物的施設を有している。(4) 宗教体験はこのような宗教集団の集団的営みの内外で、集団的なものとして、また個人的なものとして経験される。実際はこの人間の内的な体験こそ、宗教現象の根本にあるものであって、それが外的に表現される場合、宗教思想、儀礼、教団といった形式をとるとも言える。

本講はこれら4つの側面から、他宗教との対比を重視しつつ、キリスト教の成立と展開、その思想と文化をとらえようとするものである。よって概ね以下のような計画にそって授業が進められる。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期 1	キリスト教研究の射程	1) 宗教研究の立場と分野 (1)
2	〃	2) 宗教研究の立場と分野 (2)
3	〃	3) 宗教の構成要素 (1)
4	〃	4) 宗教の構成要素 (2)
5	聖書の思想	1) 聖書の虚無思想
6	〃	2) 神の言の思想
7	〃	3) 罪と救済の思想
8	〃	4) 「救し」の思想
9	〃	5) キリスト教における愛の思想
10	〃	6) 隣人愛の思想
後期 1	聖書と文学	1) 史的イエスとキリスト (1)
2	〃	2) 史的イエスとキリスト (2)
3	〃	3) 遠藤周作のキリスト論 (1)
4	〃	4) 遠藤周作のキリスト論 (2)
5	〃	5) 映画「深い河」を見る (1)
6	〃	6) 映画「深い河」を見る (2)
7	〃	7) ドストエフスキーと聖書 (1)
8	〃	8) ドストエフスキーと聖書 (2)
9	キリスト教思想と倫理の基礎	1) 生への畏敬と倫理
10	〃	2) キリスト教的死生観

### 科 専 門 教 育 目 録

### 履修上の留意点

必ず聖書を購入し、授業で指示される当該箇所を参照すること。この講義では、キリスト教の根幹を形成する聖書に親しむことが、キリスト教理解の重要な一部として要求される。

### 成績評価の方法

試験と出席率

### 教 科 書

挽地茂男『キリスト教入門 A』、『キリスト教入門 B』(DTP 出版)  
『旧・新約聖書』(版はいずれのものでもよい)

### 参 考 書 等

挽地茂男『図解雑学キリスト教』(ナツメ社)  
金子晴勇『キリスト教思想史入門』(日本基督教団出版局)  
木田、山内、土岐編『聖書の世界』(自由国民社)

### そ の 他

授業の進め方―講義を中心とするが、講義中数回ビデオ・フィルムを教材として用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イスラム教概論	きくち たつや 菊地達也	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

世界の三大宗教の一つとされるイスラムであるが、仏教、キリスト教と比べた場合、日本人はあまりにイスラムに無知である。イスラムに関する限られた知識も、9・11同時多発テロ以降は特に戦争やテロリズムといった偏ったイメージによって覆われていることが多い。

しかし、グローバル化が進み、否が応でもイスラム教徒と無関係に生きることができなくなっているこの時代に、そのような無知が許されるわけがない。そこで、この講義においては、イスラムの創生から現代に至るまでの幅広い時代を取り扱い、その全体像を解き明かすことを目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業前半では、ムハンマドによるイスラム創始（7世紀）とその後の歴史を概括し、宗教としてのイスラムの基本的なあり方について概説する。その後は、法学、神学、哲学、スーフィズム（神秘主義）、シーア派などの個別分野を取り扱う。授業の最終段階においては、現代イスラムの動向とインドにおけるイスラムの特徴について概括する。

また、映像・音響素材や中東に関わる様々な事物を適宜紹介することで、イスラム教徒の信仰や日常生活になるべく触れてもらう予定である。

#### 履修上の留意点

イスラムの全体像を把握するためには、なるべく全ての授業に出席してもらいたい。馴染みの薄い分野について話をする場合もありえるので、疑問がある場合には積極的に質問していただきたい。

#### 成績評価の方法

夏休み明けに提出してもらうレポートと学年末テストで成績を判定する。

#### 教科書

M.リズン『イスラーム』（岩波書店）

#### 参考書等

授業内で適宜紹介

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	飯田 亘之 <small>い いい だ のぶ ゆき</small>	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

生命の操作が大幅に可能となった時代にそれがどこまで許されるとすべきか、人間の尊厳を軸にすえて議論するのが本講のねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期)

生命操作とその問題；IVF、胚研究、遺伝子操作他。

人間の尊厳概念とその歴史；ストア派の思想、キリスト教における神の似姿と人間の尊厳、ルネッサンスにおける人間の尊厳の概念、パスカルとF. ベーコンにおける人間の尊厳概念の展開。

(後期)

カント哲学における人間の尊厳概念。

人間の尊厳、生命の神聖性と生命の操作。

#### 履修上の留意点

教師の側からの一方通行ではなく学生諸君にも発言してもらいながら対話方式で授業を行うのでテキストを前もって読んでくるのが大切。

#### 成績評価の方法

(1) 最終回の論述テスト、(2) 出席状況、(3) レポート、(4) 授業中の質問、コメント等による授業への参加度により総合的に評価を行う。

#### 教科書

特に定めない。

#### 参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

金子著『ヨーロッパの人間像』(知泉書館)

高橋編『ヒトの生命と人間の尊厳』(九州大学出版会)

<http://www.fine.chiba-u.ac.jp/>

#### その他

一方通行でない授業にしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教哲学	かわたに あつし 河 谷 淳	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

宗教 (religion) が「信じる」ことであり、他方で、哲学 (philosophy) が「知を愛する」ことであって場合によっては既存の世界観を「疑う」ことであるとするならば、両者は互いに対立するもののように見えるかもしれない。だが、そうした理解は古代ギリシア以来の西洋思想史を概観してみるならば必ずしも事実とは言えない。宗教哲学とはそうした信と知が交錯する地点に位置づけることができるようなものである。本講義では、宗教という世界についての語り方を哲学的アプローチによって考えることにしたい。授業では主に西洋の宗教哲学（とりわけキリスト教的哲学）を題材として取り上げはするものの、特定の宗教の教義についての解説を目指すというわけではなく、むしろ、「信じる」という人間の営みがどのような地平において成立しているのかについて西洋哲学の側から考えるところに本講義の目的はある。また、それと併せて、西洋哲学史の概略や基本的な哲学用語についても理解を深めてもらえるよう配慮したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では次のようなテーマを取り扱う。

前期：信と知の関係

- (a) 神話と哲学：ギリシア神話と哲学の始まりとしてのギリシア哲学
- (b) 信念形成と合理性：テルトゥリアヌス・「バスカルの賭」・ヒューム
- (c) 神義論：悪の起源と意志の倫理学

後期：神と「私」と天使

- (d) 神の存在証明：宇宙論的証明・目的論的証明・存在論的証明
- (e) 倫理と宗教の相補的關係：カント倫理学と宗教哲学
- (f) 天使論：天使の存在をめぐる議論と魂論

#### 履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

#### 成績評価の方法

中間・期末試験（論述タイプのテストでそれぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

#### 教科書

上枝美典『「神」という謎－宗教哲学入門－』（世界思想社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代哲学概説	久保陽一	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

現代哲学の共通な傾向として、言語の問題への強い関心がある。それは、人間が世界を認識し理解し、また情報を伝達する際の媒体が主に言語であるという事実によるだけでなく、人間存在そのものが言語的であるという理解や、近代の「意識」の立場に伴う問題点が「言語」のレベルで克服されうるといふ見通しに基づいているからであろう。そこで、「言語」をめぐる現代の諸哲学の考え方を学び、検討してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

「言語」に関する次の三つの現代の代表的な思想潮流を取り上げる。  
 (Ⅰ) フレーゲ、ムーア、ラッセル、クワイン、オースティン等の言語分析と意味論。  
 (Ⅱ) デイルタイ、フッサール、ハイデッガー、ガダマーの意味論と言語思想  
 (Ⅲ) カッシーラーの「象徴主義的」文化哲学。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席回数とレポート等によって評価する。

教科書

河谷・久保編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

渡辺二郎『現代哲学』（放送大学教育振興会）  
 藤本隆志『ワイトゲンシュタイン』（講談社学術文庫）  
 ベグラー編『解釈学の根本問題』（晃陽書房）  
 カッシーラー『人間』（岩波書店）

その他

時々、講義内容についてレポートを書いてもらい、それについてコメントを付けて返すことにする。



科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教民俗学	須藤寛人	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われます。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民族の意味と歴史とを考察することによって、仏教との新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

a. 先祖崇拜 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、先祖祭祀という民族的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。以上の三点を本講義の機軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないで下さい。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中は着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートを20%、学期末の定期試験80%とし、出欠状況を加味して総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

参考書等

授業の流れに応じて、適宜、紹介したいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こやま かず のり 小 山 一 乗	禅・仏教2・3・4選	4

### 講義のねらい

本授業科目名称である用語「宗教教育」は一義的ではなく、複雑であり、いわゆる対日米国占領政策の一環であるいわゆる「神道指令」に象徴される日本人の精神改造計画実施上、戦後教育改革の中心的論点・課題であって来た。本講義のねらいは、その用語「宗教教育」には、多義的で、実に複雑にして様々な教授概念の類型があることを知り、巷間のとかくの常識的捕捉を再検討し、また、現時局下の教育基本法改正論議上に浮上するいわゆる「宗教教育」論議中に伏在する、その、法的思考 (legal mind) ・教育的思考 (educational mind) ・宗教的思考 (religious mind) の紆余曲折の歴史的経緯を知る。そして、これまでの「宗教教育」の問題点を知り、これからの世界的脈絡中での「宗教教育」の不可避的且つ不可欠な課題点を明らかにし、手垢のついた既成概念にとらわれないで、カリキュラムをデザインすることが出来るようになるその内容知と方法知とを身につけることを目的とする。横断的・総合的捕捉を試みる。宗教に由来する日常生活用語が教育の場面に数多伏在している事象への気づきを端緒として講義を開始する予定。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるといういわゆる狭義の宗教教育を構想する講義ではない。決して狭義的ではなく、先ずは、寛容の態度を育てることを構想するものであり、その意味で広義的である。様々の宗教や宗派、宗教現象を事例として取り上げる。

具体的には、多くの音声教材、映像教材、文字教材、マルチメディア等を用いて、適宜、様々な、童謡、民謡、歌謡曲、唱歌、教え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象にふれ、日常の実際生活の深層・表層において、宗教的事柄が、隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成にいかに関与しているかの諸相を考察する。

### 講義の内容・授業スケジュール

- (1～2) 用語「宗教教育」の教授概念類型 (5つの類型)
- (3～4) 宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解
- (5～6) 「教育」、そして「教育」の「目的」「目標」「内容」「方法」  
(法的思考・教育的思考；目的－目標、判断力－批判力、選択－決定等)
- (7～9) 「教育観の分類」、「教育の目的の考察先行事例」、「開発主義」と「注入主義」  
知識理解度事項・態度の事項・技能の事項
- (10～11) 「宗教の様々な分類」、文献「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒
- (12～13) 日本国憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学習指導要領の相互補完関係  
教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証から看取される問題と今後の課題  
対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実  
宗教教育と宗教科教育 (教育職員免許法に規定) との差異検討  
(←だれでもの国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用論)
- (14～16) 命題「法は風土の産物」(モンテスキュー「法の精神」) を問題意識の根柢におく  
世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法  
各国の宗教教育
- (17～18) これからの宗教教育の教授概念検討 (不均衡是正)  
政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項  
教授概念論議「何を教えることができるのか」の肯定的事項  
意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非－行動的解釈、事実的言明文・規範的言明文
- (19～25) 宗教教育の指導計画：題材 (subject-matter) としての事例・用語等  
宗、教、育、education、prenatal education、pedagogy、andragogy、gerogogy、誓願、アニミズム、アニメーション、更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態 (の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、教師、学者、学生、日常用語になった仏教語 (挨拶・会釈・我慢・玄関・工夫・覚悟・油断・娑婆等)、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア、入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等
- (26) まとめ

### 科 専 門 教 育 目 録

### 履修上の留意点

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教科書を使用して授業を進める。必要に応じ、映像教材・音声教材・文字教材等を複合的に視聴するので、PC設備のマルチメディア教場 (事前に授業中に指示) や視聴覚教室 (授業中に指示または掲示) への移動指示に注意すること。印刷教材プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

宗教学、宗教学人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期休暇後提出、学年末提出、その他中間で適宜にレポート課題提出を求める）  
課題は具体的に授業中にて指示するので出欠席には要注意。出席点による。出席を尊重。

教科書

小山一乗著『教育と寛容—宗教的事実・規範の取り扱いとのおしえ方、評価の観点—』（宣協社）2,940円消費税込

参考書等

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣）1,600円  
脇本平也著『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円。その他適宜紹介・指示する

その他

原則として講義形式で実施するが、適宜、発表、討論をおこなう予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学概論	間島英俊	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われます。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には12月最終講義にて行う試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

教科書

根本・小島編著『理解とふれあいの心理学』（ミネルヴァ書房）2,300円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

専  
門  
教  
育  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パ ー リ 語 初 級	かた やま いち ろう 片 山 一 良	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は文法全体について講義し、後期は相応部經典『有偈篇』(Sagātha-vagga)を講読する。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

年度末テスト、および平常点による。

教 科 書

コピーにて配布する。

参 考 書 等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

そ の 他

随時、テープ等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パ ー リ 語 上 級	ふく だ たか お 福 田 孝 雄	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

パーリ・テキストの中から、原始仏教の基礎を構成する諸文献を選び、仏教の発展史に沿って、講読して行く予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、原始仏教の最初期の文献を中心に講読して行く予定である。  
後期では、講読中のテキストに相当する他の資料も必要に応じて適宜参照し検討を加える。

履修上の留意点

履修者は、事前に下調べをしてくること。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、授業中の履修者の状態を参酌して、最終的に成績の評価を行う。

教 科 書

講読用の資料等は、随時配布する。

科 専  
門 教  
育  
目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
サンスクリット語初級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある下記の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際的・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
サンスクリット語上級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある下記の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際的な力を養う。演習形式。

履修上の留意点

サンスクリット語初級程度の修了者であることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

教科書

ランマン著『サンスクリット読本』（Charles R.Lanman, *A Sanskrit Reader*）OUP

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語上級	きむら せいじ 木村誠司	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット人学僧の著作を読む。

講義の内容・授業スケジュール

チャンキヤlCang skya (1717-1786) 作『教義規定』は宗義文献として高い評価を受けている。本年度は、その中の『毘婆沙師』章を講読する予定である。講読は、ゆっくり、着実に進めたい。

成績評価の方法

評価は平常点によって行う。

教科書

テキストは初回にコピー配布する。

科 専  
目 門  
教 教  
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語上級	おがわ たかし 小川隆	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

以前は精読を主に行っていたが、近年は方針を転換し、多読をめざすことにしている。昔に比べて高校・大学で接する「漢文」の量が極度に少なくなり、語学的な知識を勉強しても、それがなかなか実際の読解力に結びつかなくなってきたからである。具体的には詩・散文・小説の各分野の作品を選読する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は散文の作品を読み、中国古典語の基本的な文法・文型を学習する。後期は詩の形式と規則をおぼえながら有名な詩を読んでみる。基礎からいねいにやってゆくので、予習・復習を怠らないなら、現時点で基礎学力に自信のない人でも履修してもらって問題ない。

履修上の留意点

「初級」を履修済みである必要はない。

成績評価の方法

平常点評価。

教科書

プリント配布。そのかわり必ず下記の辞典を用意されたい(授業で毎回使用する)。

参考書等

辞書：『全訳・漢辞海』(三省堂) 2,840円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ラテン語	うえの かつひろ 上野 勝 広	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第11課まで、後期は第12課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

辞書と共に初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文献学	の ざわ よし み 野 沢 佳 美	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教經典の一大叢書である大蔵經（一切經）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵經です。当初大蔵經は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵經の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵經の成立とその編纂経緯などを眺めながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵經の意義などを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、中国における大蔵經編纂の概観をおこない、おもに宋～元代以降の印刷大蔵經の変遷と周辺諸国への伝播などを取り上げます。

後期では、明代以降の大蔵經を取り上げ、とくには明初の南蔵・北蔵・嘉興蔵などの各大蔵經の編纂経緯、仏典入蔵問題などを取り上げ、その問題点などを考えていきます。

履修上の留意点

本講義では大蔵經編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵經を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。中途半端な気持ちで履修しないことを望みます。

成績評価の方法

出席状況と前期末・後期末のレポート提出にて評価します。

教科書

とくには定めません。随時プリントを配付します。

参考書等

『大蔵經－成立と変遷－』（百華苑）1989年再刊  
 竺沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院）2000  
 竺沙雅章『大蔵經編纂』（『大谷大学通信』50号）2000  
 椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社）1993  
 野沢佳美『明代大蔵經史の研究』（汲古書院）1998

その他

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。また、必要に応じてビデオの鑑賞、博物館・図書館見学も考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅美術	むらまつ てつみ 村松哲文	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

禅宗では、はじめ偶像を崇拜せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画などが制作されることはなかったが、宋代になると僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが宮廷の庇護を受けるなどして職業画家まで出現するようになる。描かれた題材は、山水・花鳥・祖師などで、これらを総称して禅絵画という。日本では、留学僧によって鎌倉時代に禅絵画が伝わり、ついには日本独自の水墨画を完成させた。本講義では、絵画を中心に話を進めるが、彫刻や墨蹟、庭園などについても触れてゆきたい。そして、作品に見え隠れする制作者の宗教性と美意識を考察したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕  
講義ガイダンスと宋代の社会と仏教（1～3） 北宋の絵画（4～7）  
南宋の絵画（8～11） 元の絵画（12～15）  
〔後期〕  
鎌倉時代の絵画（16～19） 室町時代の絵画（20～23）  
庭園のかたち（24～26） 禅の美意識（27～30）

#### 履修上の留意点

講義内容を留めるのみならず、講義の際に映すスライドなどもしっかり観察すること。また美術館・博物館に行き、実物を観察する機会を多くつくること。

#### 成績評価の方法

定期試験、出席率、レポートなどで総合的に評価する。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	むらまつ てつみ 村松哲文	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

インド・中国・朝鮮・日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代や国によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。

科専門教育  
目

#### 講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕  
仏教美術の世界（1） 日本・飛鳥時代の仏像（2～4）  
日本・白鳳時代の仏像（5・6） 日本・天平時代の仏像（7～9）  
日本・平安時代の仏像（10～12） 日本・鎌倉時代の仏像（13～15）  
〔後期〕  
インド・無仏時代（16） インド・ガンダーラ仏とマトゥラー仏（17・18）  
中国・初期の仏像（19） 中国・敦煌石窟（20～22）  
中国・雲岡石窟（23～25） 中国・龍門石窟（26～28）  
朝鮮・三国の仏像（29） 朝鮮・統一新羅の仏像（30）

#### 履修上の留意点

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

#### 成績評価の方法

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅Ⅱ	石井 <small>いし い</small> 清純 <small>きよずみ</small> ・松田 <small>まつだ</small> 陽志 <small>ようじ</small>	禅・仏教3・4選	4
坐禅Ⅰ〔再クラス〕		禅・仏教(再クラス)	

講義のねらい

道元禅の実践。

講義の内容・授業スケジュール

実習時間は、すべて坐禅・経行（きんひん）の実習となる。経行の後には、『坐禅用心記』を講じる。  
実習要領および履修に当たっての心構えは、すべて「坐禅Ⅰ」に同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻は一切認められない。  
実習に臨むに際しては、服装・言動など常に厳粛・整齊なるを厳しく要求するので、これら のことを予めよく承知しておくこと。  
なお、学年度最初の実習では、席次（単）の決定や必要な諸注意を行うので履修するものは必ず出席すること。

成績評価の方法

授業実施回数に対する出席回数をもって機械的に判定する。レポート提出等による救済措置も行われないので注意すること。  
また、坐禅堂の内外における服装や態度に著しく適正を欠くと思われる場合や、講本の忘失などは厳しく減点の対象とする。

教科書

『坐禅講本』（更正社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	池田 <small>いけだ</small> 練太郎 <small>れんたろう</small>	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ		禅・仏教4選	

講義のねらい

古来、仏教における入門的な論書として重んじられてきた世親（Vasubandhu）の著作『阿毘達磨俱舍論』（Abhidharmakosabhasya）を、サンスクリット語の原典と玄奘による漢訳を用いて講読する。この講読を通して、仏教の重要な術語や概念を理解するとともに、仏典を正確に読解する力を身につけ、仏教に関わる諸問題について自ら考察する姿勢を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には玄奘訳『俱舍論』を中心に講読し、後期にはサンスクリット語テキストによって同書を講読する。

履修上の留意点

毎週当番制で和訳を附してもらうが、当たっていない者も必ず予習をして授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業における平常点によって評価する。

教科書

テキストは最初の授業のさいに説明する。

参考書等

関連する問題について発表してもらうことも考えている。

専科  
教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	池田魯参	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

天台教学思想を介して仏教の根本思想を学ぶ。  
『摩訶止観』は中国隋代の天台智ギ(538~597)によって講説され、当時の南北の地で活躍した仏教者たちの実践理論を踏まえ、独自の仏教理解を提示する。我が国では平安時代以後の日本仏教の展開において極めて重要な役割をはたした。禅宗の展開においても本書の学説は常に意識されている。我が道元も『摩訶止観』やその注釈書である『摩訶止観輔行伝弘決』などから種々の考えを参照している。多くの注釈研究書があるので、本書の仏教観を多角的に検討し、仏教思想の現代的意義を究明したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

漢文で書かれた仏教教理学のテキストを読解できる学力を養うために、根気よく難字難語・専門用語などを一字一句辞書を使って調べて頂き、勉強の成果を当番を決めて発表してもらう。できたらその発表事項について問題点を質疑応答してもらう。

#### 成績評価の方法

毎時限、休まず出席すること、演習の当番に当たったときは全力を傾注して責任を果たすこと、授業中に積極的に質疑応答をすること、等の平常の授業態度を見て評価する。

#### 教科書

池田魯参『詳解摩訶止観』現代語訳編・定本訓読編・研究註釈編全三巻(大蔵出版刊)から講読箇所を適宜コピーして渡す。

#### 参考書等

関口真大校注『摩訶止観』上下巻(岩波文庫)。  
『天台大師全集』所収『摩訶止観』会本全五巻。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石井清純	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

近年、インターネットの発達と漢字表記の発展により、仏教・禅の研究においてもコンピュータネットワークの重要性が飛躍的に増大した。それは具体的には世界各国による仏教典籍のオンライン供給という形として現れている。

本演習は、シスコネットワークングアカデミーのカリキュラムに則り、ネットワークの基礎知識を学ぶことにより、それらに対応してゆく技術を身につけることを目的としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期中に、まず、コンピュータ機器に関する基礎知識と基本操作を身につけ、オンライン資料の使用法に慣れることを目的に授業を進める。

その後、シスコネットワークングアカデミー CCNA 1 (ネットワーク機材と概念に関する基礎知識)の取得をめざし、オンライン教材を使用しながら、講義・演習を行ってゆく予定である。

なお、演習 II は、CCNA 2 を行う。

#### 履修上の留意点

講義やプレゼンテーションは、すべてコンピュータを用いるので、パソコンの基本操作を必ず身につけてもらわなければならない。また、教材や試験はすべてブラウザ上に置かれるので、インターネットに関する基礎的な知識を有していることを希望する。

#### 成績評価の方法

演習中の発表内容および年度末のオンラインテストの成績を以て評価する。

#### 教科書

オンライン教材を使用する。

#### 参考書等

シスコネットワークングアカデミー受講ガイド1(シスコシステムズ)ほか。

#### その他

コンピュータの基本操作に関する技術指導は、原則として講義中には行なわない。  
演習 II は、昨年度演習 I において CCNA 1 を受講しファイナルテストを合格した者のみを対象とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	いし い しゅう どう 石 井 修 道	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

演習のテキストとして禅の究明に欠かせない『景德伝燈録』を選んだ。1004年に完成した『景德伝燈録』は、それ以前の禅とは何かを知る上でも必読の本であるし、それ以降の禅を学ぶ上には欠くべからざる指針の本である。また、道元禅師が暗記するまで読まれたことは間違いないので、道元禅師の研究をする上でも必読の本である。

講義の内容・授業スケジュール

『景德伝燈録』30巻は、世に「一千七百の公案」と呼ばれる。この演習はその一つ一つを丁寧に読む。なお今年度は巻7以降の南嶽系の著名な禅者を読む。

履修上の留意点

元版の序文によると、367,917字で刻まれたという。それを編集し、書写し、さらに一字一字を刻した人の苦勞を思う時、まず我々はその一字一字を辞典を使用して確かめることから出発し、意味を考え、そして意図を探りたいものである。一年間で学べる分量はわずかであるが、禅者一人一人を禅宗史の上でどのように学問的に追求したらよいかを学んで、他の研究に応用できるように身につくまでまなびたい。

できる人は中国語の発音まで調べてくること。

成績評価の方法

演習は当番が担当する。また、その年度内に読んだ禅者の中から興味ある人を一人選び、その伝記と思想の特色をレポートに書いて最終授業の時に提出する。400字詰5枚程度（ワープロ可）。

教科書

『景德伝燈録』中文出版社（京都）2,880円

参考書等

入矢義高監修『景德伝燈録三』『同 四』禅文化研究所 各8,500円  
入矢義高監修『禅語辞典』思文閣出版 9,785円  
石井修道『中国禅宗史話』禅文化研究所 3,605円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	い どう なか とし 伊 藤 隆 壽	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

中国仏教の特色を知ることが目的とし、中国人の書いた諸文献を読むことにより、中国の人々は仏教をどのように受け止め、どのように理解したのかを明らかにし、さらに日本仏教との関わりも考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、現存最古の『法華経』の注釈書である竺道生『法華経疏』を読む。『法華経』の教えを学びながら、道生の注釈の特色をさぐる。

履修上の留意点

漢文のテキストを予習することが中心となるので、主体的積極的な学習を期待する。

成績評価の方法

授業における予習内容及び期末のレポートによって評価する。

教科書

テキスト等の基本資料はコピーを配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

専科  
教育目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	岩永正晴 <small>いわなが しょうせい</small>	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

江戸時代中期の曹洞宗僧侶が著わした『正法眼蔵』注釈書を対象として演習を行う。各注釈書の背景にある教養や、注釈態度・目的などの調査分析を通して古人の参究の成果を学ぶと共に、演習参加者自身の研究に必要な知識や方法を修得して貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度も前年度に引き続き、『正法眼蔵』参究の初学者がまず始めに参照すべき書として伝承されてきた『正法眼蔵聞解』（斧山玄トツ述）を中心に演習を行う。

履修上の留意点

大学での学習・研究の中でも、演習が担う役割は極めて大きいと考えるので、積極的に参加して貰いたい。また我々は仏教を学ぶのであるから、私も含めた参加者全員が互いに協力し励まし合って学んで行きたい。

成績評価の方法

平常の参加態度と、学年末提出のレポートで評価する。

教科書

『正法眼蔵註解全書』所収本の必要箇所をコピーして配布する。

参考書等

『永平正法眼蔵菟書大成』17（大修館書店）・鏡島元隆『道元禅師とその門流』（誠信書房）・河村孝道『正法眼蔵の成立史的研究』（春秋社）など。但し以上は入手が困難であろうから、図書館を活用して貰いたい。その他は随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	大谷哲夫 <small>おおたに てつお</small>	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

『永平広録』（10巻）は、道元禅師の弟子たちが編纂した禅師の語録であり、禅師の主著である『正法眼蔵』以外では、特に禅師晩年の宗旨吐露の大演法はまさにここに極まるので、その現代的意義を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、祖山本『永平広録』を底本とし、それに卍山本『永平広録』を対比し、現今経眼しうる江戸期の宗学者の注解をも考究し、伝灯宗学の立場をも併せ勘案しながら、そこに展開される正伝の仏法の真意義を基礎的に順次参究する。

履修上の留意点

指定する演習部分を事前に熟読してくること。

成績評価の方法

年間二度のレポート提出と出席。

教科書

祖山本『永平広録』・卍山本『永平広録』。  
演習箇所は適宜にコピーし配布する。

参考書等

『道元禅師 おりおりの法話』（曹洞宗宗務庁）  
『祖山本 永平広録 考註集成』（上下二巻 大蔵出版）  
『卍山本 永平広録 考註集成』（全一卷 一穂社）  
『永平広録注釈全書』（上中下索四巻 鴻盟社）  
その他の必要文献は適宜コピーし配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おがべかずお 岡部和雄	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

漢文仏典に親しむ。訓読や現代語訳について基礎知識を得る。英訳も参照できるような読解力を養う。玄奘や義浄の偉業について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

『大唐大慈恩寺三蔵法師伝』『大唐西域記』『南海寄帰内法伝』から主要な節を選んで読む。原文はそれぞれ大正蔵経第50巻、第51巻、第54巻に収められている。すでに刊行されている訳文（英訳・和訳）を参照する。

履修上の留意点

意欲のある人・下調べをいとわぬ人の参加をのぞむ。玄奘や義浄に興味ある人、西域や南海の仏教事情に関心のある人でもよい。

成績評価の方法

試験は行なわない。詳細は出席と平常点で行なう。

教科書

テキスト・訳文・参考文献は学年度の初めに配布する。

その他

当番をきめ演習（テキストの解説）をしてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	かたやまいちろう 片山一良	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

釈尊によって説かれた原初の教えを「原始仏教」と呼ぶ。その基本的な教えを正しく理解し、いわゆる「大乘仏教」の根本的思想を把握するための足がかりを築きたい。

講義の内容・授業スケジュール

聖典語とされるパーリ語で書かれた原始仏典を読む。とくに詩（偈）と散文からなる『如是語（経）』を選び、五蘊、縁起、四諦・中道の教えについて考えたい。また、前期には各自の研究課題に基づく発表の機会を設けたい。

履修上の留意点

受講者はパーリ語初級程度の知識をそなえていることが望ましい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

テキストはPTS本（Itivuttaka）を使用。コピー配布。

参考書等

南伝大蔵経第23巻（小部經典1）

その他

授業は講読・討論を主とする。

専科  
教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	かなざわあつし 金沢篤	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

仏教の成立・展開にも大きく関わった、インドの思想史・文化史的背景を何う種々文献資料や、いわゆる正統バラモン哲学の基礎的な文献資料を原典で読む。

履修上の留意点

テキストなど詳しいことは、教場にて適宜指示するが、受講者は、サンスクリットの初級程度の知識を有していることが望ましい。また、自分の個人的学問的関心を常時尖鋭化し、文献渉猟と言葉によるプレゼンテーション技術の習得を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	くま ちと えい 熊 本 英 人	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

日本の仏教と近代について考える

講義の内容・授業スケジュール

明治維新を境に、仏教とそれを取り巻く環境は大きく変わった。日本の仏教、寺院は、どこが変わりどこが変わらなかったのか。近世の寺請制度と仏教批判、明治維新期の神仏分離を初めとする混乱、そして、近現代において、仏教はどのように社会と関わってきたか。近代仏教を視点に、僧侶や寺院のあり方について考えてみたい。ここでは、曹洞宗の例を中心に、様々な文献を使って読み解いていく。

テキストについては、受講者の興味も考慮して選択する。

履修上の留意点

適宜、小レポートを課す。

成績評価の方法

平常点及びレポート。

教科書

テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。

参考書等

演習の中で随時紹介する。

その他

演習Ⅱ：『明治維新神仏分離史料』を中心に、日本の神と仏について考える

明治維新時の神仏分離の実態がどのようなものであったか、またそれが当時どう捉えられていたのかなど、『明治維新神仏分離史料』を軸として、関連史料もあわせて読み進める。

演習Ⅱについては、卒業論文の指導にも配慮して講座を進める。その他注意事項等は演習Ⅰに同じ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さ とう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

日本禅宗の草創期の禅僧、とくに鎌倉・南北朝時代に活躍した道元禅師から瑩山禅師やその弟子たちに至る初期曹洞宗教団の祖師方の伝記資料その他を読み進めたい。具体的には江戸時代の僧伝や禅宗灯史が成立する以前の、より素朴な中世撰述資料などをテキストとして演習する。演習を通して資料の読解力を養うだけでなく、禅僧たちの生きざまを通して彼らが目指した禅宗叢林のありかたなど、中世禅宗の息吹きを感じてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに初期曹洞宗に関して、歴史的な概要や現存する史資料について口述し、その後、特定の伝記資料について演習する。その際、学生が輪番形式で割り当てられた箇所について書き下し文と語句の説明と訳文を作って資料を発表してもらおう。

履修上の留意点

資料の多くが漢文ないし漢字仮名交じり文で表現されており、しかも独特の禅宗用語や中世用語が用いられていることから、漢文（とくに禅宗漢文）や日本禅宗史の素養を深めておいて欲しい。

成績評価の方法

担当した演習箇所の内容と出席日数を換算して成績を評価するが、授業時間内の態度や意気込みなども総合的に加味したい。

教科書

特定の教科書は使用しない。『三大尊行状記』や古写本『建誓記』などの内容を、『曹洞宗全書』『史伝下』や『続曹洞宗全書』『寺誌・史伝』その他当該資料よりプリントして配布する。

参考書等

大久保道舟『道元禅師伝の研究』や竹内道雄『道元』（人物叢書）など道元禅師に関する研究書、東隆眞『瑩山禅師の研究』など瑩山禅師に関する研究書。『永平寺史』など初期の曹洞宗に関する研究書。

その他

演習では毎時間、担当者を割り当てて調べてきた成果を発表してもらい、それを教員が改めて内容を検討していく。

科 専 門 教 育 目

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	田 <sup>た</sup> 上 <sup>がみ</sup> 太 <sup>たい</sup> 秀 <sup>しゅう</sup>	禪・仏教3必	4
演	習	II		禪・仏教4選	

講義のねらい

本論書を読むに当たり、仏性思想の原典の『涅槃経』を取り上げ、思想の原点を説明し、仏性思想の発展史を把握させたい。

講義の内容・授業スケジュール

漢文が読めるようになるまで読み方を指導し、仏教用語の独特な読み方を指導する。

履修上の留意点

予習・復習を必ず行い、必ず出席すること。

成績評価の方法

日頃の学習態度によって評価する。

教科書

大正蔵経所収の『仏性論』をコピーしたもの。

参考書等

授業中にその都度指示する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	永 <sup>なが</sup> 井 <sup>い</sup> 政 <sup>まさ</sup> 之 <sup>し</sup>	禪・仏教3必	4
演	習	II		禪・仏教4選	

講義のねらい

北宋を代表する禅者の一人、慧洪（1071～1128）の著わした『林間録』を読みます。北宋を代表する禅者の一人である慧洪は、その生涯において4度の下獄を経験するほどの波乱の人生を送ります。一方、その著作『石門文学禅』は「五山文学」の世界に大きな影響をあたえました。かくしてその評価はさまざまとなりますが、彼が「あるべき教え」と「人」を模索し続けたことは疑いありません。その集約が『林間録』にあります。

時には皮肉を込め、時には慨嘆しつつ語られる北宋禅の世界は、「灯史」に限定されない生き生きとした様相そのものを語っているのではないのでしょうか。

成績評価の方法

評価は当番に当たった際の発表や、ふだんの履修態度を総合的に評価します。

教科書

テキストは江戸時代の木版本をコピーして使用します。返り点や送りかなも付されているので、比較的読みやすいと思います。

参考書等

参考書については授業中に適宜指示しますが「漢和辞典」は必ず用意してください。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	長 <sup>は</sup> 谷 <sup>せ</sup> 部 <sup>べ</sup>	禪・仏教3必	4
演	習	II		八 <sup>は</sup> 郎 <sup>ち</sup>	

講義のねらい

仏教をはじめとした諸宗教の儀礼分析を中心に行なう。とくに、教えや世界観と関連づけながら、儀礼の意味や役割を追究する。

講義の内容・授業スケジュール

上記に関する主要な文献を取り上げ、検討する。また、履修者に関連テーマを与え、調べた内容をレポートしてもらい、それに基づいて議論する機会も持ちたい。

成績評価の方法

授業態度や提出物、出席状況などを総合して評価する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ		禅・仏教4選	

講義のねらい

まずは基礎的な辞書類の選び方・使い方を習得し、自らの手で疑問を解決できるようにする。最終的には受け身の学問から攻めの学問へ転ぜられたい。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗禅戒諸資料を読む。いわゆる仏教全体の中にあつて禅宗の戒律思想は頗る特異で、教家のそれと比較し難いとされる。しかし幸いにも江戸期の先学が禅戒について詳細に議論をする中で随所に教学的考察を試みている。この点を念頭に置きつつ、本演習では道元禅師ないし曹洞宗における戒律思想を探るべく曹洞宗関係を中心に諸資料を参究していく。

成績評価の方法

出席の状況ならびに平常点によって評価する。

教科書

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	まつ だ よう し 松 田 陽 志	禅・仏教3必	4
演習Ⅱ		禅・仏教4選	

講義のねらい

石頭希遷の『参同契』と洞山良价の作とされる『宝鏡三昧』を読解しながら、両典籍が日本曹洞宗においてどのように解釈されてきたのかを、江戸時代に多く著される注釈書に基づきながら考察する。特に両典籍の注釈に示される、中世室町期以降の曹洞宗の宗旨を伝える枠組みとして用いられた五位説が、江戸期に至ってどのように解釈され宗義として位置づけようとしたのかを、諸注釈書の性格から考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

『参同契』『宝鏡三昧』の語句の意味するところを発表し、更に諸の注釈書類の解釈を検討する。注釈書は具体的には次の資料を中心に検討する。

永覚元賢撰 『洞上古轍』  
天柱伝尊撰 『報恩篇』  
面山瑞方撰 『参同契・宝鏡三昧吹唱』

履修上の留意点

図書館を積極的に利用して、両典籍を訓読したり説明したりしている関係論文や書籍にできるかぎりあたり、自らの理解を深める主体的な学習態度を望む。

成績評価の方法

平常点（出席及び学習・発表態度）と年度末のレポートによる。

教科書

基本的な文献資料をコピーして配布する。

参考書等

図書館などの利用方法を含めて、随時紹介する。

科専門教育  
目



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	まつもと しろう 松 本 史 朗	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

インドの大乗仏教の基本的概念・教理を理解するために、初期瑜伽行派の重要なテキストである『菩薩地』を、サンスクリット語（梵語）の原典で読む。

講義の内容・授業スケジュール

原典を履修者に和訳してもらう。

履修上の留意点

テキストは、サンスクリット語なので、サンスクリット語初級を修了した程度の語学力を要する。

成績評価の方法

成績評価は、出席を含む平常点による。

教科書

テキストなどの詳細は、教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	むらまつ てつふみ 村 松 哲 文	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

本演習は、禪美術・仏教美術の研究を志す学生を対象とする。美術史を研究してゆく上で必要なことは、漢文読解の能力と美術品鑑賞の眼力である。授業では、『歴代名画記』あるいは『魏書』積老志などを輪読しながら、適時受講者による発表を行ってもらおう。また、美術館・博物館の見学を通じて美術品の基礎的な鑑賞法をトレーニングしてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

発表では、各自担当分の読み下しと現代語訳を用意してくること。また輪読の合間に、受講者が興味を抱いている研究課題について随時報告をしてもらう。

履修上の留意点

美術品の鑑賞は経験がものを言うので、時間のゆるす限り実物を観る機会を多くつくること。

成績評価の方法

発表内容と出席率などによる総合評価。

教科書

プリントで配布する。

参考書等

『歴代名画記』（岩波文庫）  
『歴代名画記』（平凡社東洋文庫）

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I		よし 津 よし ひで 吉 津 宜 英	禅・仏教3必	4
演習	II			禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

東アジアにおける中道思想論  
 仏教の実践の原点は『律蔵』『大品』での五比丘への説法、初転法輪に見られるように苦楽の二辺を離れた中道にあると思う。また釈尊が重要な場面で強調した自洲と法洲の水平対等のあり方も中道の内容を規定する姿勢と考える。ところで大乘になると空が強調され、一切の法の階層性が空じられて、例えば「生死即涅槃」「煩惱即菩提」に類する相即観が説かれる。そのような相即観は「不二」とも表現され、例えば吉蔵の三論教学には「不二中道」の用例も見える。中道に不二の意味を読み込むことは中道の原意から逸脱すると考える。東アジアの諸教学に中道の諸形態を探りたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初に私が演習の趣旨を総合的に説明する。各自はそれぞれ自分のテーマを設けて、年間1・2回、約15分前後の小発表を行ってもらいたい。それをめぐって、質疑応答し、問題点を掘り下げたい。

#### 履修上の留意点

出来るだけ積極的に演習の討議に参加してもらいたい。

#### 成績評価の方法

小発表の内容と、毎週の質疑応答に積極的に参加することを評価の第一のポイントにする。次に1月15日締め切りで10枚(400字原稿用紙換算、ワープロも可)以上の小論文の提出を求める。小発表と小論文のテーマは異なってもよい。以上の小発表と小論文、そして質疑応答への積極的な参加を総合的に勘案して評価する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I		よし むら まこと 吉 村 誠	禅・仏教3必	4
演習	II			禅・仏教4選	

#### 講義のねらい

漢訳仏典を読みながら、中国仏教の諸問題を考察します。具体的には、唯識思想と如来蔵思想の受容と展開、伝記・説話・儀礼・造像にみる仏・菩薩の信仰、儒教・仏教・道教の三教交渉などを検討します。  
 本年度は、文殊信仰を取り上げます。前期は、晋代に聶道真が訳した『文殊師利般涅槃経』を講読し、文殊信仰の特徴について考察します。後期は、唐代に実叉難陀が訳した『大方広華嚴経』『入法界品』等を講読し、文殊信仰の展開について検証します。  
 受講者は演習を通じて、漢訳仏典を正確に読めるようになり、学問の研究方法を身に付けることができるでしょう。

科 専  
門 教  
育 目

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 文殊信仰とその経典 (2~12) 『文殊師利般涅槃経』を読む (13) 研究発表  
 (後期) (1) 文殊信仰の展開 (2~12) 『華嚴経』『入法界品』を読む (13) 研究発表

#### 履修上の留意点

毎回出席すること。演習は輪読形式ですので、漢文訓読の予習が必要です。仏教や中国の文化に広く関心を持つ者、漢文の読解力を向上させたい者の受講を期待しています。

#### 成績評価の方法

出席と予習の状況を総合して評価します。

#### 教科書

プリントを使用します。

#### 参考書等

授業中に随時紹介します。

#### その他

唯識思想や如来蔵思想の研究指導を希望するものは「仏教研究Ⅲ」も受講してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	よつや こう どう 四津谷 孝 道	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

この演習では、大乘仏教における、特に中観思想における「空」について検討を加える。

講義の内容・  
授業スケジュール

『般若経』において説かれた「空」に論理的な根拠を与え、中観思想の礎を築いたのは、龍樹（ナーガールジュナ、紀元2-3世紀）という人物である。当演習では、この龍樹を開祖とする中観派の思想を中心に、大乘仏教を広い視野で考察してみたい。  
今年度はインド思想全体を視野に入れ、「沈黙」をテーマに「空」とは何かを探ってみたい。

履修上の留意点

この授業の受講生に関しては、サンスクリット語やチベット語等の知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

年度末のレポートによって評価する。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

授業において、随時言及する。

そ の 他

聴講は、原則として認めない。

# Ⅲ 他学部履修科目

他学部  
履修科目

他学部履修科目  
フレア開講目

### Ⅲ. 他学部履修科目

〔フレックスAで開講される他学部履修科目〕

上代文学研究	I	〈中嶋真也〉	313
中古文学研究	I	〈松岡智之〉	313
中世文学研究	I	〈櫻井陽子〉	314
近世文学研究	I	〈近衛典子〉	314
近代文学研究	I	〈榎本正樹〉	315
比較文学	学	〈満谷マーガレット〉	316
西洋思想史	史	〈柴野博子〉	317
演劇概論	論	〈森井直子〉	317
日本民俗学	学	〈谷口貢〉	318
イギリス文学特講	I	〈石原孝哉〉	318
イギリス文学特講	Ⅱ	〈高野正夫〉	319
イギリス文学特講	Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	319
イギリス文学特講	Ⅳ	〈休講〉	
イギリス文学特講	Ⅴ	〈富士川義之〉	320
イギリス文学特講	Ⅵ	〈丸小哲雄〉	320
アメリカ文学特講	I	〈東雄一郎〉	321
アメリカ文学特講	Ⅲ	〈足田和人〉	321
演劇特講(イギリス・アメリカ)		〈落合和昭〉	322
時事英語	語	〈サンダース, L. P.〉	322
地理思想史	史	〈休講〉	
地形学	学	〈小池一之〉	323
人口地理学	学	〈江崎雄治〉	324
文化地理学	学	〈小田匡保〉	324
応用地理学	学	〈高木正博〉	325
現代地理学特論	論	〈佐藤哲夫〉	325
日本史特講Ⅶ〔近代〕		〈熊本史雄〉	326
東洋史特講Ⅲ〔近代史〕		〈杉山清彦〉	326
考古学特講	Ⅲ	〈休講〉	
西洋文化史	史	〈石田恵子〉	327
産業・職業社会学	学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	論	〈川本勝〉	327
社会福祉発達史	史	〈林千代〉	328
日本経済史	史	〈渡邊恵一〉	329
農業政策	策	〈溝手芳計〉	330
教育経済論	論	〈谷敷正光〉	331
日本経済論	論	〈小林正人〉	333
中国経済論	論	〈休講〉	
アメリカ経済論	論	〈瀬戸岡紘〉	334
EU統合論	論	〈清水卓〉	335
現代西欧経済論	論	〈清水卓〉	336
ロシア・東欧経済論	論	〈山縣弘志〉	337
財務会計論	論	〈小栗崇資〉	338
社会監査論	論	〈森田佳宏〉	339
管覧	論	〈石川祐二〉	340
貿易	論	〈古沢紘造〉	341

行	政	法	各	論	〈金	子	昇	平〉	.....	342	
比	較		憲		〈西			修〉	.....	342	
相		統		法	〈竹	中	智	香〉	.....	343	
西	洋	法	制	史	〈北	野	かほ	る〉	.....	344	
英		米		法	〈北	野	かほ	る〉	.....	345	
経		濟		法	〈若	林	里	砂〉	.....	346	
ヨ	一	ロ	政	論	(1) 〈中	野	裕	二〉	.....	346	
ヨ	一	ロ	政	論	(2) 〈中	野	裕	二〉	.....	347	
国	一	ロ	政	学	〈小	堀	訓	男〉	.....	347	
ヨ	一	ロ	政	史	〈浦	田	早	苗〉	.....	348	
地	方	自	治	法	〈富	井	幸	雄〉	.....	348	
比	較	政	治	学	〈三	竹	直	哉〉	.....	349	
現	代	国	家	論	〈大	塚		桂〉	.....	350	
比	較	憲		法	〈休		講	〉	.....	351	
経	营	勞	務	論	〈鹿	嶋	秀	晃〉	.....	351	
国	際	經	營	論	〈茂	垣	広	志〉	.....	352	
商		業		史	〈休		講	〉	.....	353	
保	險	經	營	論	〈石	名	坂	邦	昭〉	.....	353
財	務	会	計	論	〈渡	邊	惠	一	郎〉	.....	354
経	營	分	析	論	〈片	桐	伸	夫	.....	355	
税	營	分	計	論	〈高	木	克	己	.....	356	
情	報	情	報	論	〈休		講	〉	.....	357	
経	營	報	理	論	〈西	村	和	夫	.....	357	
医	療	宗	統	計	〈長	国	強	.....	358		
医	療	經	教	学	〈田	上	太	秀	.....	359	
異	文	コ	ユ	学	〈永	山	く	に	子	.....	360
国	文	ミ	ニ	学	〈奥	原	淳	子	.....	361	
国		語	ケ	学	〈片	山	晴	賢	.....	362	
女		語	ー	史	〈萩	原	義	雄	.....	363	
文		性	シ	史	〈高	嶋	め	ぐ	み	.....	364
文	化	概	研	論	〈菌	部	幹	生	他	.....	364
国	学	特	殊	究	〈佐	原	作	美	他	.....	365
古	典	戲	曲	劇	〈佐	藤	知	乃	.....	365	
メ	デ	イ	ア	現	〈松	田	直	行	.....	366	
時	事	英	表	語	〈岡	本		誠	.....	366	

[フレックスBで開講される他学部履修科目]

商学総論	〈大吹勝男〉	367
社会思想史	〈休講〉	
国際経済論	〈徳永俊明〉	368
商業政策	〈休講〉	
アジア経済論	〈休講〉	
社会政策	〈休講〉	
銀行論	〈休講〉	
マーケティング	〈江上哲〉	369
経営管理論	〈百田義治〉	370
中小企業論	〈吉田敬一〉	371
人口論	〈森岡仁〉	372
労務管理論	〈堀龍二〉	373
法思想史	〈高橋洋城〉	374
日本法制史	〈休講〉	
西洋法制史	〈北野かほる〉	375
経済法	〈荒井登志夫〉	376
国際関係論	〈三船恵美〉	376
地方自治法	〈富井幸雄〉	377
国際紛争解決法	〈王志安〉	378
倒産処理法	〈木川裕一郎〉	379
アメリカ経営学	〈休講〉	
経営財務論	〈高田光明〉	380
経営組織論	〈休講〉	
公益企業論	〈菅谷実〉	381
管益理會業計論	〈猿山義広〉	382
會計監査論	〈阿部一人〉	383
日本経済論	〈羽鳥茂〉	384



他学部履修科目  
フレア開講

[フレックスAで開講される他学部履修科目]

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究 I	なか じま しん や 中 嶋 真 也	禅・仏教	4

講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』は、類歌・類句と称される、似かよった表現を持つ歌がいくつも見られる。近代的な独創を重視する見方からすれば、批判の対象になるわけだが、それらを豊富に収める『万葉集』の現状はそうではないことを認識しなければならない。また、類歌・類句と位置付けたところで、時に考察は止まり、似ていながら、先行する表現を享受しながら、新たな表現を試みている場合もある。

本講義では、そのような類歌・類句の存在に留意しながら、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」や「月」といった、現在にもほぼ同じものを指すと考えられる植物や天象などの景物を取り上げ、それらが万葉歌の中で、どのようなことばとともに用いられ、どのような表現をなしているのかを見ていく。また、万葉の作歌の時期区分にも常に配慮し、『万葉集』中での表現史を明瞭にすることにも心がける。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全二十巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在四つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。

その上で、景物に即して詠まれた歌を表現に留意しながら、検証していく。具体的に取り上げる景物として、桜、月、萩などを考えている。また、歌人としては、第二期の柿本人麻呂と第四期の伴家持といった、万葉のみならず、日本文学史上の代表歌人に特に留意していく。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に取り込んでいきたい。主体的な受講を、特に期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末の試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	まつ おが とも ゆき 松 岡 智 之	禅・仏教	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を讀解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

フレックスA開講  
他学部履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	まくら い よう こ 櫻 井 陽 子	禅・仏教	4

講義のねらい

軍記物語における源頼朝と源義経について考える。頼朝は軍記物語には表だって登場しないが、主な軍記物語が鎌倉時代に成立したことを考えると、作品の背後に考えなくてはならない人物である。一方、義経は室町時代の芸能において華々しく活躍するが、頼朝によって排斥された人物である。この二人の造型を考えることは、軍記物語の本質を考えることにもなる。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的に作品に触れながら進める。  
 1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。  
 4～6 頼朝（『平治物語』）  
 7～9 頼朝（『平家物語』）  
 10～12 頼朝（芸能における）  
 13～15 義経（『平家物語』）  
 16～18 義経（『吾妻鏡』）  
 19～21 義経（『義経記』）  
 22～24 頼朝と義経  
 25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教 科 書

授業時に適宜プリントを用意する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	この え のり こ 近 衛 典 子	禅・仏教	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教 科 書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

そ の 他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究Ⅰ	えの もと まさ き 榎 本 正 樹	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方法、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリなど、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。

参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、町田康、柳美里、長野まゆみ、柴崎友香、金城一紀、伊坂幸太郎、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、石田衣良、村山由佳、絲山秋子、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年に映画化された『ジョゼと虎と魚たち』『きょうのできごと』『世界の中心で愛をさけぶ』『69』『インストール』について、原作と映画を比較対照した分析を行う予定です。

榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛り込んでいきます。

#### 履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

#### 成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらうレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

#### 教科書

特に使用しません。

#### 参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

#### その他

履修に際しては、榎本のサイト（[www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/](http://www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/)）も参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

比較文学は欧米各国における「国文学」・「国文学史」が成立した以後、国と国との間の「横の関係」をみるために作られた学問である。近代国家の成立とともに発展した「国文学」があまりにも重視された反省から、国家同士の文学がどのように影響しあって、関係しあってきたかを研究することが比較文学のそもそものねらいであった。フランス、ドイツ、そしていわゆる「新世界」(アメリカ、オーストラリアなど)においてそれぞれ異なる比較文学が成立したが、20世紀前半までには近代文学を中心に「影響関係」を追及することが比較文学者の主な仕事だとされるようになった。しかし作家同士の影響関係を見る前に、文学作品、あるいは文化そのものが越境したとき、それがどのように姿を変えるかを見る必要があるだろう。受け入れる側ではそれがどのように理解され、あるいは誤解されるかも重要な問題だろう。それを見るために本授業では「翻訳」という概念を焦点に、日本と欧米の文学がどのように関係してきたかを見てみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では日本側で欧米の文学・文化がどのようにして受け入れられたかを見て、後期で日本(東洋)の文学・文化が西洋側でどのように受け入れられてきたかを見てみたい。横道にそれる余裕を持ちたいのだが、だいたい次のようなテーマに触れたいと思っている。

前期:

- 1) イントロ: 比較文学の背景と「国文学」。
- 2) 翻訳の背景。
- 3) 近代日本における「翻訳語」。近代の日本語がいかにして翻訳によって出来上がったのか。
- 4) 演劇改良運動とシェークスピアの『ハムレット』の導入。
- 5) 苦悩する翻訳者たち——森田思軒、二葉亭四迷など
- 6) 若松賤子と児童文学の導入

後期:

- 1) 西洋人の見た日本女性——「マダム・バタフライ」を中心に
- 2) アーネスト・フェノロサと「漢字」の発見
- 3) エズラ・パウンドとイマジズム
- 4) アーサー・ウェイリーの英訳を通して「小説」となった源氏物語
- 5) 英米における漢詩の導入
- 6) アメリカ文化における「ハイク」

#### 履修上の留意点

この授業では出席はとらない。従って、出席するかどうかは学生が責任をもって決めることだが、出席しなくても簡単に単位が取れると思ってもらっては困る。また、比較文学の授業は、横文字(英語、フランス語など)を一切使わないでやるのは難しい。英文、仏文の資料を使うとき、必ず日本語訳をつけるので、外国語に堪能である必要はない。しかし横文字を見ただけでアレルギー反応を起こす学生には、この授業は辛いだろう。

#### 成績評価の方法

前期、後期一回ずつエッセイ形式の試験を行う。各試験は50点満点だから、二つの試験の成績を合わせて一年の成績を出す。

#### 教科書

プリント

#### 参考書等

最初の授業で話す。

#### その他

この授業は講義となっているが、例年の受講生が少ない。講義形式で進めるが、学生からの質問、コメントなどは大歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	柴野博子	禅・仏教	4

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し（4・5月）、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、デイルタイ（11月）など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています（12月）。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	森井直子	禅・仏教	4

講義のねらい

明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻印されている。

演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明（2回）
  - 2、明治40年代の演劇（2回）
  - 3、日本近代戯曲の模索（2回）
  - 4、大正戯曲の時代（2回）
  - 5、築地小劇場（2回）
  - 6、政治と演劇（2回）
  - 7、まとめ（1回）
- 後期
- 1、戦後新劇の活動（2回）
  - 2、小劇場運動の隆盛（2回）
  - 3、80年代—私さがしとメタシアター（2回）
  - 4、静かな演劇（2回）
  - 5、今日の演劇—上演（2回）
  - 6、今日の演劇—戯曲（2回）

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。（扱う作品は、授業の中で指示する。）また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末のレポートと観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式の授業。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	な に ぐ ち み つ ぎ 谷 口 貢	禪・仏教	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変わり、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 I	い し はら こう さい 石 原 孝 哉	禪・仏教	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	高野正夫 <small>たかの まさお</small>	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された Lyrical Ballads という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

#### 成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

#### 教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	岡崎寿一郎 <small>おかざき としちろう</small>	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」 modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらに D.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

フレA開講  
他学部履修科目

#### 成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

#### 教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

#### 参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説 イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

本講義は、作品の紹介とオリジナル・テキストの演習を行い、テキストの印象や感想を客観化するために文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの価値評価に向けて演習・講義を行います。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語・科学言語・論理的言語・文学言語の差異について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学テキストの機能と力について
- 4) さまざまな批評方法について
  - ・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム（ニュー・クリティシズム）、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- 1) Elements of fiction by R.Scholes（英宝社）
- 2) Roman Selden A Reader's Guide to Contemporary Literary Theory The Harvester Press（）
- 3) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

随時指示します。

他学部履修科目  
7/A開講

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者の詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に発出したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

#### 履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

#### 成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

#### 教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

#### 参考書等

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	あしだ かずひと 足田和人	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

#### 履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めるときも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

#### 成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おち あい かず あき 落 合 和 昭	禪・仏教	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-), Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926-), Harold Pinter (1930-), 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』(ミネルヴァ書房)
- 2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	サンダース, L. P.	禪・仏教	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア(ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど)で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教 科 書

教科書は使用せずプリントを配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

##### 前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、

地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形）

##### 後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

#### 履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

#### 教科書

小池一之ほか（1998）『地表環境の地学－地形と土壌』（東海大学出版会）2,500円＋税

#### 参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税

小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

貝塚爽平（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

#### その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	江崎雄治	禅・仏教	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
- 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
- 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因

(後期)

- 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴
- 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
- 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
- 〔将来人口の推計〕将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田匡保	禅・仏教	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。出席不足、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木正博 <small>たかぎまさひろ</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあい、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野 2. 河川流域の水収支 3. 日本の河川流況特性 4. 河成平野の地形分類と防災 5. 河道治水から流域治水へ 6. 水防の再構築 7. ダムと森林 8. 日本の水利用 9. 農業用水の利用と問題点 10. 濁水とは… 11. 水資源の有効利用 12. 農業用水を考える 13. 多摩川における水利権の変遷 14. 地域用水と環境用水 15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末の授業最終日に実施する教場試験の1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをおし随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	佐藤哲夫 <small>さとうてつお</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

東南アジアの環境問題について知ると同時に、海外での地域調査の方法について学ぶ授業です。実習的な作業課題を通じて、海外の地形図やリモートセンシング画像を利用する技術も学びます。

講義の内容・授業スケジュール

東南アジアの環境問題について概観しながら、タイでの地域調査を想定して、地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの作業を行います。

なお希望者がいれば、相談のうえ、タイで巡検を行います。その場合、参加は任意で、成績評価の対象とはしません。

履修上の留意点

課題の作業を行なうために、パソコン操作の初歩の技術(佐藤担当の人文地理学実習程度)が必要です。地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

出席状況(50%)と課題(50%)によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。なお在学中にこの分野の知識・技術をマスターして、就職や進学に生かしたいと考えている人には、下記の参考書は必携です。講義の中でもランダムに参照します。

長澤良太『リモートセンシングによる土地資源評価－東南アジアの土地利用－』(古今書院)

他学部履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VII 〔近代〕	くまもと ふみお 熊 本 史 雄	禪・仏教	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争  
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講義を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 III 〔近代史〕	すぎやま きよひこ 杉 山 清 彦	禪・仏教	4

講義のねらい

現代中国の統治領域・民族構成は、18世紀までに形成された清帝国の領域に淵源しており、その領域形成過程と支配構造の解明は、前近代史のみならず近現代史、ひいては現代世界の理解にも不可欠である。このような観点から、17～18世紀における清帝国の形成過程と支配の構造、19世紀以降のその変容・再編について説く。

講義の内容・授業スケジュール

前期：清帝国の形成と支配構造  
・現代中国の統治空間  
・清帝国の形成・発展過程  
・清帝国の統治領域と支配構造  
・満洲皇帝とモンゴル＝チベット仏教世界  
・海域アジア世界と朝貢システム  
後期：ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ  
・近代における清支配の変容・再編  
・「中国」の出現と内陸アジア  
・今日の諸問題：未完の「中国」創出と国家統合の諸矛盾

履修上の留意点

講義形式で進め、一方通行にならないよう随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるが、特に条件とはしない。講義中随時参考文献を紹介するので、自分で広く読書してほしい。

成績評価の方法

年2回、長期休業時に課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史	石田 恵子	禅・仏教	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	川本 勝	禅・仏教	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、効果、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教科書

特に使用しない。

参考書等

適宜紹介する。

フ  
レ  
ィ  
ー  
A  
開  
講  
他  
学  
部  
履  
修  
科  
目



科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	禅・仏教	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 経 済 史	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

本講義の目的は、日本経済を歴史的な視点から理解することである。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりにも随時触れ、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

序. 日本経済史の課題と方法  
 1. 幕藩制下の経済発展  
 2. 幕末開港の歴史的意義  
 3. 明治前期の経済政策  
 4. 日本産業革命の展開  
 5. 両大戦間期の日本経済  
 6. 戦時から戦後へ  
 終. まとめと展望

#### 履修上の留意点

出席は取らないが、ストーリー性のある内容なので、欠席すればその分だけ話の前後がつかなくなる。

#### 成績評価の方法

期末試験で評価するが、必要に応じて小テスト等の結果を加味する。

#### 教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年  
 その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

#### 参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

#### その他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
農業政策	みぞ 溝 手 芳 計	禪・仏教	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）  
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）  
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）  
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光	禪・仏教	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「学校の水準と枠組み法」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー 1 「識字率と児童労働」
- (2) 日本の産業化とリテラシー 2 「江戸時代—工業化の準備機能」
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン政権の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン政権の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ政権の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ政権の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン政権の経済と教育 「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー政権の経済と教育 「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア政権の経済と教育 1 「福祉のニューディールとオプティミズム」(一部ビデオ)
- (11) ブレア政権の経済と教育 2 「学校の水準と枠組み法」・ビーコンスクール

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と職工学校・機業地学校
- (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

他フ  
レA開  
学部履  
修科目  
目講

参 考 書 等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。  
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）  
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）  
舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）  
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）  
A・グリーン, J・ハリスン『英国病』（新評論社）  
玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』（新日本出版社）  
猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）  
三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）  
岡崎哲二『工業化の軌跡』（読売新聞社）  
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）  
その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	小林正人 <small>こばやし まさと</small>	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程  
景気の現状と雇用情勢  
戦後改革  
日本の高度経済成長：歴史とその原因  
産業政策の役割  
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション  
イノベーションと産業構造の変化  
主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）  
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望  
平成不況の意義  
IT革命のインパクト

#### 履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

#### 成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。再試験は実施しない。

#### 教科書

なし

#### 参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典の一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

#### その他

講義についての質問や成績質疑応答への参加を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せとおか 瀬戸岡 紘	禅・仏教	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の子備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇  
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学  
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ  
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、  
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ  
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、  
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりい  
 れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえ  
 から、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験  
 も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随  
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ  
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、  
 グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年  
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年  
 をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
EU 統合論 (前期)	しみず たかし 清 水 卓	禅・仏教	2

#### 講義のねらい

#### EU 統合論 (前期)

この講義では、EU の目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。今年にはEU 憲法制定が各国での国会審議や国民投票にかけられます。2001年に流通が始まった通貨ユーロは存在感を増しています。このようなEUを知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III.EUの制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU 憲法 IV.EUの政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) e-EUROPE (4) 共通農業政策

#### 履修上の留意点

EUは25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEUの骨格を解説するだけです。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。

#### 成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

#### 教科書

教科書は指定しません。

#### 参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2500円

#### その他

選択科目ですからEUに関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代西欧経済論 (後期)	し <sup>みず</sup> 清 <sup>たかし</sup> 水 卓	禅・仏教	2

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク戦争という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦争による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・  
授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 福祉国家 vs グローバル化 (2) 「ポスト工業化段階」の経済・社会的課題

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかということが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教 科 書

教科書は指定しません。

参 考 書 等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが必要であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) ブレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

#### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。  
再試験実施。

#### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

#### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	小 <sup>くり</sup> 栗 <sup>たか</sup> 崇 <sup>し</sup> 資	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

#### 履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

#### 成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

#### 教 科 書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

#### 参 考 書 等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

#### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学総論・会计学基礎」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

#### 教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書等

山浦久司『会計監査論（第3版）』（中央経済社）  
 加藤恭彦、友杉芳正、津田秀雄編著『監査論講義（第5版）』（中央経済社）  
 石田三郎編著『監査論の基礎知識（4訂版）』（東京経済情報出版）  
 (財)財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし <small>かわ</small> ゆう <small>じ</small> 石川 祐二	禅・仏教	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされる場所まで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

##### II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

#### 成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

#### 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	金子昇平 <small>かね こ しょう へい</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償 (国家賠償法、損失補償)
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立 (行政不服審査法)
- (4) 行政訴訟 (行政事件訴訟法)

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版 (有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	西修 <small>にし おさむ</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは (研究の意義、比較の対象、方法、限界など) (2) 主要諸国の憲法 (アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など) の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法 (韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏) の概要、(4) 項目別の比較 (平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など)。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
- (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと
- (3) 私語は絶対に慎むこと
- (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- (1) 出席・レポート 30点
- (2) 前期試験 30点
- (3) 後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- (1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』(アスキー) 2001年。とくにPART 3「世界の憲法はこうなっている！」
- (2) アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』(成文堂) 1994年
- (3) 西修著『憲法体系類型的研究』(成文堂) 1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

他学部履修科目  
フレA開講

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	たけなかちか 竹中智香	禅・仏教	4

### 講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

- [前期]
- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
  - (2) 氏と戸籍、親族
  - (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
  - (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
  - (7) 婚姻解消
  - (8・9) 親子：実親子関係
  - (10・11) 親子：養親子関係
  - (12) 後見・保佐・補助、扶養
- [後期]
- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
  - (2) 相続人
  - (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
  - (6) 相続の効力：相続分
  - (7) 相続の効力：遺産の共有
  - (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
  - (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
  - (11・12) 遺言と遺留分

### 履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

### 成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

### 教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補補訂版]』（有斐閣）1,600円  
有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

### 参考書等

六法  
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円  
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北野 かほる	禪・仏教	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 法	きたの 北野 かほる	禪・仏教	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法観念の社会性
    - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
  - 第1節 イギリスの裁判所制度
  - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わか ぼやし ありさ 若林 亜理砂	禅・仏教	4

講義のねらい

経済法を中心に独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持になうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	なか の ゆう じ 中野 裕 二	禅・仏教	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(1)」では「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。国民の「外部者」たる移民・外国人の抱える問題、国や政治勢力の対応・施策を通して、「国民とは何か?」、「国とは何か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・外国人労働者から移民へ
- ・1990年代以降の新しい移民 ・移民・外国人の直面する諸問題
- ・移民・外国人排斥勢力とその論理 ・移民・外国人に対する施策

履修上の留意点

政治制度論を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	禅・仏教	2

#### 講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(2)」では「フランスにおける新しい共和制像の模索」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。文化的・宗教的・民族的に多様なフランスで、各個人が自らの多様性を享受しながら、フランス社会が一つの社会としてまとまる原理は何か?ということの問題関心とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・伝統的「共和制モデル」
- ・移民問題の衝撃
- ・ヨーロッパ統合の衝撃
- ・フランス型多文化主義
- ・寛容の共和主義
- ・新しい共和制像の模索

#### 履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。なお、講義の内容上、「ヨーロッパ政治論(1)」の授業内容を前提とすることもありますので、連続して受講することが望ましいです。

フランスを直接の対象としますが、「多民族社会・多文化社会=日本」における社会統合の原理は何か?という問題関心をつねに持って受講してください。

#### 成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

#### 教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

他学部履修科目

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

#### 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	禪・仏教	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	富井幸雄	禪・仏教	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学部履修科目  
 レA開講

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	三竹直哉	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この文章は2004年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2004年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。

#### 履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

#### 成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

#### 教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。  
他にも指定する可能性はあります。

#### その他

この文章は2004年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	禪・仏教	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制フェシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。  
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。  
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。  
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参 考 書 等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）ならびに、『明治国家と岩倉具視』（信山社）

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	鹿嶋秀晃 <small>かしまひであき</small>	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

#### 履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

#### 成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

#### 教科書

テキストは特に指定しない。

#### 参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

#### その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

この科目は、再試験を実施しません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	も が き ひろ し 茂 垣 広 志	禪・仏教	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営(日米欧多国籍企業比較)、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣(出向)者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教 科 書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参 考 書 等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

そ の 他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険経営論	いしなざが くに あき 石名坂 邦 昭	禪・仏教	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならず、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)

石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

#### 履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

#### 教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

#### 参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

#### その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かた ぎの のぶ お 片 桐 伸 夫	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	たかき かつみ 高木 克己	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教科書

開講時に指示する。

#### 参考書等

開講時に指示する。

#### その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C.E.Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。  
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	ながこ ぎょう 長 国 強	禪・仏教	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・  
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。  
この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医療宗教学 (前期)	たがみ たいしゅう 田 上 太 秀	禅・仏教	2

講義のねらい

人の生涯は生・老・病・死の四つで見ることができ、それらのいずれにも医療、あるいは医学が関わらないことはない。人間の歴史が始まって以来、医療は密接であった。一方、医療以上に宗教も関わっていることが知られた。それは、医療と結びついていたのである。今日、医学、あるいは医療は宗教とは無関係のように考えられているが、人間の歴史を見ると、二つの関係は車の両輪のようであった。本講義は医療と宗教との関わりについて、とくに古代インドを中心に解説することをねらいにしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

わずかに半期の講義であるので、ほとんど概要を述べることになるので、次のような内容となる。

1. 医学の歴史に関するもの (はじめに)
2. インド医学の思想的背景
3. アーユル・ヴェエダと歴史背景
4. アーユル・ヴェエダから終末期医療まで  
(最初期の仏教との関連)
5. 仏教医学に関するもの

履修上の留意点

出席カードを配布し、自分で出欠を記入させる。過半数(授業時数の)以上の出欠が必須である。

成績評価の方法

期末のテストによって成績評価する。

教科書

作成したプリントを使用。

参考書等

授業中に紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
医療経済学 (後期)	ながやま くにこ 永山 くに子	禅・仏教	2

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・  
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かの説明でき、日本における課題が理解できる
  - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
  - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
  - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
  - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
  - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
  - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席  
(イ) レポート  
(ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	おくはら じゅんこ 奥原 淳子	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思えます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？  
日本人というのは誰をさすのか。  
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？  
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？  
日本はどのようにメディアに映されているのか。  
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？  
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。  
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるか？また、そのためにはどうしたらいいのか？

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

#### 履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

#### 成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

#### 教科書

プリント使用。

#### 参考書等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	禪・仏教	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。  
 私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。  
 なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか  
 どのように声を作っているのか  
 音声をどのように表記するのか  
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷  
 仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教 科 書

適宜プリントを配布します。  
 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参 考 書 等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	萩原義雄	禪・仏教	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』（国宝真福寺本）&最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について（現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記）
- 第4回の講義内容 天女幻想『竹取物語』《32頁》
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』（書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』）について
- 第6回の講義内容 『土佐日記』（為家本と定家本との異なり）について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』（人物系譜・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察）
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について（源頼朝・頼家・実朝そしてとて北条政子とその一族）
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について  
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書き込みすることを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。〔山水経〕
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 『義経記』判官びいき。〔192頁〕
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎（浦島伝説・浦島太郎伝説の謎）・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。〔260頁〕
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』〔362頁〕
- 第24回の講義内容 勧善懲悪『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』について

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。  
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、画像処理についても要確認（著作権問題）願います。

教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

他  
フ  
レ  
A  
開  
講  
他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性史	高嶋めぐみ	禅・仏教	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価（（1）出席、受講の状況（2）レポートまたは試験）

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	蘭部 幹生・井上 優 佐藤 憲昭・内藤 寿子 藤田 和美	禅・仏教	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月13日（水）オリエンテーション

①文学とタブー《4/20、4/27、5/11、5/18、5/25、6/1（6回）》

②タブーと宗教《6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13（6回）》

③メディアとタブー《9/21、9/28、10/5、10/12、10/19（5回）》

④慣習のタブー《10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/6（6回）》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出（資料室）

蘭部 幹生  
井上 優  
佐藤 憲昭  
内藤 寿子  
藤田 和美  
蘭部 幹生  
蘭部 幹生

履修上の留意点

最初の授業時（4/13）にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	佐原 作美・石割 透 小林 治・坂口 博規	禅・仏教	4

講義のねらい

「子ども」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者からその都度指示があるのでそれに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は以下の通りである。

- ① 古代文学と子ども  
〈4/14, 4/21, 4/28, 5/12, 5/19, 5/26, 6/2〉 佐原作美
- ② 西行と娘  
〈6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14〉 坂口博規
- ③ 近代の小説に見る子ども像  
〈9/22, 9/29, 10/6, 10/13, 10/20, 10/27〉 石割 透
- ④ 近・現代文学の中の子ども  
〈11/10, 11/17, 11/24, 12/1, 12/8, 12/15〉 小林 治

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	佐藤 知乃	禅・仏教	4

講義のねらい

現代の日本には、さまざまな古典演劇が共存しています。その戯曲のあり方もさまざまです。この講義では、能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃といった、日本の古典演劇といわれるパフォーマンスにおける、戯曲のあり方を考察します。履修者に対するいわゆる古典演劇へのガイダンスではありますが、古典演劇を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、現代演劇との比較等をおして、分析、批判的に考察することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

歌舞伎や能・狂言、文楽の「戯曲」を講読し、関連する舞台のビデオ鑑賞などを行います。具体的には、種々の古典演劇のなかから、同じ題材を用いた作品を選び、ビデオおよび戯曲を通して比較を行っていきます。理解を深めた上で、テーマを決め、討議も行います。

履修上の留意点

5月に渋谷のNHKホールにて開催されるNHK古典芸能鑑賞会の見学を予定しています。昨年は、最終金曜日の午後5時開演、9時半終演、学生料金は500円でした。今年度の予定はわかり次第告知し、最初の授業において説明します。見学後、レポートの提出を求めらるるので、必ず参加すること。

成績評価の方法

前期および後期の最後の授業において、筆記試験(記述式)を行います。また、古典芸能鑑賞レポートを提出していただきます(履修上の留意点参照)。そのほか、授業中に小レポートを課し、これらを総合的に勘案します。

教科書

授業中にコピーを配布します。

参考書等

教場において指示します。

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	禅・仏教	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語 (前期)	おか もと まこと 岡 本 誠	禅・仏教	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになる。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はよい社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

[フレックスBで開講される他学部履修科目]

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	おおぶきかつお 大吹勝男	禅・仏教	4

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に  
 応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろという  
 マスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、  
 大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来  
 君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である  
 限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできな  
 い、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐ  
 には役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして  
 考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文  
 句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途  
 採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をして  
 おくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサ  
 ラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そし  
 て、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生とし  
 て、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業  
 に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しま  
 すが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、  
 思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業  
 政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論 (価値論) ・電子マネー
- (2) 生産過程論 (労働過程論)
- (3) 流通過程論 (資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送)
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論 (中抜き論)
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論 (サラリーマン論)
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業  
 項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とし  
 ます。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自  
 身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の  
 勉強を早く卒業してもらい、十分な準備 (学習) をして試験に望んでもらいたいということ  
 があります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。し  
 たがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試は  
 実施する。

教科書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(梓出版社) 1,500円  
 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』(梓出版社) 4月刊行予定

フレックスB  
他学部履修科目



科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明	禅・仏教	4

### 講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていたことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱の一つずつ検討します。

#### 前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

#### 後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

#### 貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

#### 〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

### 成績評価の方法

成績は、読書ノート(2~3回)および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません。)

### 参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	江 上 哲 <small>えがみ さとし</small>	禪・仏教	4

講義のねらい

前期ではマーケティングの基礎というべき4Pを中心に講義します。後期においては、①マーケティング管理 ②マーケティングと経営組織 ③マーケティングとブランドを講義します。本講義の目的は、マーケティングの諸活動を通じて社会を見る眼を培うことです。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

- 第1回目 寡占経済とマーケティングの生成
- 第2回目 マーケティング論研究の発展
- 第3回目 フォーダイズムとマネーヅリアルマーケティング
- 第4回目 製品戦略—製品差別化論
- 第5回目 製品戦略—市場細分化論
- 第6回目 価格戦略—非価格競争論
- 第7回目 価格戦略—管理価格論
- 第8回目 流通経路戦略—商業排除論
- 第9回目 流通経路戦略—流通系列化論
- 第10回目 販売促進戦略—広告と情報
- 第11回目 販売促進戦略—人的販売と営業
- 第12回目 前期まとめ

後期

- 第1回目 市場創造とマーケティング
- 第2回目 マーケティング組織論
- 第3回目 マーケティング活動と経営組織
- 第4回目 製品ポートフォリオ論
- 第5回目 消費者行動論
- 第6回目 ブランドマーケティング①
- 第7回目 ブランドマーケティング②
- 第8回目 日本型消費者のマーケティング
- 第9回目 ウェブマーケティング①
- 第10回目 ウェブマーケティング②
- 第11回目 マーケティングと消費者問題
- 第12回目 後期まとめ

成績評価の方法

レポートを前期と後期に1回課します。基本的には定期試験を評価の対象の主たるものとします。

教 科 書

講義がはじまって指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	ひゃく た よし ほう 百田 義 治	禅・仏教	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、企業経営は大きく変貌しています。IT革命やグローバリゼーションの進展を底流に、20世紀型の規模の経済性を追求したビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できた時代から、コア・コンピタンスを武器に競争優位を発揮するネットワーク型経営が現実化し、産業構造、経営組織、労働組織のあり方を大きく変容させています。グローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、日本的経営の根本的変革を生みだしています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併・提携）、持株会社化、猛烈なリストラ、能力主義・成果主義の台頭・普及など企業経営の変貌が日々マスメディアで報じられています。本講義では、このような激動の中にある企業の経営管理の問題について、その現状と今後の課題について講義します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ②大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム、トヨタ・システム）
- ③経営管理と人間性（人間関係論、行動科学、労働の人間化、モチベーション論）
- ④経営組織の基本問題（官僚制、民主制、など）
- ⑤IT革命とネットワーク型組織
- ⑥グローバリゼーションと企業経営の課題
- ⑦市民社会の成熟と企業の社会性

履修上の留意点

新聞を毎日読んで授業に参加してください。  
「ビジネス事例研究」と併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

夏季レポートと学年末試験で評価します。  
再試験はありません。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年。  
小林俊治・百田義治編『社会から信頼される企業』（中央経済社）2004年。

参考書等

百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2005年。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	禪・仏教	4

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

- |   |   |
|---|---|
| <p>〈前期の講義概要〉</p> <p>I 中小企業の基礎理論、</p> <p>  I - 1 独占段階固有の中小企業問題、</p> <p>  I - 2 中小企業の法的規定、</p> <p>  I - 3 中小企業の経営類型、</p> <p>  I - 4 中小企業の企業形態、</p> <p>  I - 5 日本型下請構造の特質、</p> <p>II 日本型下請システムの形成過程、</p> <p>  II - 1 日本経済復活期の生産分業構造、</p> <p>  II - 2 高度経済成長期の下請管理の合理化、</p> <p>  II - 3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、</p> | <p>〈後期の講義概要〉</p> <p>  II - 4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟</p> <p>  II - 5 グローバル化と下請構造の大転換</p> <p>III 戦後日本の中小企業政策、</p> <p>  III - 1 復興期の中小企業政策、</p> <p>  III - 2 高度成長と中小企業近代化政策、</p> <p>  III - 3 中小企業政策の大転換、</p> <p>IV 中小企業の経営問題、</p> <p>  IV - 1 不正取引と下請問題、</p> <p>  IV - 2 中小企業の金融問題</p> |
|---|---|

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口論	もり おか じん 森 岡 仁	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

#### 履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。  
再試験を実施する。

#### 教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

#### 参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年  
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

#### その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
  1. 労務管理の目的、機能、対象
  2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
  1. 電産型賃金体系
  2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
  1. 日本的労務管理の形成と展開
  2. 労使関係の転換
  3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
  1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
  2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
  3. 採用・配置慣行と人事制度
  4. 職能資格制度と人事考課
  5. 賃金制度とその成果主義化
  6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
  7. 労働時間の現状と弾力化
  8. チーム作業方式の特徴
  9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
  10. 「新・日本的経営」と労使関係

#### 成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

#### 教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

#### 参考書等

講義中に適宜紹介する。

#### その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだというを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

#### 履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

#### 教 科 書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

#### 参 考 書 等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。  
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	禪・仏教	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世（1066－1350）
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世（1350－1650）
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	荒井登志夫	禪・仏教	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われあるいは行われようとしています。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③具体的な適用事例を挙げて説明して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1～3) 前史、全体像・基本的概念 (4～5) 私的独占 (6～10) 不当な取引制限等 (価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11～14) 不公正な取引方法・前半  
 〔後期〕(15～17) 不公正な取引方法・後半 (景品表示法・下請法) (18) 寡占問題 (独占的状态・価格の同調的引上げ) (19～20) 第四章規定 (株式所有・合併・持株会社) (21～24) 適用除外・域外適用、公正取引委員会、手続規定・訴訟 (25) 国際的環境 (26) 事例研究 (27) まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題の作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説 [第2版]』(有斐閣) 3,800円  
 なお、適宜プリントを配付し、理解の促進と新たな情報提供に役立つよう努めます。(六法全書をできる限り持参してください。)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	三船恵美	禪・仏教	4

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。

国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念 (国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争) について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ極支配体制の世界政治的意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。

後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念 (ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論) を講義します。

成績評価の方法

学期末試験 (50% + 50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』(南窓社) 2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

フ他学部履修科目  
 レビ開講目

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井幸雄	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

#### 教科書

開講時に指示します。

#### 参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おうしあん 王 志 安	禅・仏教	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	木川 裕一郎 <small>きがわ ゆういちろう</small>	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債権債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上にも不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

#### 履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体法的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となろう。

#### 成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

#### 教科書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤眞『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

#### 参考書等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務Q&A』別冊NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一問一答 新しい破産法』（商事法務）。

#### その他

授業は講義形式で実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たかだみつあき 高田光明	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

##### 〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

##### 〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはならないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

#### 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

#### 教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

#### 参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）  
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

#### その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公益企業論	すがや みのる 菅 谷 実	禅・仏教	4

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)  
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)
- 〈企業各論〉
6. エネルギー・水道 (3)
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)
- 〈規制課題〉
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPO の役割 (1)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教 科 書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年3月刊行予定

参 考 書 等

講義の必要に応じて紹介する。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	猿山義広	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

この講義の目的は現代における管理会計の考え方や計算問題の解き方を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学分野の演習を受講する学生はかならず履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学分野の演習を受講する学生もできるだけ履修してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算
- 第3回 利益計画の意義と体系
- 第4回 短期利益計画における CVP 分析 I
- 第5回 短期利益計画における CVP 分析 II
- 第6回 原価予測
- 第7回 最適セールス・ミックスの決定
- 第8回 経済的発注量 (EOQ) の決定
- 第9回 標準原価計算による原価管理
- 第10回 活動基準原価計算 (ABC)
- 第11回 予算管理
- 第12回 マーケティング管理会計
- 第13回 事業部制の管理会計
- 第14回 原価企画
- 第15回 インテグレートド・コストマネジメント
- 第16回 バラリスト・スコアカード (BSC)
- 第17回 業務的意思決定 I
- 第18回 業務的意思決定 II
- 第19回 キャッシュ・フローの計算
- 第20回 設備投資の意思決定 I
- 第21回 設備投資の意思決定 II
- 第22回 資本コストの測定
- 第23回 不確実性下の意思決定
- 第24回 無形資産の管理会計

#### 履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算および公認会計士第二次試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっている。学習上の効果を高めるためにも、まだ「原価計算論」を履修していない者は、できるだけ併せて履修してほしい。

#### 成績評価の方法

全部で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

#### 教科書

テキストは開講時に指示する。  
例題および練習問題は授業中に配布する。

#### 参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。  
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

#### その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。なお、この科目は再試験を実施しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	禅・仏教	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”  
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1) | 10. 監査人               |
| (1) 監査の必要 (2) 監査の意義    | 11. 監査証拠              |
| (3) 監査の対象              | 12. 監査計画              |
| 2. 会計監査の意義と目的 (2)      | 13. 内部統制              |
| (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷  | 14. 試査                |
| (3) 監査の効用              | 15. 監査技術と監査手続         |
| 3. 監査の機能               | 16. 監査調査              |
| 4. 会計上の誤謬と不正           | 17. 監査報告書             |
| 5. 監査の種類               | 18. 連結財務諸表の監査         |
| 6. 会計監査と財務諸表監査         | 19. 中間財務諸表の監査         |
| 7. 我国の監査制度             | 20. システム監査            |
| (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査   | 21. 国際監査基準            |
| (3) その他の監査制度           | 22. 現代監査論の動向          |
| 8. 監査基準 (1)            | (1) 監査概念の拡大化          |
| (1) 必要性 (2) 生成と展開      | (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準 (2)            |                       |
| (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準 |                       |
| (4) 実施基準 (5) 報告基準      |                       |

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円  
 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円  
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円  
 山本忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 経 済 論	は どり 羽 鳥 茂	禅・仏教	4

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年3,200円

参 考 書 等

講義の進み具合に応じて適時紹介します。

そ の 他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。この科目は、再試験を実施しません。

# Ⅳ 短大仏教科開設科目

短大仏教科  
開設科目

開設科目  
短大仏教科

## IV. 短大仏教科開設科目

インド・チベット仏教演習〈木村誠司〉	389
中国仏教演習〈奥野光賢〉	389
仏教思想演習〈袴谷憲昭〉	390
仏教文学演習〈石井公成〉	390

開設科目  
短大仏教科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド・チベット仏教演習	木村誠司	禅・仏教	4

講義のねらい

ツォンカパ（1357-1419）の教学を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ツォンカパはチベットを代表する学僧であり、彼の思想に関する研究も多いが、いまだその実像ははっきりしない。その理由は、ツォンカパ教学が彼以前のインド・チベット仏教の膨大な知識の上に成り立っているからである。この無限とも言える知識をひとつひとつ解きほぐしていくつもりである。

成績評価の方法

通常の講義中の討論や小レポートによってなされる。

教科書

資料等は適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教演習	奥野光賢	禅・仏教	4

講義のねらい

「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減るものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標とする。本年度は最初から読み始める。

講義スケジュールは以下のような予定とする。

（前・後期）

（1）授業を進めるにあたっての諸注意と心構え、参考書の指示

（3～4）『八宗綱要』解題

（5回目以降）講読開始

履修上の留意点

演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なうので安心して欲しい。何よりも大切なのは意欲である。

成績評価の方法

純然たる演習科目なので、成績評価は平常点のみで行なう。

教科書

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

事業は演習形式によって進める。

短大仏教科  
開設科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教思想演習	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	禅・仏教	4

講義のねらい

今となって言うのも奇妙なことだが、インドより東アジア仏教圏に伝播した仏教思想を理解する上で、玄奘訳『成唯識論』は必須必読の文献である。この演習では、特に、唯識思想が我が国にいかなる影響を及ぼしたかを絶えず考慮しながら、インド原典にも遡りつつ、本文献の正確な読解に努めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

体系的に記述された文献なので、順を追って講読していく。

履修上の留意点

文献を必ず自分で読むという気概を持つこと。

成績評価の方法

平常点とする。しかし、場合によっては変更もありうる。

教科書

佐伯定胤校訂『新導成唯識論』（法隆寺）

参考書等

国訳一切経、印度撰述部、瑜伽部7  
桑山正進、袴谷憲昭『玄奘』（大蔵出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教文学演習	いし い こう せい 石 井 公 成	禅・仏教	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、アジア諸国の文学についても大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、和歌・漢詩・能・狂言・小説などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。本年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることと、謡曲を味わうことを目標の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

男女の愛情・無常・自然観・夢・ケガレと罪、その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答による。討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

# V 「日本語」・「日本事情」科目



「日本事情」  
「日本語」

## V. 日本語・日本事情科目 (対象:外国人留学生・海外帰国子女)

### 《日本語科目》

日本語入門Ⅰ a	〈吉田 落子〉	395
日本語入門Ⅰ b	〈吉田 落子〉	395
日本語入門Ⅱ a	〈吉田 落子〉	396
日本語入門Ⅱ b	〈吉田 落子〉	396
日本語Ⅰ a・Ⅰ b	〈佐野 典子〉	396
日本語Ⅰ a	〈多田羅 哲子〉	397
日本語Ⅰ b	〈多田羅 哲子〉	397
日本語Ⅱ a・Ⅱ b	〈佐野 典子〉	397
日本語Ⅱ a	〈多田羅 哲子〉	398
日本語Ⅱ b	〈多田羅 哲子〉	398
日本語Ⅲ a	〈多田羅 哲子〉	398
日本語Ⅲ a・Ⅲ b	〈湯村 礼子〉	399
日本語Ⅲ b	〈多田羅 哲子〉	399
日本語Ⅳ a	〈石川 守〉	399
日本語Ⅳ a	〈湯村 礼子〉	400
日本語Ⅳ b	〈石川 守〉	400
日本語Ⅳ b	〈湯村 礼子〉	401
日本語Ⅴ a	〈石川 守〉	401
日本語Ⅴ a	〈多田羅 哲子〉	401
日本語Ⅴ b	〈石川 守〉	402
日本語Ⅴ b	〈多田羅 哲子〉	402
日本語Ⅵ a	〈石川 守〉	402
日本語Ⅵ a	〈多田羅 哲子〉	403
日本語Ⅵ b	〈石川 守〉	403
日本語Ⅵ b	〈多田羅 哲子〉	403

### 《日本事情科目》

日本事情Ⅰ〔地理〕(後期)	〈高橋 健太郎〉	404
日本事情Ⅱ〔自然〕(前期)	〈清水 善和〉	405
日本事情Ⅲ〔歴史〕(後期)	〈浅倉 直美〉	406
日本事情Ⅳ〔思想〕(前期)	〈赤羽 由規子〉	406
日本事情Ⅴ〔社会〕(前期)	〈坪井 建〉	407
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕(後期)	〈中野 裕二〉	408
日本事情Ⅶ〔文学〕(後期)	〈相澤 貴之〉	408
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕(後期)	〈赤羽 由規子〉	408
日本事情Ⅸ〔経済〕(前期)	〈吉田 敬一〉	409
日本事情Ⅹ〔経営〕(前期)	〈宮城 徹〉	409

「日本事情」  
「日本語」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門 I a (前期)	よし だ かき こ 吉 田 落 子	禪・仏教	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門 I b (後期)	よし だ かき こ 吉 田 落 子	禪・仏教	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱ a (前期)	よしだ ふきこ 吉田 蒨子	禅・仏教	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱ b (後期)	よしだ ふきこ 吉田 蒨子	禅・仏教	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交せて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰ a (前期)	さの のりこ 佐野 典子	禅・仏教	1
日本語Ⅰ b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	禅・仏教	1

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I b (後期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	禅・仏教	1

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II a (前期)	佐野 典子 <small>さの のりこ</small>	禅・仏教	1
日本語 II b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II a (前期)	たたらあまこ 多田羅 哲子	禅・仏教	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。  
 テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II b (後期)	たたらあまこ 多田羅 哲子	禅・仏教	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。  
 テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III a (前期)	たたらあまこ 多田羅 哲子	禅・仏教	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。  
 聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	湯村礼子	禅・仏教	1
日本語Ⅲ b (後期)			

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ b (後期)	多田羅哲子	禅・仏教	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。  
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。  
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ a (前期)	石川守	禅・仏教	1

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分です。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。同時にことわざを毎時間のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅴ・Ⅵを履修した上で取るのが理想的です。なお、基礎能力をしっかりつけるため、基礎をゆっくりやっていきます。はやくたくさんやりたい人は他の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度を厳しくチェックしていきます。私語など授業態度が悪いときは、授業中でも、欠席措置の上退室を命じます。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ a (前期)	湯村礼子	禅・仏教	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

要約文、報告文を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ b (後期)	石川守	禅・仏教	1

講義のねらい

日本語の中上級文法を中心にその使い方について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。同時にことわざを毎時間授業のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅳaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。評価は厳しいので、要注意。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業中の私語など、授業態度の悪いものは欠席処置の上、退室を命ずることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV b (後期)	湯 村 礼 子 <small>ゆむら れい こ</small>	禪・仏教	1

- 講義のねらい** 読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
- 履修上の留意点** 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
- 成績評価の方法** 作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）
- 教 科 書** 教科書は授業時に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	石 川 守 <small>いし かわ まもる</small>	禪・仏教	1

- 講義のねらい** 日本語の基礎を呼称や指示詞など是从じめからやっていきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 日本語の基礎文法の前半部分をやっていきます。
- 履修上の留意点** 1年生向き。日本語の基礎をもう一度振り返り、しっかりした基礎を作るため、より深くやっていきます。その関係で進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたい場合は、他の先生の授業を取ってください。
- 成績評価の方法** 試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。
- 教 科 書** 特になし。授業中にプリントを配ります。
- 参 考 書 等** 辞書を持ってきてください。
- そ の 他** 今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	多 田 羅 哲 子 <small>ただら あき こ</small>	禪・仏教	1

- 講義のねらい** 読むことを中心に日本語の表現力も高める。  
レポートを書くための基礎を学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。  
それらを文章にまとめる。
- 成績評価の方法** 平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。
- 教 科 書** プリント配布する。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	いし かわ まもる 石川 守	禅・仏教	1

講義のねらい	日本語の文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 Va の続きをやっていきます。
履修上の留意点	主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	たたら あき こ 多田羅 哲子	禅・仏教	1

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI a (前期)	いし かわ まもる 石川 守	禅・仏教	1

講義のねらい	日本語の基礎文法を日本語 V に引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作ることを目標としています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 V で行った日本語の後の部分をやっていきます。
履修上の留意点	この授業は日本語 V の続きの内容なので、日本語 V を履修してから取るのが理想的です。授業はじっくりやっていきますので、進度はあまり速くありません。速くやりたい人は他の先生の授業を取ることをお勧めします。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	今年から受講態度を重視していきます。受講態度が悪いときは、授業中でも欠席にした上で退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	禅・仏教	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。  
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI b (後期)	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>	禅・仏教	1

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。  
授業のはじめに「ことわざ」をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分を行っていきます。じっくりやっていくため、進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたいときには他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を厳しくチェックしていきます。私語をするなど態度の悪いものは授業中でも欠席にした上で、退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI b (後期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	禅・仏教	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。  
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語  
日本事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 I 〔地理〕(後期)	たか はし けん たろう 高 橋 健 太 郎	禪・仏教	2

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。  
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 観光開発、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教 科 書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清水 善和	禅・仏教	2

#### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

##### 第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

##### 第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

##### 第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

##### 第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

#### 成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

#### 教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した英語版教科書も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

#### 参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

#### その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あさくら なおみ 浅倉直美	禅・仏教	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陆と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の本店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかば ゆきこ 赤羽由規子	禅・仏教	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。  
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

その他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V 〔社会〕(前期)	つばい 井 健 つよし	禅・仏教	2

#### 講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

#### 履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

#### 成績評価の方法

参加度（60％）＋課題レポート（40％）

#### 教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

#### 参考書等

授業中に指示する。

#### その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例の内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。



科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ 〔政治・法律〕(後期)	なかのゆうじ 中野裕二	禅・仏教	2

講義のねらい

この講義の目標は次の二点にあります。第一は、日本の政治制度の概要を理解すること。第二は、日本の今の政治状況を自分なりに説明できること。

講義の内容・  
授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

・国会 ・内閣 ・裁判制度 ・政党制 ・国際社会の中の日本

履修上の留意点

日本の政治制度に関する基礎知識を前提とはしません。しかし、毎日のニュースをチェックするなど、日本政治に興味を持っていることを前提とします。

成績評価の方法

毎回の出席、期末試験と授業中の発言などを総合的に判断し、成績評価とします。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(後期)	あいざわ たかゆき 相澤 貴之	禅・仏教	2

講義のねらい

本講義は、日本語・日本文学を通して、日本の文化や他の国の文化への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義は、日本の小説・詩歌・演劇・食文化等について、その特徴を説明する。受講する学生は、その講義の内容に基づいて他の国の小説・詩歌・演劇・食文化等を日本の文化と比較し、毎月レポートを提出する。

履修上の留意点

講義をよく聞き、その後討議をするので、活発な発言を期待する。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、提出したレポートと授業態度等によって評価する。

教科書

必要に応じてプリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あかば ゆきこ 赤羽 由規子	禅・仏教	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔経済〕(前期)	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	禅・仏教	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

レポートと平常点・出席点で評価します。再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

その他

本講義は受講生の日本語能力向上を目的の一つとしていますので、講義はすべて日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	みや ぎ てつ 宮 城 徹	禅・仏教	2

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参考書等

参考文献は随時指定する。

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参考書等

参考文献は随時指定する。



「日本事情」  
「日本語」

# VI 随 意 科 目



## VI. 随意科目

英語（海外演習）	414
フランス語（海外演習）	414
中国語（海外演習）	414
日本宗教文化史〈小川順敬〉	415
民間信仰論〈谷口貢〉	415
書道史〈那須隆吉〉	416
編集実務〈長谷川孝〉	416

科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ンス 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本宗教文化史	小川 順敬	禅・仏教2年次～	4

#### 講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。

われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

#### 成績評価の方法

レポートその他で評価する。

#### 教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口 貢	禅・仏教2年次～	4

#### 講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

#### 成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』（東京堂出版）の2冊を紹介しておきたい。

#### その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。



科目名	担当者名	配当学科	単位
書道史	那須隆吉	禅・仏教2年次～	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社） 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	長谷川孝	禅・仏教2年次～	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに—何かを—伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編修を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択して、自分の表現をつくり出す力を養えるよう考えます。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止めるという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

必要により、授業で紹介します。